

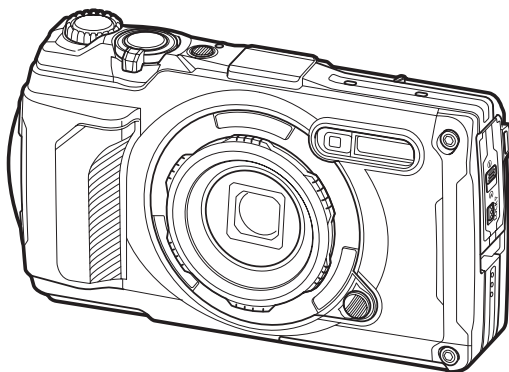


デジタルカメラ

OM SYSTEM

TG-7

取扱説明書



トラブルで困ったときや
最新情報はこちら

JP

Model No. : IM032

■デジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。

■「安全にお使いいただくために」は、製品をご使用になる前によくお読みください。またお読みになったあとも、必ず保管してください。

■ご使用前に付属の取扱説明書 基本編とこの取扱説明書をよくお読みになり、大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。

■取扱説明書で使用している画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

■カメラのファームアップにより機能の追加・変更があった場合、記載内容が異なります。最新情報は当社ホームページをご確認ください。



もくじ

はじめに	11
はじめにご確認ください.....	11
ユーザー登録について.....	11
ソフトウェア/アプリケーションのインストール.....	12
本取扱説明書について.....	13
知りたいことの検索方法.....	13
本書の表記について.....	14
各部の名称.....	15
準備する	17
カメラと付属品を確認する.....	17
ストラップを取り付ける.....	18
電池とカードを入れる/取り出す.....	19
電池とカードを入れる.....	19
電池を取り出す.....	20
カードを取り出す.....	21
カードについて.....	21
電池を充電する.....	23
別売の USB-AC アダプターで電池を充電する.....	23
USB 機器で充電する.....	25
電源を入れる.....	27
カメラのスリープ動作について.....	27
初期設定をする.....	28
言語の表示がおかしい/設定した言語が表示されないときは.....	30
撮影する	31
撮影時の情報表示.....	31
情報表示を切り換える.....	33
静止画を撮る.....	35
撮影モードの種類.....	35
ズームを使う.....	37
カメラまかせで撮影する (オートモード).....	38

絞り値とシャッター速度を自動で設定して撮影する (Pプログラム撮影)	39
絞りを決めて撮影する (A絞り優先撮影)	41
シーンモードを使う (SCNモード)	43
シーンモードの種類	43
[ライブコンポジット] で撮影する	46
[パノラマ] で撮影する	47
被写体に接近して撮影する (Mモード)	48
水中撮影に適した設定で撮影する (魚モード)	49
カスタムモードを使う (カスタムモード C1/C2)	50
残しておきたい設定内容を登録する	50
登録した設定を呼び出す	51
ムービーを撮る	52
静止画撮影時にムービーを撮る	52
ムービーモードを使って撮る (Mvモード)	53
撮影機能を設定する	54
撮影機能の設定操作方法	54
ダイレクトボタンで設定する	55
ダイレクトボタンで設定できる機能	55
画像の明るさを変えて撮影する (露出補正)	56
露出補正を設定する	56
被写体を拡大して記録する (デジタルテレコン)	57
連写する/セルフタイマーを使う	58
レリーズタイムラグを防いで撮影する (プロキャブチャー撮影)	60
フラッシュを使って撮影する (フラッシュ撮影)	62
ピントを固定する (フォーカスロック)	64
ワンタッチライトを使う	65
ワンタッチライトを点灯させる	65
ワンタッチライトを消すには	65
ライブコントロールで設定する	66
ライブコントロールで設定できる機能	66
設定できる機能	66
画像の仕上がりを設定する (ピクチャーモード)	68

ピクチャーモードの種類	68
[パートカラー] で撮影する	70
感度を変更する (ISO 感度)	71
画像の色合いを調整する (ホワイトバランス)	72
ワンタッチホワイトバランスの設定	74
ピントの合わせ方を設定する (AF 方式)	75
アスペクト比を設定する	76
静止画撮影で記録する画像サイズを選択する (📷 画質モード)	77
ムービーの画質を設定する (🎥 画質モード)	79
選択できる画質の種類	79
手ぶれを抑えて撮影する (手ぶれ補正)	81
フラッシュの発光量を調節する (フラッシュ発光量補正)	82
明るさを測る方法を選ぶ (測光)	83
自動的に人物の顔を検出する (顔優先)	84
別売アクセサリーを使う (アクセサリー)	85
再生する	86
再生時の情報表示	86
再生画像情報	86
情報表示を切り換える	88
撮った画像／ムービーを見る	89
静止画を見る	89
ムービーを見る	90
画像をすばやく探す (インデックス再生／カレンダー再生)	91
画像を拡大して見る (クローズアップ再生)	92
パノラマ画像をスクロール再生する	93
複数の画像を一括で処理する (選択コマシェア予約・プロテクト・選択コマ消去)	94
画像を消去する (1 コマ消去)	95
画像再生中の機能を使う	96
録音した音声と静止画と同時に再生する (♪ 再生)	98
撮影した画像を加工する (RAW 編集/JPEG 編集)	99
RAW 画像を編集する (RAW 編集)	99
JPEG 画像を加工する (JPEG 編集)	100

ムービーを編集する（ムービー編集）	102
ムービーから静止画を切り出す（静止画切り出し）	102
ムービーをトリミングする（トリミング）	102
画像の転送予約をする（シェア予約）	104
画像を保護する（プロテクト）	105
記録した画像に音声をつける（録音）	106
画像を回転する（回転）	107
画像を自動的に再生する（スライドショー）	108
画像を合成する（画像合成）	109
プリント予約（DPOF）	110
プリント予約する	110
プリント予約を選択して解除する／すべて解除する	111
画像を消去する（1コマ消去）	113
メニューの機能	114
メニューの基本操作	114
撮影メニュー 1／撮影メニュー 2 を使う	117
撮影メニュー 1／撮影メニュー 2 の機能	117
カメラの設定を初期状態に戻す（リセット）	118
残しておきたい設定内容を登録する（カスタム登録）	119
画像の仕上がりを設定する（ピクチャーモード）	120
ピントを合わせる範囲を選択する（AF ターゲット選択）	122
ピントの位置を自分で決める（ターゲット選択）	122
動いている被写体にピントを合わせ続ける（自動追尾）	122
一定時間ごとに自動的に撮影する（インターバル撮影）	124
ピント位置を少しずつ変化させて撮影する（Focus BKT）	127
ピント位置を変えて撮影した画像を合成する（深度合成設定）	128
静止画撮影時に日付を写し込む（日付写し込み）	129
静止画録音	130
動画メニューを使う	131
動画メニューの機能	131
再生メニューを使う	132
再生メニューの機能	132

縦位置で撮影した画像を自動で回転表示する（回転再生）	133
全てのプロテクトを解除する（全プロテクト解除）	134
全ての転送予約を解除する（全シェア予約解除）	135
セットアップメニューを使う	136
セットアップメニューの機能	136
カードを初期化する（カードセットアップ）	138
全コマを消去する（カードセットアップ）	139
表示言語を設定する	140
カスタムメニューを使う	141
カスタムメニューの機能	141
A AF/MF	142
B 表示/音/接続	143
C 露出/ISO	144
D フラッシュ	145
E 画質/WB/色	146
F 記録	148
G フィールドセンサー	150
H その他	151
マニュアルフォーカス時にピントを合わせやすくする（MFアシスト）	152
INFO ボタンによる情報表示の設定をする（  /Info 表示設定）	153
▶Info（再生情報表示）	153
LV-Info（撮影情報表示）	154
 表示（インデックス/カレンダー表示）	155
カメラの画像をテレビで見る（HDMI）	156
JPEGの画像サイズと圧縮率の組み合わせ（画質設定）	158
工事メニューを使う	159
工事メニューについて	159
ご注意	160
工事メニューを表示する	161
SCN モードの【現場写真を撮る】	162
国土交通省の基準に準拠した画質モードに設定する	164
静止画画質モードから設定する	164

撮影メニューから設定する（簡単 CALS）	164
編集・加工の有無を判定するための情報を画像に付加する（オリジナル画像判定）	166
画像に情報を付加する	166
パソコンへの取り込み方法	167
工事メニュー専用の【表示罫線選択】	168
外部機器と接続する	169
外部機器との接続について	169
Wi-Fi、Bluetooth®機能をお使いのときのご注意	170
カメラの無線通信を停止する	171
スマートフォンと接続する	172
スマートフォンとの接続について	172
スマートフォンとの接続設定をする	173
電源オン時の無線接続常時受け付けを設定する	175
スマートフォンに画像を転送する	176
スマートフォンからリモート撮影する（ライブビューリモコン）	177
スマートフォンからリモート撮影する（ワイヤレスレリーズリモコン）	178
無線 LAN/Bluetooth®設定を初期化する	179
パスワードを変更する	180
パソコンと接続する	181
カメラをパソコンに接続する	181
パソコンに画像を取り込んで保存する	182
ソフトウェアのインストール	183
リモコンを使う	184
各部の名称	184
カメラとリモコンを接続する	185
無線で接続する	185
ペアリングを解除する	186
リモコンからリモート撮影する	187
リモコンの通信ランプの表示	188
リモコンの MAC アドレスについて	189
リモコンの使用上のご注意	190
外部モニター（テレビ）と接続する（HDMI）	191

カメラと外部モニター（テレビ）との接続について.....	191
カメラの画像やムービーをテレビで見る（HDMI）.....	192
HDMI の出力信号を設定する.....	192
カメラをテレビに接続する.....	194
テレビのリモコンで操作する（HDMI コントロール）.....	195
フィールドセンサー機能を使う.....	197
フィールドセンサー機能について.....	197
GPS 機能およびその他の情報表示について.....	197
GPS 機能をお使いのときのご注意.....	198
GPS 機能、電子コンパスについて.....	199
GPS 機能を使う前に（GPS アシストデータ）.....	200
スマートフォンを使って GPS アシストデータを更新する.....	200
パソコンを使って GPS アシストデータを更新する.....	200
GPS 機能を使うには.....	201
ログを記録する／保存する.....	202
ログを記録する.....	202
ログの保存について.....	202
記録／保存したログを使う.....	203
専用アプリ OM Image Share を使ってできること.....	203
測位情報画面を表示する.....	204
画面表示.....	204
機能と初期設定一覧.....	205
撮影モード設定可能一覧.....	205
機能と初期設定一覧.....	215
ダイレクトボタン.....	216
ライブコントロール.....	217
📷 撮影メニュー.....	218
🎞️ 動画メニュー.....	220
▶️ 再生メニュー.....	221
⚙️ カスタムメニュー.....	222
📌 セットアップメニュー.....	225
画質設定と記録枚数／記録時間.....	226

静止画撮影枚数.....	226
ムービー総記録時間.....	227
ご注意.....	229
防水・耐衝撃性能について.....	229
水中での使用について.....	230
水中での使用前の注意.....	230
水中での使用中の注意.....	230
水中での使用後の注意.....	230
保管・お手入れについて.....	231
その他の注意.....	231
電池についてのご注意.....	232
海外での使用について.....	233
資料.....	234
別売品を使う.....	234
別売シリコンジャケットの取り付け方.....	234
ワイヤレス RC フラッシュシステムを使って撮る.....	234
改ざん防止カードについて.....	235
別売アクセサリについて.....	236
カメラのお手入れと保管.....	240
カメラのお手入れ.....	240
カメラの保管.....	240
画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング.....	241
アフターサービス.....	242
こんなときは?.....	243
電池を入れてもカメラが動かない.....	243
言語の設定を促す画面が表示される.....	243
シャッターボタンを押しても撮影ができない.....	243
日時設定がされていない.....	245
設定した機能が元に戻ってしまう.....	245
設定できない機能がある.....	245
撮影した画像が全体的に粗い.....	245
撮影した画像が全体的に白っぽい.....	245

撮影した画像に光が写っている.....	245
被写体でない明るい点が写り込む.....	246
レンズが曇る／モニターが見にくい.....	246
テレビでムービーを再生するとなめらかに再生されない.....	246
方位が正しく示されない.....	246
メニューで選べない機能がある.....	246
モニターに被写体のみが表示され、撮影情報が何も表示されない.....	246
エラーコード.....	248
仕様.....	252
カメラ.....	252
リチウムイオン電池.....	255
安全にお使いいただくために.....	256
安全にお使いいただくために.....	256
△ 危険.....	256
△ 警告.....	257
△ 注意.....	259
使用上のご注意.....	260
その他のご注意.....	262
機器認定について.....	262
電波障害自主規制について.....	263
商標について.....	263
カメラファイルシステム規格について.....	263

はじめに

はじめにご確認ください

「安全にお使いいただくために」をお読みください

誤った使い方をしたときに生じる人への危害や火災などの財産への損害を未然に防ぐために、製品をご使用になる前に「安全にお使いいただくために」(P.256)をよくお読みください。

カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。お読みになったあとも必ず保管してください。

このカメラを購入した国・地域以外での使用については、その国・地域の規則に違反する恐れがありますので、当社では一切の責任は負えません。

このカメラの無線 LAN、Bluetooth®、および GPS 機能について

このカメラは、無線 LAN、Bluetooth®、および GPS 機能を搭載しています。カメラを購入された地域以外での使用については、その国の電波管理規定に違反する恐れがありますので、あらかじめご確認ください。当社では一切の責任は負えません。

使用が禁止されている場所では、無線 LAN、Bluetooth®、および GPS 機能を停止させてください。

🔇 「カメラの無線通信を停止する」(P.171)、「GPS 機能をお使いのときのご注意」(P.198)

ユーザー登録について

お買い求めいただいた製品のユーザー登録をお願いします。ユーザー登録の方法は、当社ホームページをご確認ください。

ソフトウェア／アプリケーションのインストール

OM Workspace

カメラで撮影した静止画やムービーをパソコンに取り込んで、閲覧や編集を行うためのアプリケーションソフトウェアです。カメラのファームウェアのアップデートもできます。ソフトウェアのダウンロードについては当社ホームページをご覧ください。ソフトウェアのダウンロードにはご利用の製品のシリアル No を入力する必要があります。

OM Image Share

カメラでシェア予約した画像をスマートフォンに取り込むことができます。またスマートフォンでカメラをリモート操作し、撮影することができます。アプリケーションについては当社ホームページをご覧ください。



本取扱説明書について

知りたいことの検索方法






本書では、知りたいことを次の方法で検索することができます。

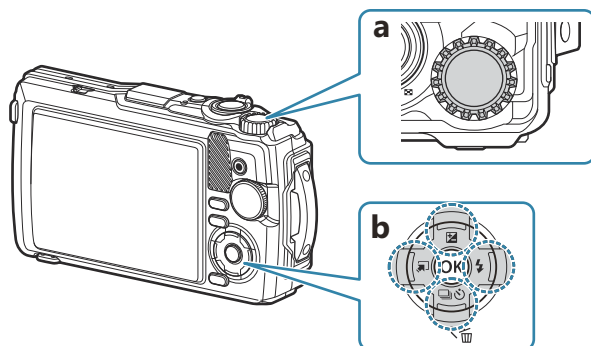
探しかた	場所
やりたいことから探す	 「もくじ」
カメラのボタンや部位から探す	 「各部の名称」(P.15)
画面に表示されるメニューや用語から探す	 「機能と初期設定一覧」(P.215)

本書の表記について

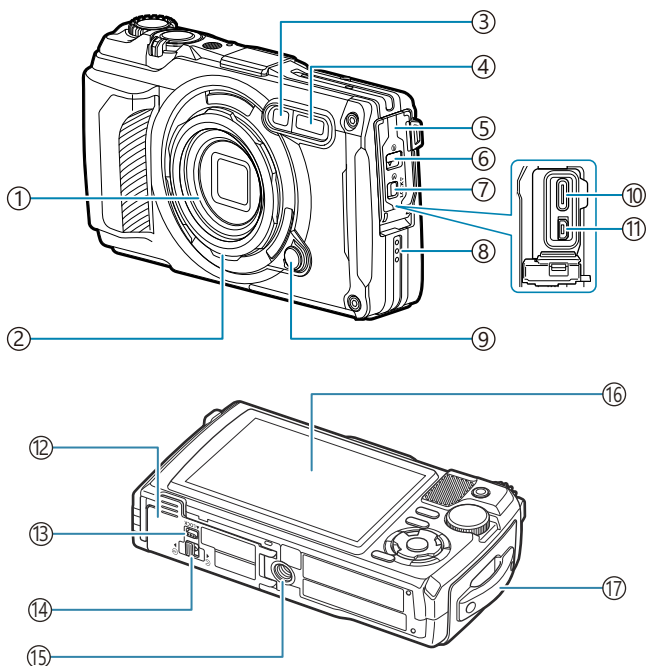
本文中の記号について

本文中、次の表記を使っています。

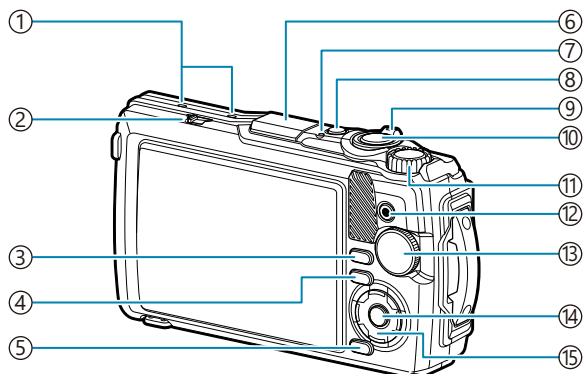
	コントロールダイヤル (a) の操作を示しています。
	十字ボタン (b) をそれぞれ上下左右に押す操作を示しています。
	注意事項や制約事項を記載しています。
	知っておくと便利なことや役に立つ情報を記載しています。
	関連する情報の参照ページを記載しています。



各部の名称



- ① レンズ
- ② レンズリング (取り外し可) (P.237)
- ③ セルフタイマーランプ/ワンタッチライト/
AF 補助光 (P.58、P.65、P.142)
- ④ 内蔵フラッシュ (P.62)
- ⑤ コネクタカバー (P.23)
- ⑥ コネクタカバー開閉ノブ (P.23)
- ⑦ ロックノブ (P.23)
- ⑧ スピーカー
- ⑨ レンズリング取り外しボタン (P.237)
- ⑩ USB コネクタ (タイプ C) (P.23、P.181)
- ⑪ HDMI コネクタ (タイプ D) (P.156)
- ⑫ 電池/カードカバー (P.19)
- ⑬ ロックノブ (P.19)
- ⑭ 電池/カードカバー開閉ノブ (P.19)
- ⑮ 三脚穴
- ⑯ モニター (P.31、P.86、P.151)
- ⑰ ストラップ取り付け部 (P.18)

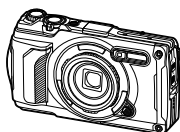


- ①ステレオマイク (P.106)
- ②LOG レバー (P.202)
- ③**INFO** ボタン (P.33、P.88、P.65)
- ④▶ (再生) ボタン (P.89)
- ⑤**MENU** / Wi-Fi ボタン (P.114)
- ⑥GPS アンテナ (P.201)
- ⑦動作ランプ (P.23、P.202)
- ⑧**ON/OFF** ボタン (P.27)
- ⑨ズームレバー (P.37、P.93、P.91、P.92)
- ⑩シャッターボタン (P.35)
- ⑪コントロールダイヤル (P.89)
- ⑫🎥 (ムービー) / ✓ ボタン (P.52、P.94)
- ⑬モードダイヤル (P.35)
- ⑭**OK** ボタン (P.66、P.89、P.114)
- ⑮十字ボタン (P.55)
 - △ / 📷 (露出補正) ボタン (P.56)
 - ▽ / 📷🕒 (連写/セルフタイマー) / 🗑️ (消去) ボタン (P.58、P.95)
 - ◀ / 📷 (モード機能呼び出し) ボタン (P.48、P.49)
 - ▶ / ⚡ (フラッシュ) ボタン (P.62)

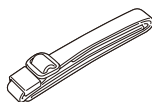
準備する

カメラと付属品を確認する

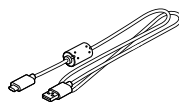
お買い上げの商品には、カメラ本体と次の付属品が入っています。
万一、不足していたり、破損していた場合には、お買い上げ販売店までご連絡ください。



カメラ
(レンズリングが取り外せます)



ストラップ



USB ケーブル CB-USB14



リチウムイオン電池 LI-92B



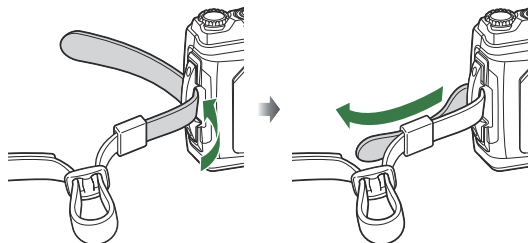
取扱説明書 基本編

- 保証書
- 防水製品のお取り扱いについて

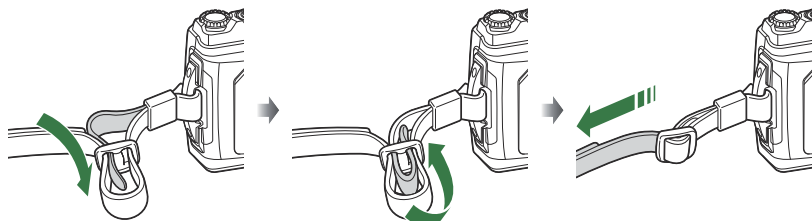
ⓘご購入の際、充電機は十分に充電されていません。ご使用前に充電を行ってください (P23)。

ストラップを取り付ける

1. ストラップの端をカメラのストラップ取り付け部に通してから、再度リングに通します。



2. ストラップの端を留め具に通して固定します。



- 最後にストラップを少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してください。

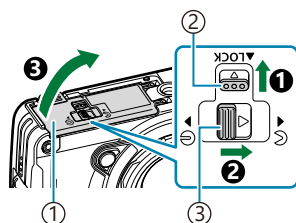
電池とカードを入れる／取り出す

本書では、記録メディアを「カード」と呼びます。このカメラで使用できるカードは、SD規格に準拠したSD/SDHC/SDXCカード（市販）です。

新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途で使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。🔗「[カードを初期化する（カードセットアップ）](#)」（P.138）


電池とカードを入れる

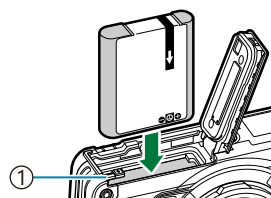
1. 電池／カードカバーを開けます。



- ① 電池／カードカバー
- ② ロックノブ
- ③ 電池／カードカバー開閉ノブ

2. 電池を入れます。

- 電池は必ず LI-92B（P.17）をお使いください。
- 電池は  を電池ロックノブ側にして図のように入れてください。
- 誤った向きで電池を入れると、電源が入りません。必ず正しい向きで入れてください。

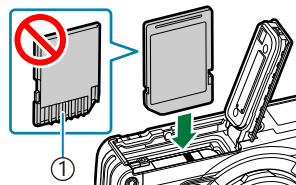


- ① 電池ロックノブ

🔗 長時間の撮影には、電池の消耗に備えて予備の電池を用意されることをおすすめします。

🔗 「[電池についてのご注意](#)」（P.232）もあわせてお読みください。

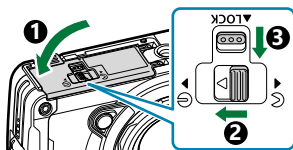
3. カードを入れます。
- カードがロックされるまで差し込みます。



① 端子部

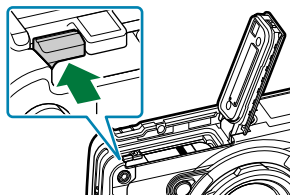
① 破損、変形したカードを無理に入れしないでください。カードスロットを破損させる場合があります。

4. 電池／カードカバーを閉めます。
- 電池／カードカバーを ① の方向に押さえながら、電池／カードカバー開閉ノブとロックノブをスライドさせてロックします (②③)。
 - カメラをご使用の際は、必ず電池／カードカバーを閉じロックをしてください。



電池を取り出す

電池／カードカバーを開け閉めする際は、カメラの電源をオフにしてください。電池を取り出すには、電池ロックノブを矢印の向きに押しロックを外してから取り出します。



① カード書き込み中のマークが表示されている間は、絶対に電池を抜かないでください。

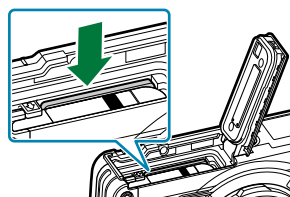


① カード書き込み中マーク

① カメラから電池を取り出せなくなった場合は無理に取り出さず、当社修理センターまたはサービスステーションまでご相談ください。

カードを取り出す

差し込まれているカードを軽く押すと、カードが出てきます。カードをつまんで取り出します。



① カード書き込み中のマーク (P20) が表示されている間は、絶対にカードを抜かないでください。

カードについて

このカメラで使用できるカードは、SD規格に準拠したSD/SDHC/SDXCカード（市販）です。最新情報は当社ホームページをご確認ください。



また、本機は改ざん防止カード（SD WORMカード/Write Once メモリカード/PGS WORMカード）を使用できます。詳細は「[改ざん防止カードについて](#)」（P235）をご参照ください。

SDカードの書き込み禁止スイッチについて

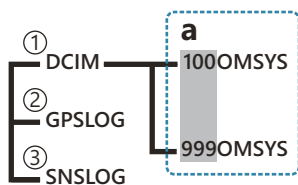
SDカード本体は書き込み禁止スイッチを備えています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みができなくなります。スイッチを戻すと書き込み可能になります。



⚠ 初期化や消去してもカード内のデータは完全には消去されません。廃棄する際は、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

カードの保存先について

カードに保存される各データは、図のフォルダ内に保存されます。



- ① **DCIM** : 画像がサブフォルダ (a) に保存されます。サブフォルダの番号は自動で連番になります。
- ② **GPSLOG** : GPS ログが保存されます。
- ③ **SNSLOG** : センサーログが保存されます。

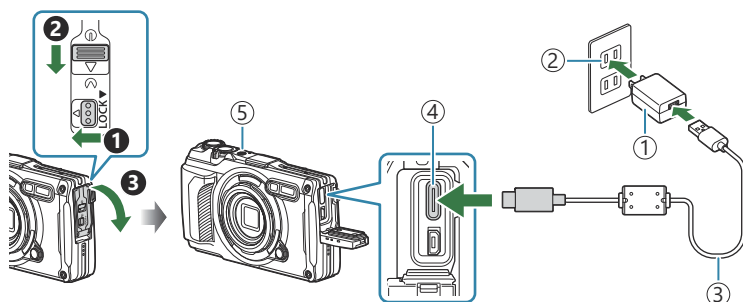
電池を充電する

- ①ご購入の際、充電電池は十分に充電されていません。ご使用前に充電を行ってください。
- ②充電時の使用環境温度は、0℃から40℃です。
- ③本機は次の方法で充電ができます。
 - F-5AC (別売) を使用した充電 (P.23)
 - パソコンに接続した充電 (P.181)
 - 市販の USB 機器を使用した充電 (P.25)

別売の USB-AC アダプターで電池を充電する

1. カメラに電池が入っていることを確認し、USB ケーブル、USB-AC アダプター、電源コンセントを接続する。

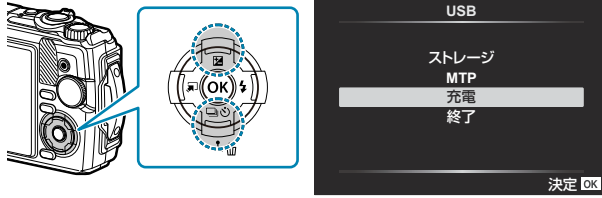
※カメラに付属の USB ケーブル (CB-USB14)、または別売の USB ケーブル (CB-USB11) 以外の使用はお控えください。



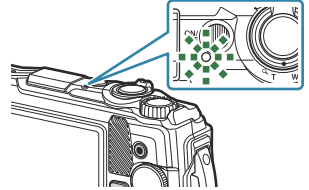
- ①USB-AC アダプター F-5AC (別売)
- ②電源コンセント
- ③USB ケーブル (付属)
- ④USB コネクタ (タイプ C)
- ⑤動作ランプ

- モニターにメニューが表示されます。

2. 十字ボタンの Δ ∇ で **充電** を選択して **OK** ボタンを押す。



- 動作ランプが点灯し、充電を開始します。
- 充電が完了すると、動作ランプは消灯します。
- 充電時間は約3時間です。周囲の温度が高い場合は充電時間が長くなる場合があります。



① 充電が完了したら、必ず USB-AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。

🌀 撮影が長時間になる場合は USB-AC アダプターをお使いください。USB-AC アダプターをお使いの場合、カメラに電池を挿入した状態で、USB ケーブルを接続した後に表示される画面で **充電** を選択してください。モニターの消灯後、**ON/OFF** ボタンを押すと再度モニターが点灯し、充電しながら撮影できます。

🌀 海外での充電については「[海外での使用について](#)」(P.233) をご覧ください。

① 付属または当社指定以外の USB ケーブルは絶対に使用しないでください。発煙や発火の恐れがあります。

① 電池の充電中に、動作ランプが点灯しない場合は、ケーブルを再接続してください。

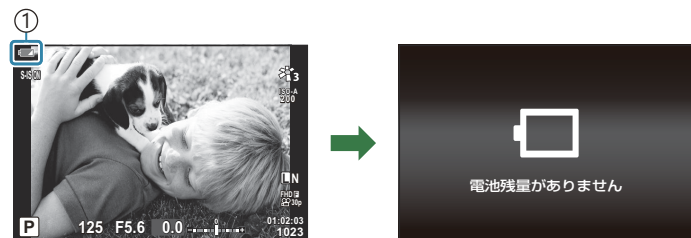
🌀 付属の充電電池は充電器 (UC-92 : 別売) を使って充電することもできます。

① USB-AC アダプターの取扱いについて

お手入れの際は、USB-AC アダプター本体をコンセントから抜いて行ってください。USB-AC アダプター本体を抜かないで行くと、感電・けがの原因となることがあります。

電池の充電時期

図のエラーメッセージが表示されたら電池を充電してください。



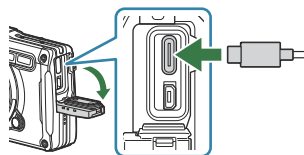
① 赤く点滅

USB 機器で充電する

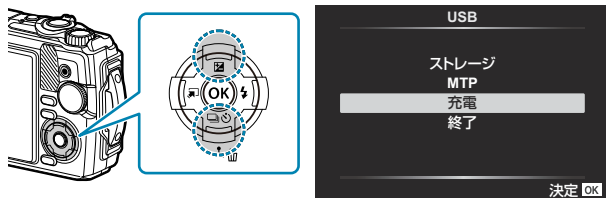
市販の USB 機器と USB ケーブルで接続しているときは、カメラ本体内の電池を充電することができます。

1. カメラに電池が入っていることを確認し、カメラと USB 機器を USB ケーブルで接続します。

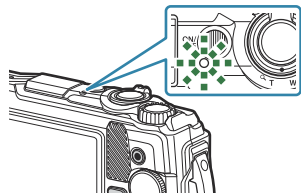
- モニターにメニューが表示されます。



2. 十字ボタンの Δ ∇ で **【充電】** を選択して **OK** ボタンを押す。



- 充電中は動作ランプが点灯します。接続している USB 機器の出力の仕様によって、充電の時間は変わります。充電が完了するとランプが消灯します。



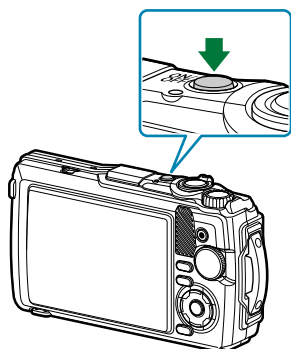
① 電池の充電中に、動作ランプが点灯しない場合は、ケーブルを再接続してください。

- ① 充電時間は USB 機器の性能により大きく異なります。出力が 7.5W (5V/1.5A) に対応した USB 機器の使用をおすすめします。USB 機器によっては USB 充電ができない場合があります。使用する USB 機器の取扱説明書をご覧ください。

電源を入れる

1. ON/OFF ボタンを押して電源を入れます。

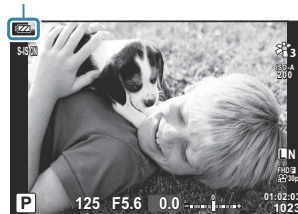
- 電源が入るとモニターが点灯します。
- 電源をオフにするには、もう一度 ON/OFF ボタンを押します。



電池残量表示


電池アイコンと電池残量が表示されます。





- 点灯 (緑) : 撮影できます。
- 点灯 (緑) : 電池が減っています。
- 点滅 (赤) : 充電してください。



カメラのスリープ動作について

カメラを一定時間操作しないと、電池消費を抑えるためにカメラが自動的に待機状態になります。この状態をスリープモードといいます。

- スリープモードになるとモニターが消灯し、カメラは動作を停止します。シャッターボタンや  ボタンなどを操作するとカメラは動作を再開します。
- スリープモードに入ってから操作を行わずにさらに 5 分経過すると、電源がオフになります。お使いになるときは、電源を入れなおしてください。

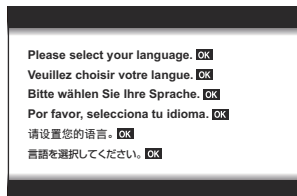
①スリープモードまでの時間は  カスタムメニューで変更できます。初期設定では、スリープモードまでの時間は 1 分です。   カスタムメニュー  **【スリープ時間】** (P.151)

初期設定をする

初めて電源を入れたときは、初期設定として言語と日時の設定を行います。

- ① ファイル名は日付の情報をもとに付けられます。お使いになる前に必ず正しい日時を設定してください。設定されていないと使用できない機能もあります。

1. 初期設定画面（言語の設定を促す画面）が表示されたら、**OK** ボタンを押します。



2. Δ ∇ \triangleleft \triangleright またはコントロールダイヤルで、設定したい言語にカーソルを移動します。



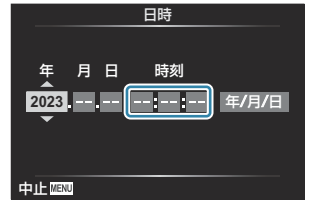
3. 設定したい言語の位置にカーソルを移動させた状態で、**OK** ボタンを押します。



- **OK** ボタンを押す前にシャッターボタンを押すと、言語が設定されないまま撮影待機状態になります。その場合、一度カメラの電源をオフしてから入れ直すと初期設定画面が再度表示されますので、手順 1 から操作を行ってください。
- 言語の設定は、メニューで後から変更できます。🔍 「言語の表示がおかしい / 設定した言語が表示されないときは」 (P.30)

4. 日付／時刻／日付表示順序を設定します。

- ◀▶ ボタンで項目を選びます。
- △▽ ボタンまたはコントロールダイヤルで内容を選びます。
- 時刻は 24 時間表示です。



- 日時の設定は、メニューで後から変更できます。🔍 [🔍 セットアップメニュー【日時設定】\(P.136\)](#)

5. OK ボタンを押します。

6. △▽ ボタンで地域を選択し、OK ボタンを押します。

- **INFO** ボタンでサマータイムの設定ができます。

7. OK ボタンを押して、設定を終了します。

📌 日時の情報は画像とともにカードに記録されます。

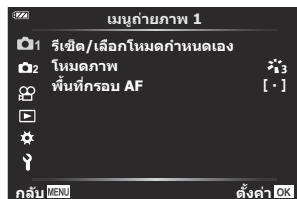
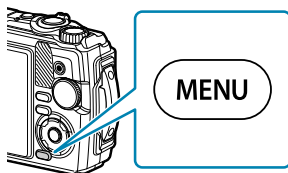
📌 カメラから電池を取り外してしばらく放置すると、日時がリセットされる場合があります。リセットされたときは、メニューから設定してください。🔍 [🔍 セットアップメニュー【日時設定】\(P.136\)](#)

📌 ムービーを撮影する場合は、必要に応じてあらかじめフレームレートを設定してください。🔍 [「ムービーの画質を設定する \(🔍 画質モード\)」\(P.79\)](#)

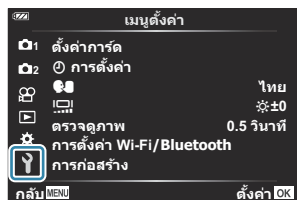
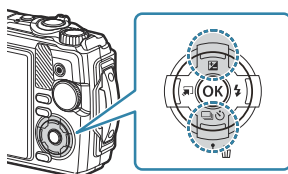
言語の表示がおかしい／設定した言語が表示されないときは

画面の表示が読めない文字になっていたり、意図しない言語が表示されたときは、言語設定時に設定したい言語とは異なる言語を選択した可能性があります。次の手順で言語の設定を変更してください。

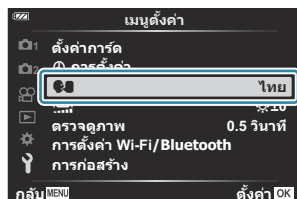
1. MENU ボタンを押し、メニューを表示します。



2. △▽ ボタンで Y (セットアップメニュー) タブを選択し、OK ボタンを押します。



3. △▽ ボタンで [C] を選択し、OK ボタンを押します。



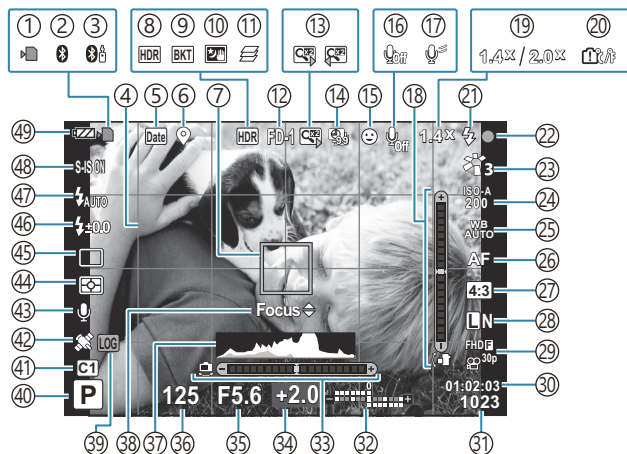
4. △▽<|> ボタンで設定したい言語を選択し、OK ボタンを押します。



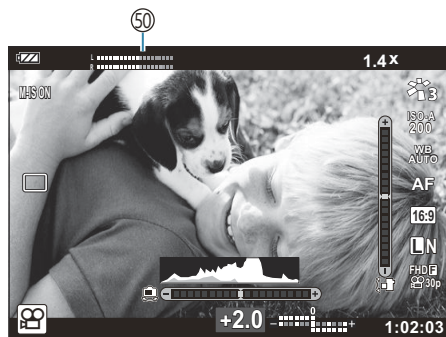
撮影する

撮影時の情報表示

静止画像撮影時のモニター表示



ムービーモード中のモニター表示

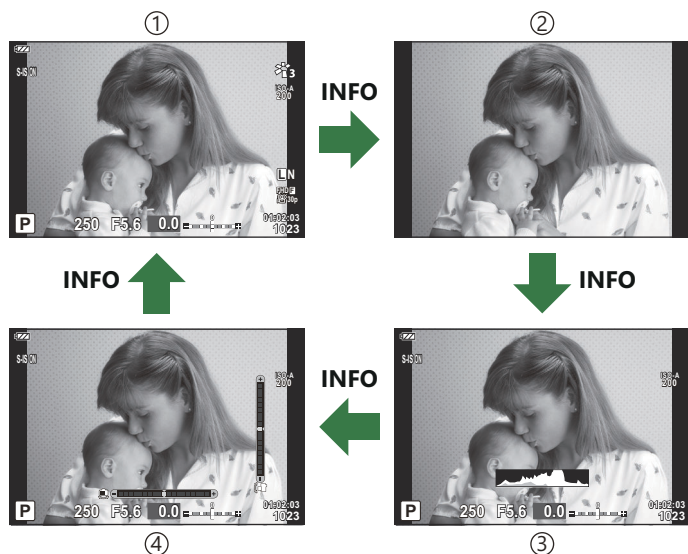
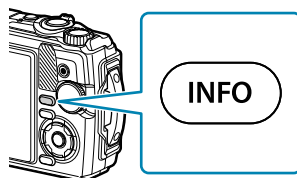


- ①カード書き込み中 (P.20、P.21)
- ②Bluetooth 接続中 (P.173)
- ③リモコン接続中 (P.185)
- ④罫線 (P.143)
- ⑤日付写し込み (P.129)
- ⑥位置情報付与 (P.202)
- ⑦AF ターゲット (P.35、P.122)
- ⑧HDR 撮影 (P.43、P.49)
- ⑨ブラケット撮影 (P.127)
- ⑩手持ち夜景 (P.43)
- ⑪深度合成 (P.48)
- ⑫アクセサリ (P.85、P.236)
- ⑬デジタルテレコン¹ (P.57)
- ⑭インターバル撮影 (P.124)
- ⑮顔優先 (P.84)
- ⑯ムービー録音 (P.52、P.131)
- ⑰風切り音低減 (P.131)
- ⑱水準器 (垂直方向) (P.33、P.154)
- ⑲光学ズーム倍率／像倍率¹ (P.37、P.48)
- ⑳内部温度上昇警告 (P.248)
- ㉑フラッシュ (点滅：充電中、点灯：充電完了)
(P.62)
- ㉒合焦マーク (P.35)
- ㉓ピクチャーモード (P.68、P.120)
- ㉔ISO 感度 (P.71)
- ㉕ホワイトバランス (P.72)
- ㉖AF 方式 (P.75)
- ㉗アスペクト比 (P.76)
- ㉘画質モード (静止画) (P.77)
- ㉙画質モード (ムービー) (P.79)
- ㉚録画可能時間 (P.227)
- ㉛撮影可能枚数 (P.226)
- ㉜上：フラッシュ補正 (P.82)
下：露出補正 (P.56)
- ㉝水準器 (水平方向) (P.33、P.154)
- ㉞露出補正值 (P.56)
- ㉟絞り値 (P.39、P.41)
- ㊱シャッター速度 (P.39、P.41)
- ㊲ヒストグラム (P.33、P.154)
- ㊳AF 微調整操作ガイド (P.64、P.75)
- ㊴LOG アイコン／LOG 警告アイコン (P.202、
P.248)
- ㊵撮影モード (P.35)
- ㊶カスタムモード (P.50、P.119)
- ㊷GPS アイコン (P.201)
- ㊸静止画録音 (P.130)
- ㊹測光方式 (P.83)
- ㊺連写／セルフタイマー (P.58)
- ㊻フラッシュ補正 (P.82)
- ㊼フラッシュモード (P.62)
- ㊽手ぶれ補正 (P.81)
- ㊾電池残量 (P.27)
- ㊿録音レベルメーター (P.53)

1 [ 顕微鏡コントロール] (P.48) 使用時は常に表示されます。

情報表示を切り換える

撮影待機状態で **INFO** ボタンを押すと、撮影時の情報表示の切り換えができます。



① 基本情報表示¹

② 表示 Off

③ ヒストグラム表示 (カスタム表示 1)

④ 水準器表示 (カスタム表示 2)

1 (ムービーモード) の撮影待機中は表示されません。

- カスタム表示 1 とカスタム表示 2 の設定は変更できます。🔊 [【Info 表示設定】](#) の [\[LV-Info\]](#) (P.154)
- **INFO** ボタンを押しながらコントロールダイヤルを回して撮影時の情報表示を双方向に変更することもできます。

ヒストグラム表示

画像の明るさの分布をヒストグラムで表示します。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの画素数を表しています。撮影時は露出オーバーの部分を実赤、露出アンダーの部分を実青、スポット測光のエリア内を実緑で表示します。



- ① 多い
- ② 少ない
- ③ 暗い
- ④ 明るい

水準器表示


カメラの傾きを表示します。「あおり」方向は縦のバー、「水平」方向は横のバーで表示します。バーが緑色で表示されたとき、カメラは水平・垂直になります。

- 水準器の表示は目安としてお使いください。
- 表示に誤差がある場合は、水準器調整 (P151) を行ってください。

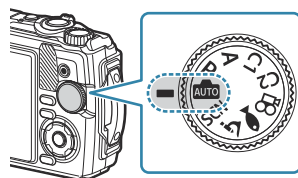
静止画を撮る

撮影モードの種類

	オート (P38)
P	プログラム AE (P39)
A	絞り優先 AE (P41)
SCN	シーン (P43)
	顕微鏡 (P48)
	水中 (P49)
C1	カスタム (P50)
C2	

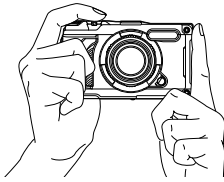
モードダイヤルの  については、「ムービーモードを使って撮る (ムービーモード) (P53)」を参照してください。

1. モードダイヤルを回して使用するモードに設定します。

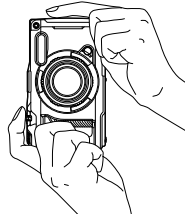


2. カメラを構えて構図を決めます。

① レンズや AF 補助光に指やストラップがかからないよう、ご注意ください。



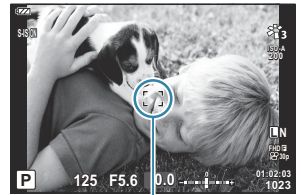
横位置



縦位置

3. ピントを合わせます。

- 撮りたい被写体に AF フレームを合わせます。



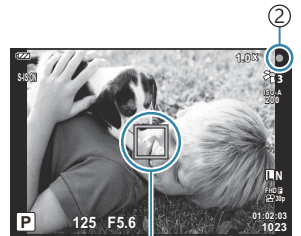
①

① AF フレーム

- シャッターボタンを1段目まで浅く押し込みます（半押し）。



- 合焦マーク（●）が表示され、ピントの合ったところに緑の枠（AF ターゲット）が表示されます。



①

① AF ターゲット

② 合焦マーク

① 合焦マークが点滅しているときは、被写体にピントが合っていません（P243）。

4. 撮影します。

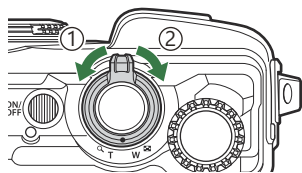
- 半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押し込みます（全押し）。
- シャッターが切れ、撮影されます。
- 撮影された画像がモニターに表示されます。



シャッターボタンを全押しします。

ズームを使う

遠くのを拡大（望遠）して撮影したり、広い範囲（広角）を撮影することができます。ズームレバーを回すと、撮影する範囲を調整できます。



① 広角 (W) 側

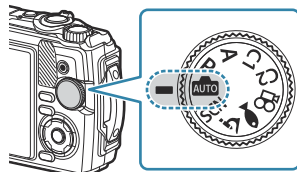



② 望遠 (T) 側

カメラまかせで撮影する（オートモード）

シャッターボタンを押すだけで、撮影シーンに適した撮影ができます。

1. モードダイヤルを  に合わせます。



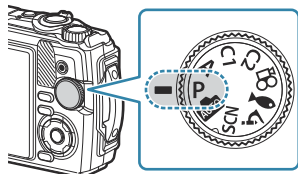
- オートモードでは、シャッターボタンを半押しすると、撮影に適したシーンをカメラが自動的に判別します。シーンを判別すると、画面左下の  アイコンが判別したシーンモードのアイコンに変わります。

2. 撮影します。

絞り値とシャッター速度を自動で設定して撮影する (Pプログラム撮影)

被写体の明るさに応じて、最適な絞り値とシャッター速度をカメラが自動的に設定します。

1. モードダイヤルを **P** に合わせます。




2. 被写体にピントを合わせて表示を確認します。

- カメラが設定したシャッター速度と絞り値が表示されます。



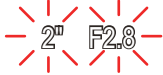
- ① 撮影モード
- ② シャッター速度
- ③ 絞り値
- ④ 露出補正值

- コントロールダイヤルを回すか、 ボタン (Δ) を押してから <D> ボタンを押すと露出補正 (P.56) の設定ができます。

3. 撮影します。

適正露出が得られないときは

シャッター速度と絞り値が次のように点滅しているときは、適正露出が得られません。

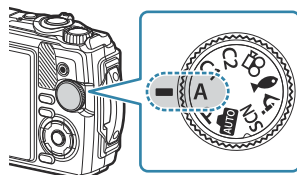
警告表示例	状態と対処方法
絞り値が小さい値でシャッター速度が遅い場合  F2.8	被写体が暗すぎます。 • フラッシュを使ってください。
絞り値が大きい値でシャッター速度が速い場合 	被写体が明るすぎます。 • カメラの測光範囲を超えています。

ISO 感度を **[AUTO]** 以外に設定しているときは、設定を変更することで適正露出が得られる場合があります。☞ 「感度を変更する (ISO 感度)」 (P.71)

絞りを決めて撮影する（A 絞り優先撮影）

絞り値（F 値）を設定すると、被写体の明るさに応じてカメラが適正なシャッター速度を自動的に設定します。絞り値の数値を小さくする（絞りを開く）ほど、ピントの合う範囲（被写界深度）が狭くなり、背景のボケが強くなります。絞り値の数値を大きくする（絞りを絞る）ほど、ピントの合う範囲が前後に広がります。

1. モードダイヤルを **A** に合わせます。



2. コントロールダイヤルを回して絞り値を設定します。



① 絞り値

- 適正なシャッター速度が自動的に設定され画面に表示されます。
- ボタン（ Δ ）を押してから、コントロールダイヤルを回すか $\leftarrow \triangleright$ ボタンを押すと露出補正（P.56）の設定ができます。

3. 撮影します。

適正露出が得られないときは

シャッター速度が次のように点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例	状態と対処方法
シャッター速度が遅い場合 	露出アンダー（露出不足）です。 • 絞り値を小さくしてください。
シャッター速度が速い場合 	露出オーバー（露出過度）です。 • 絞り値を大きくしてください。

ISO 感度を [AUTO] 以外に設定しているときは、設定を変更することで適正露出が得られる場合があります。☞ 「感度を変更する (ISO 感度)」 (P.71)






シーンモードを使う (SCN モード)

被写体や撮影シーンに合わせて適切な設定で撮影できます。




- ・【ライブコンポジット】と【パノラマ】は他のシーンモードと使い方が異なりますので、詳しくはそれぞれ「【ライブコンポジット】で撮影する」(P46)、「【パノラマ】で撮影する」(P47)をご覧ください。



シーンモードの種類

人を撮る



	ポートレート	人物撮影に適しています。肌の質感を強調します。
	eポートレート	肌をなめらかに整えます。効果適用前と適用後の2コマの画像が同時に記録されます。
	風景&人物	風景を背景にした人物の撮影に適しています。青・緑・肌の色を綺麗に再現します。
	夜景&人物	夜景を背景にした人物の撮影に適しています。三脚の使用とOM Image Share や別売のリモコンを使ったリモート撮影をおすすめします (P.177、P.178、P.187)。
	キッズ	活発な子供などの被写体を撮影するのに適しています。連写撮影になります。

夜景を撮る






	夜景	カメラを三脚で固定しての夜景撮影に適しています。三脚の使用とOM Image Share や別売のリモコンを使ったリモート撮影をおすすめします (P.177、P.178、P.187)。
	夜景&人物	夜景を背景にした人物の撮影に適しています。三脚の使用とOM Image Share や別売のリモコンを使ったリモート撮影をおすすめします (P.177、P.178、P.187)。
	手持ち夜景	三脚を使わない夜景撮影に適しています。手ぶれによる乱れを軽減します。1回の撮影で8枚撮影して合成します。

	打ち上げ花火	夜空の花火を撮影するのに適しています。三脚の使用と OM Image Share や別売のリモコンを使ったリモート撮影をおすすめします (P.177、P.178、P.187)。
	ライブコンポジット	自動的に複数枚を撮影して明るく変化した部分だけを合成します。長時間露出では全体が明るくなってしまいうシーンでも、仕上がりをモニターで確認しながら、建物や夜空などを背景にして星などの光跡を表現できます。三脚の使用と OM Image Share や別売のリモコンを使ったリモート撮影をおすすめします (P.177、P.178、P.187)。 <ul style="list-style-type: none"> 撮影方法は「【ライブコンポジット】で撮影する」(P.46)をご覧ください。


動きのあるものを撮る





	スポーツ	動きのある被写体の撮影に適しています。連写撮影になります。
	キッズ	活発な子供などの被写体を撮影するのに適しています。連写撮影になります。

風景を撮る

	風景	風景撮影に適しています。
	夕日	夕日の撮影に適しています。
	ビーチ&スノー	晴天の海や雪山で撮影するのに適しています。
	パノラマ	複数の画像をつなぎ合わせたパノラマ画像を撮影できます。 <ul style="list-style-type: none"> 撮影方法は「【パノラマ】で撮影する」(P.47)をご覧ください。
	HDR 逆光補正	明暗の差が大きい撮影に適しています。連写した画像を合成して適切な明るさに補正します。シャッターボタンを押すと、自動的に4枚の撮影を行います。撮影が終わると、自動的に1枚の画像が合成されます。

室内で撮る

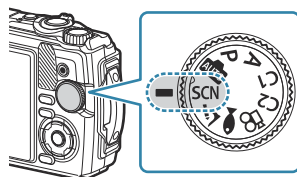
	キャンドルライト	キャンドルライトの光源下で撮影するのに適しています。温かみのある色が再現されます。
--	----------	---

	ポートレート	人物撮影に適しています。肌の質感を強調します。
	eポートレート	肌をなめらかに整えます。効果適用前と適用後の2コマの画像が同時に記録されます。
	キッズ	活発な子供などの被写体を撮影するのに適しています。連写撮影になります。
	HDR 逆光補正	明暗の差が大きい撮影に適しています。連写した画像を合成して適切な明るさに補正します。シャッターボタンを押すと、自動的に4枚の撮影を行います。撮影が終わると、自動的に1枚の画像が合成されます。

🔗【工事メニュー表示】(P.161) を【On】にすると、工事現場専用のシーンが設定できます (P.162)。

- ⌚ シーンの効果を最大限に引き出すため、撮影機能の設定変更には制限があります。
- ⌚ 【eポートレート】では、記録に時間がかかることがあります。また、画質モードが【RAW】のときは、RAW + JPEG で記録されます。
- ⌚ 【手持ち夜景】では、画質モードが【RAW】のとき、RAW + JPEG で1枚目のRAW画像と合成されたJPEG画像が記録されます。
- ⌚ 【HDR 逆光補正】では、HDR処理された画像はJPEGで記録されます。画質モードが【RAW】のときはRAW+JPEGで記録されます。
 - シャッター速度が遅くなる条件で撮影すると、画像にノイズが目立つ場合があります。
 - 三脚などでカメラを固定して撮影すると、より効果的です。
 - 撮影中にモニターに表示される画像は、HDR処理された画像とは異なります。
 - ピクチャーモードは【Natural】に、色空間は【sRGB】に固定されます。

1. モードダイヤルを **SCN** に設定します。



2. Δ ∇ \triangleleft \triangleright またはコントロールダイヤルで撮影シーンを選択し、**OK** ボタンを押します。



3. <▷ またはコントロールダイヤルでシーンモードを選択し、**OK** ボタンを押して設定します。
- **OK** ボタンを押して設定する前に **MENU** ボタンを押すと、撮影シーン選択画面に戻ります。



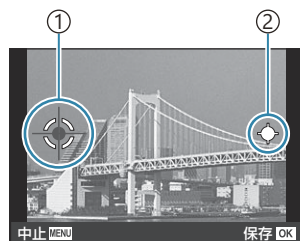
4. 撮影します。
- 他のシーンを選ぶときは、 (<) ボタンを押します。

[ライブコンポジット] で撮影する

1. モードダイヤルを **SCN** に設定します。
2. △▽<▷ またはコントロールダイヤルで **[夜景を撮る]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
3. <▷ またはコントロールダイヤルで **[ライブコンポジット]** を選択し、**OK** ボタンを押して設定します。
4. シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。
 - カメラのぶれを抑えるために、しっかりした三脚でカメラを固定し、OM Image Share や別売のリモコンを使ったりリモート撮影をおすすめします (P.177、P.178、P.187)。
 - 合焦マークが点滅したときはピントが合っていません。
5. シャッターボタンを全押しして撮影します。
 - カメラが自動で適切な設定を行い、撮影を開始します。
 - シャッターボタンを押してから撮影開始までにタイムラグがあります。
 - 一定時間毎に合成された画像が表示されます。
6. シャッターボタンをもう一度押して撮影を終了します。
 - モニターで画像が変化する様子を確認しながら、最適な仕上がりで撮影を終了します。
 - 1回で撮影できる時間は、最長3時間です。

[パノラマ] で撮影する

1. モードダイヤルを **SCN** に設定します。
2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ またはコントロールダイヤルで **【風景を撮る】** を選択し、**OK** ボタンを押します。
3. $\triangleleft \triangleright$ またはコントロールダイヤルで **【パノラマ】** を選択し、**OK** ボタンを押して設定します。
4. シャッターボタンを押して1コマ目を撮影します。
5. 2コマ目を撮る方向にカメラをゆっくりと動かします。
 - ターゲットマークが表示されます。
6. ポインタをターゲットマークに合わせるようにカメラをゆっくりと動かします。ポインタがターゲットマークと重なると自動的にシャッターが切れます。



左から右へ画像をつなぐ場合

- ①ターゲットマーク
- ②ポインタ





- 2コマだけ合成するときには、**OK** ボタンを押します。
7. 手順5と同様に3コマ目の画像を撮影します。自動的に合成されます。
 - 撮影を中止する場合は、**MENU** ボタンを押します。

📍ピントや露出などは、撮影開始時の設定で固定されます。

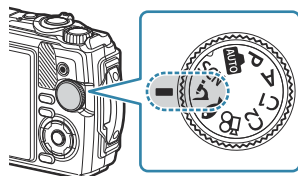
📍ポインタとターゲットマークが重なる前に、**OK** ボタンを押すか再度シャッターボタンを押すと撮影が終了し、それまでに撮影した画像が合成されます。

被写体に接近して撮影する（モード）

被写体に 1cm まで接近して撮影できます。また深度の深い画像の記録や、撮影枚数などを設定したフォーカスブラケット撮影もできます。

サブモード	内容
 顕微鏡	被写体に 1cm まで接近して撮影できます。
 深度合成	カメラが自動的にピント位置をずらした複数枚の画像を撮影し、それを合成した深度の深い画像を記録できます。最初の 1 コマ目と合成画像の 2 枚が記録されます。合成用の撮影枚数と撮影開始待ち時間は、 【深度合成設定】 (P.128) で設定します。 ① 手ぶれや被写体ぶれにより合成できない場合があります。
 フォーカス BKT	カメラが自動的にピント位置をずらした複数枚の画像を撮影できます。撮影枚数と撮影ステップは、 【Focus BKT】 (P.127) で設定します。
 顕微鏡コントロール	被写体を拡大表示して近接撮影するのに最適です。撮影距離が 1cm の時の表示倍率をモニターに表示します。▶ を押すとモニターの表示が 2 倍に拡大されます。もう一度押すと 4 倍に拡大されます。4 倍拡大時に ▶ を押すと解除されます。高倍率では、画像が粗くなります。


1. モードダイヤルを  に設定します。



2. <▶ ボタンまたはコントロールダイヤルでサブモードを選択し、OK ボタンを押します。



3. 撮影します。


- ピント位置を固定して撮影する場合は、フォーカスロック (P.64) または MF (P.75) をお使いください。
- 他のサブモードを選ぶときは、 (モード機能呼び出し) (<▶) ボタンを押します。

カスタムモードを使う（カスタムモード C1 / C2）

撮影でよく使う機能の設定と撮影モードをカスタムモードとして登録しておき、必要なときにモードダイヤルの操作だけで呼び出して使うことができます。

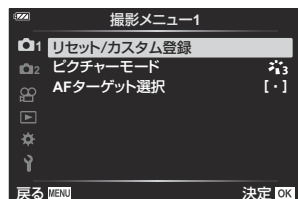
- C1、C2 のそれぞれに設定を登録できます。
- 初期設定では、P モードの設定が登録されています。

残しておきたい設定内容を登録する

1. 登録したい状態にカメラを設定します。
 - モードダイヤルは、（ムービーモード）以外に設定してください。

2. MENU ボタンを押して、メニューを表示します。

3. $\Delta \nabla \triangleleft$ で  タブを選択し、OK ボタンを押します。



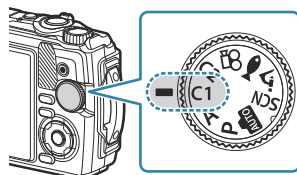
4. [リセット/カスタム登録] を選択し、OK ボタンを押します。

5. [カスタムモード C1] または [カスタムモード C2] を選択し、OK ボタンを押します。

6. [登録] を選択し、OK ボタンを押します。
 - 設定が登録されて [リセット/カスタム登録] の設定画面に戻ります。
 - すでに登録されている内容があるときは、現在の設定内容が上書きされます。
 - [クリア] を選択して OK ボタンを押すと、初期設定に戻ります。

登録した設定を呼び出す


1. モードダイヤルを **C1** または **C2** に設定します。





- 撮影メニュー 1 の【リセット/カスタム登録】で【カスタムモード **C1**】または【カスタムモード **C2**】に登録した設定が呼び出されます。

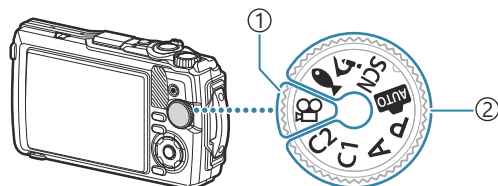
2. 撮影します。

ムービーを撮る

このカメラではムービー撮影をするために、ムービー撮影専用の  (ムービー) モードに設定して撮る方法と、静止画の撮影中に簡単にムービーを撮影する方法があります。

撮影は、 (ムービー) ボタンによって行います。

ムービー撮影のために設定する機能やムービー撮影時の情報画面は、モードダイヤルを  (ムービー) モードにしているときに表示されます。



① (ムービーモード) の場合


ムービーを中心に撮影する場合に適しています。

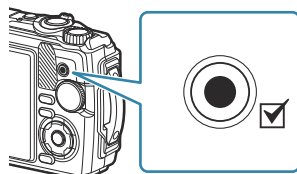
② その他の撮影モードの場合

静止画撮影の合間にムービー撮影をする場合に適しています。


① このカメラは撮像素子に CMOS を搭載しているため、ローリングシャッターによる「動体歪み」という現象が発生します。動体歪みは、動きの速い被写体や手ぶれのときに撮影画像に歪みが発生する物理現象です。特に長焦点で使用するとこの現象が顕著になります。

静止画撮影時にムービーを撮る

1.  ボタンを押してムービー撮影を始めます。



• モニターに撮影中の画像が表示されます。

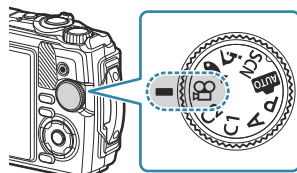
2. 再度  ボタンを押してムービー撮影を終了します。

① 次の場合、**●** ボタンを押してもムービー撮影はできません。

- シャッターボタン半押し中／連写中／インターバル撮影中／ライブコンポジット中／パノラマ撮影中

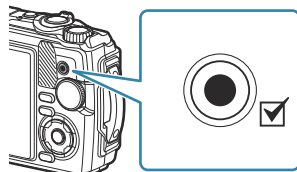
ムービーモードを使って撮る (📹 モード)

1. モードダイヤルを 📹 に設定します。

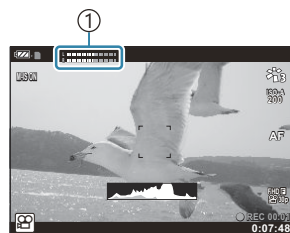


2. **●** ボタンを押してムービー撮影を始めます。

- もう一度 **●** ボタンを押すと、ムービー撮影を終了します。



- ムービー撮影中の録音音量は、録音レベルメーターで確認できます。録音レベルメーターが赤色の方向に伸びるほど、録音音量が大きいことを示しています。



① 録音レベルメーター

- 録音音量は、📹 動画メニューで調整できます。🔊 [【録音レベル調整】 \(P.131\)](#)

① ムービーモードでは、合焦時でもピピッという音はしません。

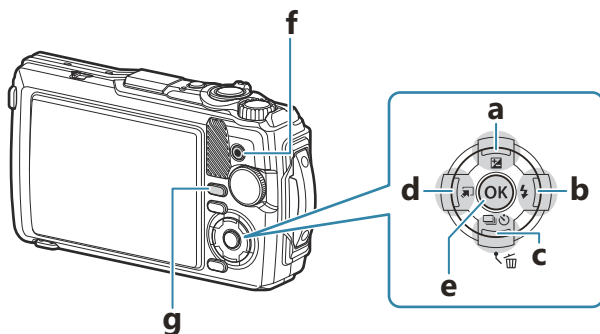
ダイレクトボタンで設定する

ダイレクトボタンで設定できる機能

撮影によく使う機能が Δ ∇ \triangleleft \triangleright に割り当てられています。ボタンを押すだけで、割り当てられた機能をダイレクトに選択できます。

撮影モードや撮影設定によっては選択できない機能があります。📷 「撮影モード設定可能一覧」(P.205)

機能が割り当てられているダイレクトボタンは、次の通りです。



ダイレクトボタン		割り当てられている撮影機能
a	☒ ボタン (Δ)	露出補正 (P.56)
b	⚡ ボタン (\triangleright)	フラッシュ撮影 (P.62)
c	📷🕒 ボタン (∇)	連写/セルフタイマー (P.58)
d	📷👉 ボタン (\triangleleft)	モード機能呼び出し (P.43、P.48、P.49)
e	OK ボタン	ライブコントロール (P.66)
f	🎥 ボタン	ムービー撮影 (P.52)
g	INFO ボタン	情報表示 (P.33)

画像の明るさを変えて撮影する（露出補正）

+補正にするとより明るく、-補正にするとより暗く表現できます。±2.0EVの範囲で補正できます。



- ①-補正
- ②補正 0
- ③+補正

露出補正を設定する

撮影モードによって操作方法が異なります。

撮影モード	操作方法
P/C1/C2///	コントロールダイヤルを回す または <input checked="" type="checkbox"/> ボタン（△）を押してから <D> を押す
A	<input checked="" type="checkbox"/> ボタン（△）を押してからコントロールダイヤルを回す または <input checked="" type="checkbox"/> ボタン（△）を押してから <D> を押す

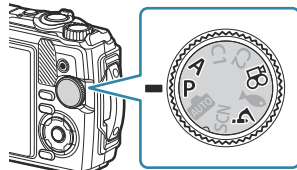
• /SCN では、露出補正はできません。

被写体を拡大して記録する（デジタルテレコン）

画像の中央部を拡大して記録します。P/A/☼モードでは2倍に拡大され、△モードの \square （顕微鏡コントロール）では拡大率を2倍、4倍に切り替えられます。

1. モードダイヤルをP、A、☼、△のいずれかに設定します。

- モードダイヤルを△に設定した場合は、 \square （顕微鏡コントロール）を選択してください。



2. モードダイヤルをP、A、☼のいずれかに設定した場合は< を押します。

△に設定した場合は> を押します。

- モードダイヤルをP、A、☼のいずれかに設定した場合は、モニターの表示は2倍に拡大され、 \square が表示されます。画像は拡大された状態で記録されます。もう一度<を押すと解除されます。



- モードダイヤルを△に設定した場合は、> を押すとモニターの表示が2倍に拡大されます。もう一度押すと4倍に拡大され、さらにもう一度押すとデジタルテレコンが解除されます。

☞ JPEGの画像では、実際に拡大した画像で記録されます。RAW画像では、表示した部分を示す枠が表示されます。画像再生時に拡大部分に枠が表示されます。

☞ 4K、ハイスピードで撮影するときは、記録開始時にデジタルテレコンが解除されます。

☞ [AFターゲット選択] は [[・]]（シングルターゲット）固定になります。








連写する／セルフタイマーを使う

連続撮影やセルフタイマーの方法を設定します。被写体に合わせて撮影方法を選択します。



①セルフタイマー撮影の際は、カメラを三脚にしっかりと固定してください。

1.  ボタン (∇) を押します。

2. <∆> またはコントロールダイヤルで項目を選択します。

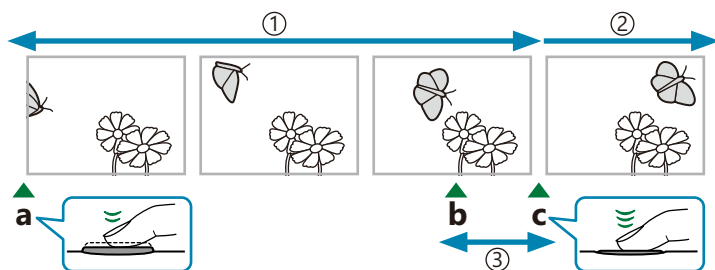
	単写	一度のシャッターボタンの全押しで、1コマだけ撮影されます。
	連写 H	シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影できます。 • 【連写 H】 を選んで OK ボタンを押す前に INFO ボタンを押すと、連写速度を変更できます。連写速度は約 10 コマ/秒 (10fps)、約 20 コマ/秒 (20fps) から選択できます。∆ ∇ <∆> またはコントロールダイヤルで項目を選択し、 OK ボタンを押して連写速度を決定します。 ①フラッシュは発光禁止になります。
	連写 L	シャッターボタンを全押ししている間、約 5 コマ/秒の速度で連続撮影できます。
	セルフタイマー — 12s	シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しするとセルフタイマーランプが約 10 秒間点灯し、さらに約 2 秒間点滅した後、撮影されます。
	セルフタイマー — 2s	シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しするとセルフタイマーランプが約 2 秒間点滅した後、撮影されます。
	カスタムセルフタイマー	INFO ボタンを押して 【セルフタイマー時間】 、 【コマ数】 、 【撮影間隔】 を設定できます。<∆> で選択し、∆ ∇ で数値を設定します。ピント・露出・ホワイトバランスは、最初の 1 コマで固定されます。
	プロキャプチャー	シャッターボタン半押しで連続撮影を開始します。全押しで、半押し時の撮影画像を含めた撮影画像をカードへ記録開始します。連写中、ピント・露出・ホワイトバランスは、最初の 1 コマで固定されます。📷 「リリースタイムラグを防いで撮影する (プロキャプチャー撮影)」 (P.60) ①フラッシュは発光禁止になります。

3. OK ボタンを押します。

- ① 連写中、電池の消耗により電池残量マークが点滅すると、撮影を中止してカードに記録を始めます。
電池の状態によっては、すべての画像を記録できない場合があります。
- 🌀 セルフタイマー撮影時に、カメラの前に立ってシャッターボタンを押すとピントがボケる原因になります。
- 🌀  では、撮影中もライブビューを表示します。 では、直前に撮影した画像を撮影中に表示します。
- 🌀 セルフタイマー作動中に撮影を中止するには、**MENU** ボタンを押します。
- 🌀 セルフタイマーの設定は、撮影が終わっても自動的に解除されません。

レリーズタイムラグを防いで撮影する（プロキャプチャー撮影）

プロキャプチャーモードは、レリーズ前約 0.5 秒から、約 10 コマ/秒の連写速度で連続撮影を行うモードです。タイムラグによって撮ることが難しかった一瞬を捉えることができます。

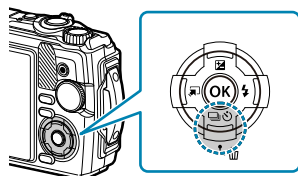


- ①最大 5 コマ
- ②連写継続
- ③タイムラグ

- a シャッターボタン半押し
- b 撮りたい瞬間
- c シャッターボタン全押し

シャッターボタンを全押ししてから撮影画像記録開始までのタイムラグを防ぐため、シャッターボタン半押しで電子シャッターを使った連続撮影を開始し、全押しで半押し時の撮影画像（最大で 5 コマ）を含めた撮影画像をカードへ記録開始します。

1. ボタン (▽) を押します。



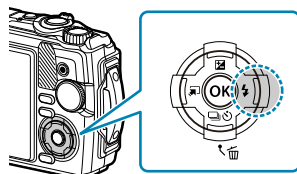
2. <D> またはコントロールダイヤルで (プロキャプチャー) を選択し、OK ボタンを押します。
3. シャッターボタンを半押しして撮影を始めます。
 - 半押し状態での連続撮影時間は最長 1 分です。撮影を続ける場合は、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。
4. シャッターボタンを全押ししてカードへの記録を開始します。

- ① 被写体の大きな動きや蛍光灯などのフリッカーにより、画像に乱れが出ることがあります。
- ① 連写中は、表示のブラックアウトやシャッター音は発生しません。
- ① シャッター速度の低速側には制限があります。

フラッシュを使って撮影する（フラッシュ撮影）




フラッシュを発光させて被写体に光を当てて撮影できます。

1. ⚡ ボタン (▷) を押します。



2. ◀▷ またはコントロールダイヤルでフラッシュ発光モードを選択し、OK ボタンを押します。

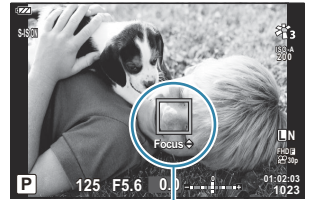
AUTO	オート発光	暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。
⚡	発光	フラッシュを必ず発光させます。
⚡👁️	赤目軽減	人物の目が赤く写る現象を起こりにくくします。
🚫⚡	発光禁止	フラッシュは発光しません。
⚡👁️ SLOW	スローシンク □+赤目軽減 発光	スローシンク□と赤目軽減発光を併用します。
⚡ SLOW	スローシンク □ (先幕シンク □)	背景が明るく撮れるように遅いシャッター速度でフラッシュを発光させます。
⚡ FULL、⚡ 1/4 など	マニュアル発 光量変更	マニュアルでフラッシュ撮影するときを選択します。[マニ アル発光量変更] を選択し、OK ボタンを押す前に INFO ボタ ンを押すと、△▽◀▷ またはコントロールダイヤルで発光 量を選択できます。
⚡ RC	リモートコン トロール	専用水中フラッシュやワイヤレス RC フラッシュを使って撮 影します。詳細は「ワイヤレス RC フラッシュシステムを使っ て撮る」(P.234) をご参照ください。
💡	LED 発光	撮影時にワンタッチライト (LED) が点灯します。近距離撮影 に効果的です。

- ①  (赤目軽減) では、最初の予備発光からシャッターが切れるまで約 1 秒かかります。撮影が終わるまでカメラを動かさないでください。
- ① 撮影状況によっては、 (赤目軽減) の効果が得られないことがあります。
- ①  (スローシンクロ (先幕シンクロ)) では、シャッター速度が遅くなります。カメラを三脚で固定してください。
- ① 撮影モードや撮影設定によっては選択できない項目があります。🔍 「[撮影モード設定可能一覧](#)」(P.205)

ピントを固定する（フォーカスロック）

ピントを合わせたい位置に固定することができます。

1. シャッターボタンを半押しし、被写体にピントを合わせます。
2. シャッターボタンを半押ししたまま **OK** ボタンを押します。
 - そのままピントがロックされます。



①AFロックマーク

🔗 ロックしたピントは Δ ∇ またはコントロールダイヤルで前後に微調整できます。

🔗 **OK** ボタン、ズーム操作、**MENU** 操作などを行うとロックは解除されます。

🔗 **SCN** モードの [**ライブコンポジット**] (P.43、P.46) の場合、シャッターボタンを半押しして合焦マークが点滅しているときに **OK** ボタンを押すと、ピントを無限遠に設定できます。

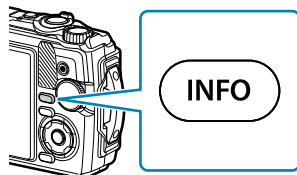
🕒 **AUTO** モード、一部の **SCN** モードでは使用できません。

ワンタッチライトを使う

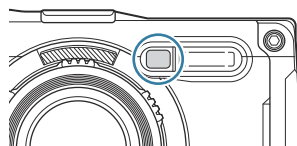
瞬間的に発光するフラッシュとは異なり、常時点灯させることができます。また、簡易懐中電灯としても使用できます。

ワンタッチライトを点灯させる

1. **INFO** ボタンを長押しします。



2. ワンタッチライトが点灯したらボタンを放します。
 - カメラの電源が切れている場合も点灯します。



電源 ON 時の点灯時間

点灯した状態でボタン操作を続けると、最長で約 90 秒間点灯します（ボタン操作をしていない状態では最長 30 秒）。

- ムービー撮影中も使用できます。ただし、4K ムービーの撮影中はワンタッチライトが無効になります。

電源 OFF 時の点灯時間

ボタン操作の有無にかかわらず、最長で約 30 秒間点灯します。

- 以下の場合、ワンタッチライトが自動的に消灯します。
 - **ON/OFF** ボタンを操作したとき
 - LOG レバーを操作したとき
 - メニュー画面を表示したとき
 - USB ケーブルを抜き差ししたとき
 - Wi-Fi 接続したとき

ワンタッチライトを消すには

ワンタッチライトが消灯するまで **INFO** ボタンを押します。

ライブコントロールで設定する

ライブコントロールで設定できる機能

ライブコントロールは、画面で効果を確認しながら設定できる操作画面です。

- 設定した内容は **P/A**/ モードで共有されます。



- ① 設定機能
- ② 選択肢

設定できる機能

ピクチャーモード (P.68)

シーンモード¹ (P.43)

ISO 感度 (P.71)

ホワイトバランス (P.72)

AF 方式 (P.75)

アスペクト比 (P.76)

 画質モード (P.77)

 画質モード (P.79)

 手ぶれ補正² (P.81)

 手ぶれ補正³ (P.81)

フラッシュ^{2, 4} (P.62)

フラッシュ補正² (P.82)

連写/セルフタイマー (P.58)

測光² (P.83)



顔優先 (P.84)

アクセサリ (P.85)

1 シーンモードの場合のみ表示されます。

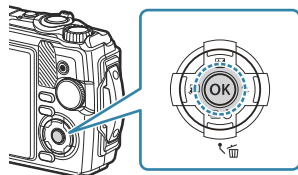
2 ムービーモードの場合は表示されません。

3 ムービーモードの場合のみ表示されます。

4 **P** または **A**、 (水中モード)、 (顕微鏡モード) 間で撮影モードを切り換える場合、それぞれのモードで設定した内容は保持され、電源を切ってもリセットされません。

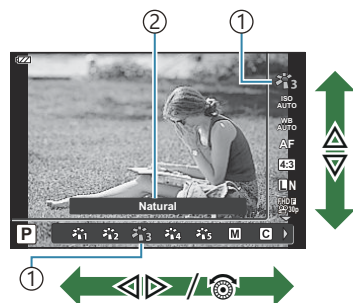
1. OK ボタンを押してライブコントロールを表示します。

- 再度 **OK** ボタンを押すとライブコントロールの表示が消えます。



2. Δ ∇ でカーソルを設定したい機能に移動し、 \triangleleft \triangleright で設定を選択し **OK** ボタンを押します。

- コントロールダイヤルでも設定を選択できます。
- 何も操作せずに約 8 秒間経過すると、設定が確定します。



- ①カーソル
- ②選択している機能名表示

• 撮影モードによっては選択できない機能があります。🔍 「[撮影モード設定可能一覧](#)」(P.205)

🔗 各機能の初期設定については、「[機能と初期設定一覧](#)」(P.215)をご覧ください。

画像の仕上がりを設定する（ピクチャーモード）

画像の色調を選択することができます。また個別に、コントラストやシャープネスなどの画像パラメータを微調整することもできます（P.120）。調整したパラメータは仕上がり項目ごとに記憶されます。

1. **OK** ボタンを押して、 Δ ∇ でピクチャーモードを選択します。



2. \triangleleft \triangleright で項目を選択し、**OK** ボタンを押します。

ピクチャーモードの種類

i-Finish	撮影シーンに合った印象的な仕上がりになります。
Vivid	色鮮やかに仕上げます。
Natural	自然な色合いに仕上げます。
Flat	素材性を重視した仕上がりになります。
Portrait	肌色をきれいに仕上げます。
モノトーン	モノクロ調に仕上げます。
カスタム	仕上がり項目の1つを選択して各パラメータを設定し、登録します。
e ポートレート	肌をなめらかに整えます。ムービー撮影やブラケット撮影では使えません。
水中	水中写真に合った色鮮やかな色彩に仕上げます。 • 【水中】 を設定して撮影するときは、 【+WB 連動】 （P.145）を 【Off】 に設定することをおすすめします。
ポップアート I / II	色の美しさを強調した画像になります。

ファンタジックフォーカス	柔らかいトーンの中で空気感を表し、幻想的な画像になります。
デイドリームⅠ／Ⅱ	全体的に光を散らし、露出をややオーバー気味にして、優しい光に包まれた浮遊感を表現した画像になります。
ライトトーン	シャドウ部もハイライト部も柔らかく描写し、上質で落ち着いた画像になります。
ラフモノクロームⅠ／Ⅱ	モノクロならではの力強さ、荒々しさを表現した画像になります。
トイフォトⅠ／Ⅱ／Ⅲ	画面周辺部を暗くして、古いカメラやトイカメラを使って撮ったときのような画像になります。
ジオラマⅠ／Ⅱ	彩度やコントラストを強調し、ピントを合わせた位置以外ををぼかし、ミニチュアのような雰囲気の写真になります。
クロスプロセスⅠ／Ⅱ	不安定で非現実的な雰囲気を表現した画像になります。
ジェントルセピア	全体的に柔らかい描写で、落ち着いた雰囲気の中にもシャドウ部が引き締まった、しっとりとした上品な画像になります。
ドラマチックトーンⅠ／Ⅱ	部分的にコントラストを強くし、明暗差を強調した画像になります。
リーニユクレールⅠ／Ⅱ	エッジラインを強調し、イラストテイストを付加した画像になります。
ウォーターカラーⅠ／Ⅱ	暗部を大胆に削除し、白いキャンパスに淡く明るい色彩をなじませ、さらに柔らかい輪郭線を載せて、ほんわりとした明るい雰囲気の画像になります。
ヴィンテージⅠ／Ⅱ／Ⅲ	フィルムプリントの変色や退色など、日常のひとコマをノスタルジックなヴィンテージ調に表現します。
パートカラーⅠ／Ⅱ／Ⅲ	強調したい色を抽出し、それ以外はモノトーンに抑えることで、被写体を印象的に表現します。
ブリーチバイパスⅠ／Ⅱ	映画撮影などで用いられた「銀残し（ブリーチバイパス）」の効果を加えることで、街並みなどの情景や金属の質感をより印象的に表現します。

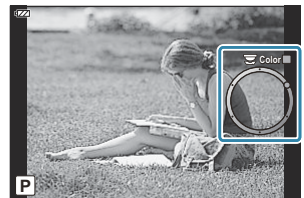
Ⅱ、Ⅲは、オリジナル（Ⅰ）に対して変化をつけたものです。

- ピクチャーモードを [ART] に設定すると [色空間] は、[sRGB] に固定されます。🔍 [カスタムメニュー E](#) [色空間] (P.146)

[パートカラー] で撮影する

特定の色のみを残した画像にできます。

1. OK ボタンを押して、△▽ でピクチャーモードを選択します。
2. <▷> で [パートカラーⅠ / Ⅱ / Ⅲ] を選択します。
3. INFO ボタンを押します。
 - 画面にカラーリングが表示されます。
4. <▷> またはコントロールダイヤルで色を選択します。
 - 画面で効果を確認できます。
5. 撮影します。



感度を変更する (ISO 感度)

被写体の明るさに応じて設定します。数値を大きくすると暗い環境での撮影が可能になりますが、画像のノイズ (ざらつき) が多くなります。

1. **OK** ボタンを押して、 Δ ∇ で ISO 感度を選択します。



2. \triangleleft \triangleright で項目を選択し、**OK** ボタンを押します。

AUTO	撮影状況に応じて自動的に感度が変わります。 カスタムメニューの [ISO オート設定] (P.144) で ISO 感度の上限などを設定できます。
100~ 12800	ISO 感度を選択できます。

画像の色合いを調整する（ホワイトバランス）

ホワイトバランス（WB）は白いものを白く写すための機能です。通常は【WB AUTO】（オート）で問題ありませんが、適切な白にならない場合や、逆に色合いを出したい場合は光源に合わせて、【WB AUTO】以外のホワイトバランスを手動で設定します。

1. **OK** ボタンを押して、 Δ ∇ でホワイトバランスを選択します。



2. \triangleleft \triangleright で項目を選択し、**OK** ボタンを押します。

WB モード		設定される色温度	適した撮影シーン
WB AUTO	オートホワイトバランス	—	一般的なほとんどの撮影シーン（画面内に白に近い色が存在する撮影シーン）。 • 通常はこのモードをお使いください。

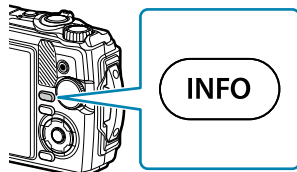
WB モード		設定される色温度	適した撮影シーン
	プリセットホワイトバランス	5300K	晴天の日に屋外で撮るとき、夕焼けを赤く撮るとき、花火を撮るとき
		7500K	晴天の日に屋外の日陰で撮るとき
		6000K	曇天の日に屋外で撮るとき
		3000K	電球に照らされている被写体を撮るとき
		4000K	蛍光灯に照らされている被写体を撮るとき
		—	水深約 3m までの浅瀬で撮るとき
		—	水深約 3m～15m で撮るとき
		—	水深 15m 以深で撮るとき • 15m 以深では防水プロテクターをお使いください。
			5500K
	ワンタッチホワイトバランス	ワンタッチホワイトバランスで設定した色温度	白に合わせたいものが特定できているとき • 実際の撮影環境下で白に合わせたいものの色温度を測って設定します (P.74)。
	カスタムホワイトバランス	2000K～14000K	色温度での特定ができるとき • INFO ボタンを押した後、△▽◀▶ で色温度を選択し、OK ボタンを押します。

 WB 1 / WB 2 / WB 3 の水深は目安です。海の天候や状況などにより異なります。

ワンタッチホワイトバランスの設定

撮影する光源下で白い紙などにカメラを向けて、ホワイトバランスを測定します。自然光だけでなく、複数の異なる色温度の光源に照らされた撮影に有効です。

1. [W1]、[W2]、[W3] または [W4]（ワンタッチホワイトバランス 1、2、3 または 4）を選択した後、**INFO** ボタンを押します。



- ワンタッチホワイトバランス画面が表示されます。

2. 白かグレーのように無彩色の紙を撮影します。

- 紙が画面いっぱいに写るようにカメラを構えます。影の部分ができないようにしてください。

3. [実行] を選択し、**OK** ボタンを押します。

- ホワイトバランスがプリセットホワイトバランスの1つとしてカメラに登録されます。
- 新しいワンタッチホワイトバランスを撮影するまで、カメラに記憶されます。電源を切っても消去されません。

ピントの合わせ方を設定する（AF方式）



ピント合わせの方法（フォーカスモード）を選択します。

- 静止画撮影モードとムービーモードで別々に設定できます。

1. **OK** ボタンを押して、**△▽** で AF 方式を選択します。



2. **<>** で項目を選択し、**OK** ボタンを押します。

AF	オートフォーカス	シャッターボタンを半押しするとカメラが自動でピントを合わせます。撮影メニューでピントを合わせる範囲を選べます。 <ul style="list-style-type: none">• ムービー撮影中は、カメラが常に自動でピントを合わせます。
MF	マニュアルフォーカス	△▽ またはコントロールダイヤルで被写体の任意の位置に手動でピントを合わせることができます。撮影待機時に OK ボタンを長押しすると、MF 操作が可能になります。
	スーパーマク □ AF	被写体に接近して AF 操作が可能になります。
	スーパーマク □ MF	被写体に接近して MF 操作が可能になります。

👁️ 明るさが不足している、霧などで被写体が見えにくいなど、被写体のコントラストが弱い場合はピントが合わないことがあります。

👁️ **[AF]** と **[MF]** は **P/A/☞** モードでのみ設定できます。

アスペクト比を設定する

撮影の意図やプリントなどの出力時の狙いに合わせて、画像の縦横比を設定します。通常のアスペクト比（横×縦）である [4:3] の他に [16:9]、[3:2]、[1:1]、[3:4] が設定できます。

1. **OK** ボタンを押して、 Δ ∇ でアスペクト比設定を選択します。



2. \triangleleft \triangleright で設定値を選択し、**OK** ボタンを押します。

✪ アスペクト比は、静止画撮影時のみ設定できます。

✪ JPEG 形式の画像は、アスペクト比に応じてトリミングされて保存されますが、RAW 画像はトリミングされずに、撮影時のアスペクト比情報が付加された状態で記録されます。

✪ RAW 画像再生時は、アスペクト比に応じた枠が表示されます。

静止画撮影で記録する画像サイズを選択する(カメラ画質モード)

静止画の画質モードを設定します。パソコンでの加工やホームページでの使用など用途に応じて選択できます。

1. OK ボタンを押して、 Δ ∇ で  画質モードを選択します。



2. <> で項目を選択し、OK ボタンを押します。

- 選択可能な画質モードは JPEG (L/SF/LF/LN/M/N) と RAW です。JPEG+RAW の場合、JPEG と RAW の 2 種類の画像を同時に記録します。JPEG は画像サイズ (L/M1/M2/S) と圧縮率 (SF/F/N) の組み合わせからできています。

設定項目	ピクセルサイズ	圧縮率	ファイル形式
L/SF	4000×3000	SuperFine (1/2.7)	JPG
L/F	4000×3000	Fine (1/4)	JPG
L/N	4000×3000	Normal (1/8)	JPG
M1/N	3200×2400	Normal (1/8)	JPG
RAW	4000×3000	ロスレス圧縮	ORF
RAW+JPEG	RAW と上記の JPEG の組み合わせ		

- ①画質モードが RAW の場合、次のモードでは JPEG+RAW になります。
- [水中 HDR] [深度合成] [eポートレート] [手持ち夜景] [HDR 逆光補正]
- ①JPEG+RAW で撮影した画像の JPEG だけ、または RAW だけを消去することはできません。消去すると両ファイルともに消去されます (パソコンで JPEG を消去して RAW だけをカメラに戻した場合、RAW 編集 (P.99) はできますがプリント予約 (P.110) はできません)。
- ①画像サイズと圧縮率の組み合わせはメニューで変更することができます。カスタムメニュー E [画質設定] (P.146)

RAW 画像とは、露出補正やホワイトバランスなどの撮影の設定が反映されていない未加工の状態のデータです。撮影後にあらためて絵作りをするための元データとして使います。

- 拡張子「.ORF」で記録されます。
- 他のカメラでの再生はできません。
- パソコンでの閲覧は画像編集・管理ソフトウェア OM Workspace をお使いください。
- このカメラの編集機能 [RAW 編集] (P.99) を使って、JPEG のデータにすることができます。

ムービーの画質を設定する (画質モード)

用途に応じてムービーの画質モードを設定します。

1. **OK** ボタンを押して、 Δ ∇ で 画質モードを選択します。



2. \triangleleft \triangleright で設定値を選択し、**OK** ボタンを押します。

- ムービーの画質モードは、「画像サイズ」、「ビットレート (圧縮率)」、「フレームレート」の組み合わせで構成されています。

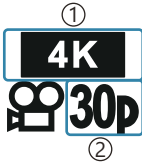
選択できる画質の種類

選択できるムービーの画質は、動画メニュー (P.131) の [動画フレームレート] と [動画ビットレート] の設定によって異なります。

- テレビでムービーを再生する場合、テレビとムービーのフレームレートが合っていないとなめらかに再生されません。ムービーを撮影する前に、各国/地域のテレビ映像信号に合わせてフレームレートを設定してください。
 - NTSC 地域 : 60p (30p)
 - PAL 地域 : 50p (25p)
- MPEG-4 AVC/H.264 形式で保存されます。1 ファイルは 4GB に制限されます。1 回の撮影は最長 29 分に制限されます。
- 使用するカードによっては、最長時間まで記録されずに途中で撮影が終了する場合があります。
- 選択する画質モードによって使用できるピクチャーモードが異なります。
- 4K、ハイスピードで撮影するときは、UHS-I の UHS スピードクラス 3 のカードをご使用ください。
- FHD/HD で撮影するときは、スピードクラス 10 以上のカードをご使用ください。
- 4K ムービーは、パソコンの環境によって再生できない場合があります。再生条件については当社ホームページをご確認ください。

画質モード：4K

4K サイズのムービー撮影ができます。



- ① 画像サイズ
4K : 3840×2160
- ② フレームレート
30p
25p

画質モード：FHD/HD

通常のムービー撮影です。



- ① 画像サイズ
FHD : 1920×1080
HD : 1280×720
- ② ビットレート (圧縮率)
SF (Super Fine)
F (Fine)
N (Normal)
- ③ フレームレート
60p (30p)
50p (25p)

画質モード：HS (ハイスピード)

スローモーションのムービーを撮影することができます。早いフレームレートで記録し、30fps 相当のムービーとして保存します。



- ① 画像サイズ
FHD : 1920×1080 120fps
HD : 1280×720 240fps
SD : 640×360 480fps
- ② フレームレート

📷 最大で 20 秒間撮影が可能です。

- 🔊 ムービー記録中、AF/AE は固定されます。
- 🔊 音声は記録されません。
- 🔊 **AUTO/SCN** モードでは設定できません。

手ぶれを抑えて撮影する（手ぶれ補正）

被写体が暗い場面や、高倍率撮影などで起きやすい手ぶれを抑えることができます。
シャッターボタンの半押しから手ぶれ補正が働きます。

1. **OK** ボタンを押して、 Δ ∇ で手ぶれ補正を選択します。



2. \triangleleft \triangleright で項目を選択し、**OK** ボタンを押します。

静止画

S-IS Off	手ぶれを補正しません。
S-IS On	最適な手ぶれ補正をします。

ムービー

M-IS Off	手ぶれを補正しません。
M-IS On	手ぶれ補正をします。

※ **[M-IS On]** のときは画面の端が切り取られるため、撮影できる範囲が少し狭くなります。

※ ムービーの画質モードが $\left[\frac{FHD}{120fps} \right]$ / $\left[\frac{HD}{240fps} \right]$ / $\left[\frac{SD}{480fps} \right]$ の場合は **[M-IS Off]** になります。

※ 三脚使用時は手ぶれ補正を **[S-IS Off]** / **[M-IS Off]** に設定してください。

① 手ぶれが大きすぎるときやシャッター速度が極端に遅い場合、手ぶれを補正しきれないことがあります。このときは三脚を使用して撮影してください。

① 手ぶれ補正が作動していると、作動音や振動を感じる場合があります。

フラッシュの発光量を調節する（フラッシュ発光量補正）

フラッシュの光で被写体が白く飛んでしまったり、全体的にはちょうどよい明るさなのに被写体だけが暗い写真になってしまうときにフラッシュの発光量を調整します。

1. **OK** ボタンを押して、**△▽** でフラッシュ補正を選択します。



2. **<▷** で補正値を設定し、**OK** ボタンを押します。
 - -の数値が大きいほど暗く、+の数値が大きいほど明るく補正します。

⚠ **Auto** モード、🐟 モードの [**水中 HDR**]、**SCN** モードでは無効です。

自動的に人物の顔を検出する（顔優先）

カメラが自動的に人物の顔を検出して、ピント合わせやデジタル ESP 測光の調整を行います。

1. **OK** ボタンを押して、**△▽** で顔優先を選択します。



2. **<▷** で設定を選択し、**OK** ボタンを押します。

ON	顔優先 On	被写体の顔を検出してピントを合わせます。
OFF	顔優先 Off	顔優先 AF を行いません。





別売アクセサリーを使う（アクセサリー）

カメラに別売アクセサリーを取り付ける場合に設定します。

1. **OK** ボタンを押して、**△▽** でアクセサリーを選択します。



2. **<>** で設定を選択し、**OK** ボタンを押します。

OFF	アクセサリー Off	カメラ本体だけで撮影します。
	PTWC-01	別売の専用アクセサリーに合わせて設定します。
	TCON-T01	
	FCON-T01	
	FCON-T02	
FD-1	FD-1	

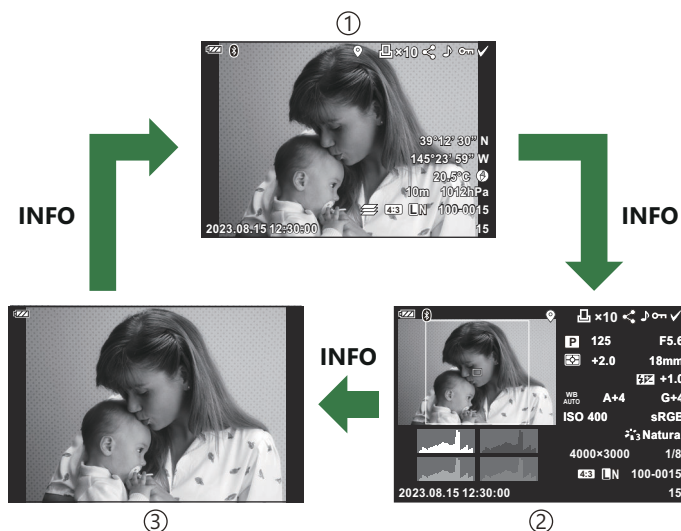
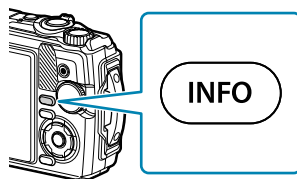
 「別売アクセサリーについて」(P.236)

- ① 電池残量 (P.27)
- ② Bluetooth® 接続中 (P.173)
- ③ リモコン (P.185)
- ④ GPS 位置情報有り (P.201)
- ⑤ プリント予約
プリント枚数 (P.110)
- ⑥ シェア予約 (P.104)
- ⑦ 録音 (P.106)
- ⑧ プロテクト (保護) (P.105)
- ⑨ 画像選択 (P.94)
- ⑩ 緯度 (P.204)
- ⑪ 経度 (P.204)
- ⑫ 方位表示 (P.204)
- ⑬ 気圧 (P.204)
- ⑭ ファイル番号
🔍 **☆** カスタムメニュー **F** [ファイルネーム] (P.148)
- ⑮ コマ番号
- ⑯ 画質モード (P.77、P.79)
- ⑰ アスペクト比 (P.76)
- ⑱ 深度合成 (P.48)
- ⑲ HDR 画像 (P.43、P.49)
- ⑳ 標高/水深 (P.204)
- ㉑ 温度 (水温) (P.204)
- ㉒ 日時 (P.28)
- ㉓ アスペクト枠¹ (P.76)
- ㉔ AF ターゲット表示 (P.122)
- ㉕ 撮影モード (P.35)
- ㉖ シャッター速度 (P.39、P.41)
- ㉗ 露出補正 (P.56)
- ㉘ 絞り値 (P.39、P.41)
- ㉙ 焦点距離
- ㉚ フラッシュ補正 (P.82)
- ㉛ ホワイトバランス補正值 (P.146)
- ㉜ 色空間 (P.146)
- ㉝ ピクチャーモード (P.68)
- ㉞ 圧縮率 (P.77、P.158)
- ㉟ ピクセルサイズ (P.77、P.158)
- ㊱ ISO 感度 (P.71)
- ㊲ ホワイトバランス (P.72)
- ㊳ 測光方式 (P.83)
- ㊴ ヒストグラム

1 画質モードを RAW に設定してアスペクト比を 4:3 以外に設定した場合のみ表示されます。

情報表示を切り換える

INFO ボタンを押すたびに再生時の情報表示の切り換えができます。




- ①簡易表示
- ②総合表示
- ③表示 Off

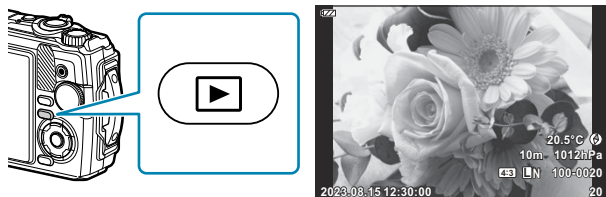
再生時の情報表示に、ヒストグラム表示、ハイライト&シャドウ表示を追加できます。  カスタムメニュー B  /Info 表示設定 の  Info (P.153)

撮った画像／ムービーを見る


静止画を見る

1. ボタンを押します。

- 最後に撮影した画像が表示されます。
- コントロールダイヤルや十字ボタンで画像が切り換わります。
- シャッターボタン半押しまたは  ボタンを押すと撮影モードに戻ります。



静止画

コントロールダイヤル	<ul style="list-style-type: none">• 1コマ再生：コマ戻し (◀) / コマ送り (▶)• クローズアップ再生：クローズアップしたままコマ送り、コマ戻しができません (P.92)。• インデックス再生／カレンダー再生：画像の選択 (P.91)
十字ボタン (△▽◀▶)	<ul style="list-style-type: none">• 1コマ再生：コマ送り (▶) / コマ戻し (◀)• クローズアップ再生：クローズアップ位置の変更 (P.92) INFO ボタンを押すとクローズアップしたままコマ送り (▶) 戻し (◀) ができます。• インデックス再生／カレンダー再生：画像の選択 (P.91)
ズームレバー	反時計回りに回すとインデックス再生／カレンダー再生します (P.91)。 時計回りに回すとクローズアップ再生します (P.92)。
INFO ボタン	画像情報の表示 (P.88)
⏪ ボタン (▽)	画像の消去 (P.95)
OK ボタン	メニューの表示 (クローズアップ再生中／カレンダー再生中に押すと1コマ再生に戻ります。)  「画像再生中の機能を使う」 (P.96)

◎ ボタン (☑)

複数の画像を選択し、一括して【プロテクト】・【選択コマ消去】・【選択コマシェア予約】をすることができます。☞ 「複数の画像を一括で処理する (選択コマシェア予約・プロテクト・選択コマ消去)」 (P.94)

ムービーを見る

1. ボタンを押します。

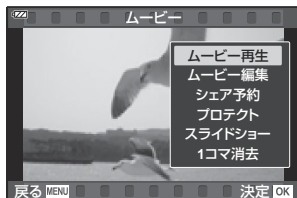
- 最後に撮影した画像が表示されます。










ムービー

2. ムービーを選んで **OK** ボタンを押します。

- 再生ダイレクトメニューが表示されます。

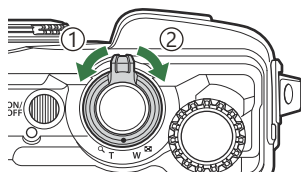


3. 【**ムービー再生**】を選択し、**OK** ボタンを押します。

- ムービー再生が始まります。
-  /  で早送り、早戻しします。
- **OK** ボタンを再度押すと一時停止します。一時停止中は、 ボタンで先頭のフレーム、 ボタンで最後のフレームを表示します。 ボタンまたはコントロールダイヤルでコマ戻し/コマ送りします。
- **MENU** ボタンを押すと再生を終了します。
- 再生中に   を押すと音量調節ができます。

画像をすばやく探す（インデックス再生／カレンダー再生）

1コマ再生でズームレバーを反時計回り（☒側）に回すとインデックス再生します。最後にカレンダー再生に変わります。



① 反時計回り（☒側）

② 時計回り（Q側）

- △▽◀▶ またはコントロールダイヤルでカーソルを移動させます。
- ズームレバーを時計回り（Q側）に回すと、カレンダー再生、インデックス再生、1コマ再生の順に再生画面が戻ります。
- カレンダー再生時に **OK** ボタンを押すと1コマ再生に戻ります。

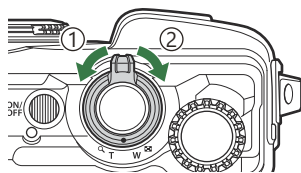


- ① 1コマ再生
- ② インデックス再生
- ③ カレンダー再生

🔍 インデックス再生のコマ数を変更できます。🔍 **【☒表示】** (P.155)

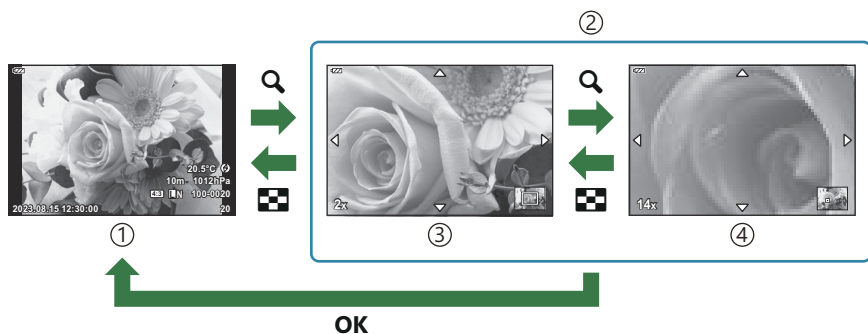
画像を拡大して見る（クローズアップ再生）

1 コマ再生でズームレバーを時計回り（Q側）に回すと拡大表示され、反時計回り（☒側）に回すと縮小表示されます。OK ボタンを押すと1コマ再生に戻ります。



① 反時計回り（☒側）

② 時計回り（Q側）



① 1コマ再生

② クローズアップ再生

③ 2倍拡大

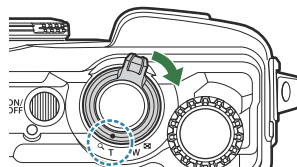
④ 14倍拡大

- $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ を押すと、押したボタンの方向にスクロールします。
- 拡大表示中に **INFO** ボタンを押してから $\triangleleft \triangleright$ を押すと、表示中の拡大倍率を固定したまま画像を選択できます。再度 **INFO** ボタンを押すと、画面をスクロールできる状態に戻ります。コントロールダイヤルを回しても画像の選択ができます。

パノラマ画像をスクロール再生する

複数の画像をつなぎ合わせたパノラマ画像をスクロール再生することができます。

1. 1コマ再生でパノラマ画像を選択します。
2. ズームレバーを時計回り（Q側）に回します。

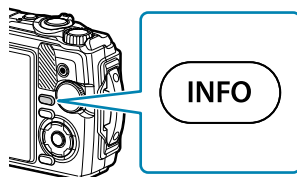


- △▽◀▶ を押すと、押したボタンの方向にスクロールします。




① 再生中の範囲

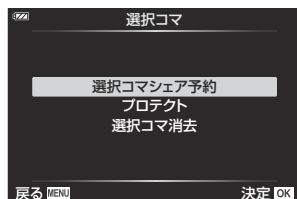
- パノラマ画像のスクロール再生中、さらにズームレバーを時計回りに回すと2倍から最大14倍まで拡大表示され、反時計回りに回すと縮小表示されます。**OK** ボタンを押すと1コマ再生に戻ります。
- 2倍以上の拡大表示中に **INFO** ボタンを押してから ◀▶ を押すと、表示中の拡大倍率を固定したまま画像を選択できます。再度 **INFO** ボタンを押すと、画面をスクロールできる状態に戻ります。コントロールダイヤルを回しても画像の選択ができます。



複数の画像を一括で処理する（選択コマシェア予約・プロテクト・選択コマ消去）

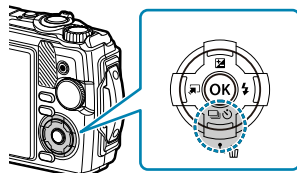
複数の画像を選択し、一括して【選択コマシェア予約】・【プロテクト】・【選択コマ消去】をすることができます。

1. 選択する画像を再生し、（) ボタンを押します。
 - 画像が選択され、が表示されます。
もう一度押すと解除されます。
 - 1コマ再生/インデックス再生のどちらでも選択可能です。
2. **OK** ボタンを押してメニューを表示し、【選択コマシェア予約】・【プロテクト】・【選択コマ消去】から選択します。



画像を消去する（1コマ消去）

1. 消去したい画像を再生し、 ボタン（▽）を押します。



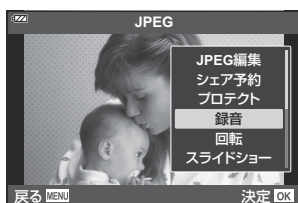
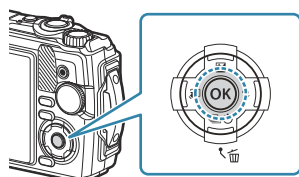
2. **【実行】** を選択し、**OK** ボタンを押します。



- 画像が消去されます。

画像再生中の機能を使う

画像の再生中に **OK** ボタンを押すと再生ダイレクトメニューが表示されます。使いたい機能を選択し、**OK** ボタンを押して決定します。



- ♪ 再生 (P.98)
- RAW 編集 (P.99)
- JPEG 編集 (P.100)
- ムービー再生 (P.90)
- ムービー編集 (P.102)
- シェア予約 (P.104)
- プロテクト (P.105)
- 録音 (P.106)
- 回転 (P.107)
- スライドショー (P.108)
- 画像合成 (P.109)
- プリント予約 (P.110)
- 1コマ消去 (P.113)

選択中の画像の種類によって表示される機能が異なります。

	RAW	JPEG	RAW+JPEG	ムービー
♪ 再生	○	○	○	×
RAW 編集	○	×	○	×
JPEG 編集	×	○	○	×
ムービー再生	×	×	×	○
ムービー編集	×	×	×	○
シェア予約	○	○	○	○
プロテクト	○	○	○	○
録音	○	○	○	×
回転	○	○	○	×
スライドショー	○	○	○	○

	RAW	JPEG	RAW+JPEG	ムービー
画像合成	○	×	○	×
プリント予約	×	○	○	×
1コマ消去	○	○	○	○

録音した音声と静止画と同時に再生する (♪再生)

録音した音声 (P.106、P.130) と静止画を同時に再生します。

1. 音声録音した静止画を選択し、**OK** ボタンを押します。

2. [♪再生] を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 録音音声の再生が始まります。

- **OK** ボタンまたは **MENU** ボタンを押すと再生を終了します。
- 録音音声の再生中に **△▽** を押すと音量調節ができます。

撮影した画像を加工する（RAW 編集/JPEG 編集）

撮影した画像を編集して別の画像として保存します。RAW 画像は、ホワイトバランスや、アートフィルターを含むピクチャーモードなどの撮影時に使うような処理を加えることができます。JPEG 画像は、トリミングやリサイズなどの簡単な加工ができます。

RAW 編集	編集をして JPEG 画像を作ります（P.99）。編集は次の方法でできます。 【 現設定 】：現在のカメラの設定を反映した処理をします。 【 ART BKT 】：アートフィルターの処理をした JPEG 画像を作ります。複数のアートフィルターを選択して同時に複数の画像を作れます。
JPEG 編集	JPEG 画像をもとに加工をして、新たに JPEG 画像を作ります（P.100）。

RAW 画像を編集する（RAW 編集）

- 再生画面で編集する静止画を表示し、**OK** ボタンを押します。
- [RAW 編集]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - 編集方法のメニューが表示されます。

① 選択した画像が RAW 画像でない場合、**[RAW 編集]** は表示されません。別の画像を選択してください。
- △▽** ボタンで編集方法を選択します。
 - [現設定]** を選んだときは **OK** ボタンを押します。画像に現在のカメラの設定が反映されます。
 - △▽** で **[実行]** を選択して **OK** ボタンを押すと、現像が施された画像が記録されます。
 - [ART BKT]** を選んだときは、**▷** を押すと、画像にかけるアートフィルターを選択するメニューが表示されます。使用するアートフィルターを選択し、**OK** ボタンを押して **✓** を付けます。設定を終えたら **MENU** ボタンで前の画面に戻ります。
 - OK** ボタンを押すと選択したアートフィルター処理が施された画像が記録されます。
- 同じ元画像で再度編集するときは、**[再設定]** を選択して **OK** ボタンを押します。現像を終了するときは、**[中止]** を選択して **OK** ボタンを押します。

- **[再設定]** を選択したときは、画面に編集方法のメニューが表示されます。手順 3 から繰り返します。

① 次の場合は RAW 編集できません。

- カードの空き容量が不足している場合 / 他のカメラで撮影した画像

JPEG 画像を加工する (JPEG 編集)

[JPEG 編集] では次の内容が編集できます。

階調オート	逆光時に暗く写った被写体を明るくします。
赤目補正	フラッシュ撮影で目が赤く写った部分を軽減させます。
トリミング	画像をトリミングします。コントロールダイヤルでトリミングサイズ、 $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ でトリミング位置を指定します。
アスペクト	アスペクト比が 4:3 (基準) の画像を、 [3:2] 、 [16:9] 、 [1:1] 、または [3:4] に変更します。アスペクト比選択後、 $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ でトリミング位置を指定します。
モノクロ作成	白黒に変換します。
セピア作成	セピア色に変換します。
鮮やかさ調整	画像の色をより鮮やかにします。画面で確認しながら鮮やかさを調整します。
リサイズ	画像サイズを 1280×960、640×480、または 320×240 に変換します。アスペクト比が 4:3 (基準) 以外の画像は、近い大きさの画像サイズに変換されます。
e ポートレート	なめらかな肌に補正します。顔が検出できないなど、画像によっては補正できない場合があります。

① 画像によっては赤目補正できないことがあります。

① 次の場合は JPEG 編集できません。

- パソコンで編集した画像 / カードの空き容量が不足している場合 / 他のカメラで撮影した画像

① **[リサイズ]** では、撮影時の画像サイズより大きなサイズには設定できません。

① 画像によっては **[リサイズ]** を使用できないことがあります。

① **[トリミング]** / **[アスペクト]** は、アスペクト比が 4:3 (基準) の画像のみ編集できます。

1. 再生画面で編集する静止画を表示し、**OK** ボタンを押します。

2. **[JPEG 編集]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - 編集方法のメニューが表示されます。

① 選択した画像が JPEG 画像でない場合、**[JPEG 編集]** は選択できません。別の画像を選択してください。

3. $\Delta \nabla$ で項目を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - 設定が画像に反映されて確認できます。メニューが表示される項目では、 $\Delta \nabla$ で設定を選択します。
 - **[トリミング]** を選択したときは、コントロールダイヤルでサイズを設定、 $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ でトリミング位置を設定できます。
 - **[アスペクト]** を選択したときは、 $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ で位置を設定できます。

4. **[実行]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - 編集された画像がカードに記録されます。

ムービーを編集する（ムービー編集）

ムービーを編集できます。

ムービーから静止画を切り出す（静止画切り出し）

撮影時のアスペクト比が【16:9】で画質モードが4Kの本機で撮影したムービーからコマを選択し、静止画として保存できます。

1. 再生画面で編集するムービーを表示し、**OK** ボタンを押します。
2. 【**ムービー編集**】を選択し、**OK** ボタンを押します。
3. $\Delta \nabla$ で【**静止画切り出し**】を選択し、**OK** ボタンを押します。
4. $\triangleleft \triangleright$ で静止画として保存するコマを表示し、**OK** ボタンを押します。
 - $\Delta \nabla$ でジャンプ操作が可能です。
 - **MENU** ボタンを押すと1コマ再生に戻ります。

① 保存した画像の撮影日時は、実際に撮影した日時と異なる場合があります。

ムービーをトリミングする（トリミング）

本機で撮影したムービーをトリミングし、上書きして保存、または別のムービーとして新規に保存できます。

1. 再生画面で編集するムービーを表示し、**OK** ボタンを押します。
2. 【**ムービー編集**】を選択し、**OK** ボタンを押します。
3. $\Delta \nabla$ で【**トリミング**】を選択し、**OK** ボタンを押します。

4. **[上書き保存]** または **[新規作成]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - 画像がプロテクトされている場合は、**[上書き保存]** は選択できません。

5. **<>** で先頭のフレームまたは最後のフレームのどちらから削除するかを選択し、**OK** ボタンを押します。
 - コントロールダイヤルを回すと、先頭のコマまたは最後尾のコマを表示します。

6. **<>** で削除する範囲を指定します。
 - 赤く表示された部分が削除されます。

7. **OK** ボタンを押します。

8. **[実行]** を選択し、**OK** ボタンを押します。

① 保存した画像の撮影日時は、実際に撮影した日時と異なる場合があります。

画像の転送予約をする（シェア予約）

スマートフォンに転送したい画像をあらかじめ選択しておくことができます。

1. 転送したい画像を再生し、**OK** ボタンを押します。
 - 再生メニューが表示されます。
2. **［シェア予約］** を選び **OK** ボタンを押した後、**△** または **▽** を押します。
 - 画像にシェア予約がつき、**←** とファイルの種類が表示されます。
 - シェア予約できるコマは 200 コマです。
 - シェア予約を解除するには **△** または **▽** を押します。

⚠ RAW 画像はシェア予約はできません。

👉 あらかじめ転送したい画像を選んで、一括してシェア予約をつけることもできます。👉 「複数の画像を一括で処理する（選択コマシェア予約・プロテクト・選択コマ消去）」(P.94)、「スマートフォンに画像を転送する」(P.176)

画像を保護する（プロテクト）

画像を誤って消さないように保護します。

1. 保護したい画像を再生し、**OK** ボタンを押します。
2. **[プロテクト]** を選択して **OK** ボタンを押したあと、**△** または **▽** を押します。

- 画像に **🔒**（プロテクトマーク）が表示されます。



- プロテクトを解除するには **△** または **▽** を押します。

👉 あらかじめプロテクトしたい画像を選んで、一括してプロテクトすることもできます。👉 **「複数の画像を一括で処理する（選択コマシェア予約・プロテクト・選択コマ消去）」** (P94)

🕒 カードを初期化した場合は、プロテクトされている画像も消去されます。

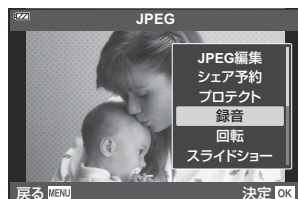
記録した画像に音声をつける（録音）

カメラのステレオマイクを使って、カードに記録した画像にあとから音声を加えます。簡単なメモ代わりに使えます。最長 30 秒の録音ができます。

1. 音声を録音する画像を表示し、**OK** ボタンを押します。

- プロテクトされた画像には録音できません。

2. **【録音】** を選択し、**OK** ボタンを押します。



- 録音を中止する場合は、**【中止】** を選択してください。

3. **【録音スタート】** を選択し、**OK** ボタンを押すと、録音を開始します。



4. **OK** ボタンを押して、録音を終了します。

- 音声を録音した画像には ♪ が表示されます。
- 録音した音声を消去する場合は、手順 3 で **【消去】** を選択してください。


♪ 音声録音は ▶ 再生メニュー（P.132）の **【編集】** から設定できます。**【編集】** の **【画像選択】** で音声を録音する画像を選択して **OK** ボタンを押し、**【録音】** を選択します。

♪ 録音した音声は **【♪再生】**（P.98）で再生できます。

画像を回転する（回転）

撮影した画像を回転させることができます。

1. 回転させたい画像を再生し、**OK** ボタンを押します。
2. **【回転】** を選択し、**OK** ボタンを押します。
3. **△** ボタン（反時計回り）、**▽** ボタン（時計回り）を押すたびに画像が回転します。
 - **OK** ボタンを押して、設定を終了します。
 - 回転表示した画像はその状態でカードに記録されます。
 - ムービーやプロテクトされている画像は回転できません。

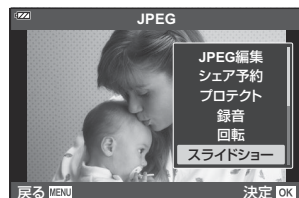
📷 カメラを縦位置で撮影した画像を、再生時に自動的に回転して表示することができます。🔍 
再生メニュー **【回転再生】** (P.133)

⚠️ **【回転再生】** が **【Off】** のときは、**【回転】** は選択できません。

画像を自動的に再生する（スライドショー）

カードに記録された画像を自動的に連続して再生します。

1. 再生画面で **OK** ボタンを押します。
2. **【スライドショー】** を選択し、**OK** ボタンを押します。



3. スライドショーの設定をします。

スタート	スライドショーを開始します。表示している画像から、順に再生されません。
BGM	【On】 、または 【Off】 を設定します。
スライド	再生する画像の種類を設定します。
1コマ再生時間	次の画像に切り換わる間隔を 2～10 秒の間で設定します。
ムービー再生	ムービーを再生するときに、ムービー全編を再生する 【フル】 か、途中までの部分を再生する 【ショート】 を設定します。

4. **【スタート】** を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - スライドショーが始まります。
 - スライドショーの再生中に Δ ∇ を押すと、全体の音量が調節できます（カメラのスピーカーでの再生時のみ）。音量調節表示中に \triangleleft \triangleright を押すと、画像やムービーに録音した音量とBGMのバランスを調節できます。
 - **OK** ボタンを押すとスライドショーが停止します。

画像を合成する（画像合成）

記録されている RAW 画像を重ねて合成して別の画像として保存します。2 コマまたは 3 コマの合成ができます。

合成するそれぞれの画像の明るさ（ゲイン）を調整して、見え方を変えることができます。

1. 再生画面で画像を表示し、**OK** ボタンを押します。
2. **[画像合成]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
3. 合成するコマ数を選択し、**OK** ボタンを押します。
4. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで合成する RAW 画像を選択し、**OK** ボタンを押します。

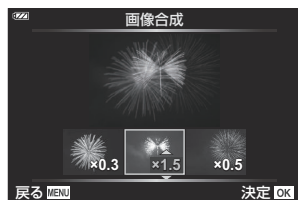
- 選択したコマに \checkmark が表示されます。 \checkmark を外すときは再度 **OK** ボタンを押します。



- 手順 3 で選択したコマ数を選択すると、画像合成画面が表示されます。

5. 合成する各画像のゲインを選択します。

- $\triangleleft \triangleright$ ボタンで画像を選択し、 $\Delta \nabla$ ボタンで数値を変更します。
- ゲインは 0.1~2.0 まで選択できます。表示画像を見ながらゲインを調節してください。



6. **OK** ボタンを押すと、確認画面が表示されます。

- **[実行]** を選択し、**OK** ボタンを押します。

🔗 保存時の画質モードで保存されます（**[RAW]** の場合は **[F+RAW]** で保存されます）。

🔗 合成画像を RAW 形式で保存すると、さらに他の RAW 画像と合成することができ、4 コマ以上の画像合成が可能になります。

プリント予約 (DPOF)

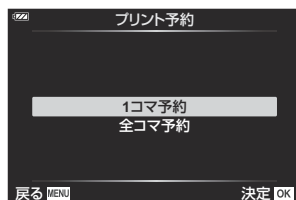
プリントしたい画像にあらかじめ枚数や日時の印刷などの条件を指定しておくことができます。プリント予約した画像は、DPOF 対応のプリントショップでプリントできます。プリント予約の情報 (DPOF) はカードに記録されます。

プリント予約する

1. 画像を再生中に、**OK** ボタンを押して [**プリント予約**] を選択します。
2. [**1コマ予約**] または [**全コマ予約**] を選択し、**OK** ボタンを押します。

1コマ予約の場合

◀▶ ボタンを押してプリント予約したいコマを選択し、△▽ ボタンを押してプリントする枚数を設定します。

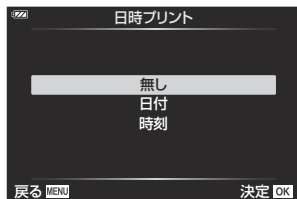


- 複数の画像をプリント予約する場合は、この手順を繰り返します。予約が終わったら **OK** ボタンを押します。

全コマ予約の場合

[**全コマ予約**] を選択し、**OK** ボタンを押します。

3. 日時の種類を選択し、**OK** ボタンを押します。



無し	画像のみプリントされます。
日付	画像と撮影年月日がプリントされます。
時刻	画像と撮影時刻がプリントされます。

① 複数の画像をプリントする場合、1 コマごとに設定を変えることはできません。

4. **【予約する】** を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 再生中のカードに保存されている画像に、設定が反映されます。

① 他の機器で予約した内容を、このカメラで変更することはできません。また、このカメラで新たに予約を行うと、他の機器で予約した内容は消去されます。

② RAW データおよびムービーはプリント予約できません。

プリント予約を選択して解除する／すべて解除する

すべてのプリント予約を解除する方法と、選択した画像のプリント予約だけを解除する方法があります。

1. 画像を再生中に、**OK** ボタンを押して **【プリント予約】** を選択します。

2. **【1コマ予約】** を選択し、**OK** ボタンを押します。

- すべてのプリント予約を解除する場合は、**【解除する】** を選択し、**OK** ボタンを押します。そうでない場合は **【解除しない】** を選択し、**OK** ボタンを押します。
- 全てのプリント予約を解除するときは、**【全コマ予約】** を選択して **【解除する】** を実行することもできます。

3. **<▷** ボタンを押してプリント予約を解除したいコマを選択します。

- **▽** ボタンでプリント枚数を 0 に設定します。すべて解除したら **OK** ボタンを押します。

4. 日時の種類を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - プリント予約の設定が残っている画像に、選択した設定が適用されます。
 - 再生中のカードに保存されている画像に、設定が反映されます。

5. **【予約する】** を選択し、**OK** ボタンを押します。

画像を消去する（1コマ消去）

再生中の画像を消去します。

1. 再生画面で消去する画像を表示し、**OK** ボタンを押します。
2. **[1コマ消去]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
3. **[実行]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - 画像が消去されます。

メニューの機能


メニューの基本操作

メニューでは、ライブコントロールなどに表示されない撮影／再生時の機能やカメラを使いやすくカスタマイズできる機能を設定します。

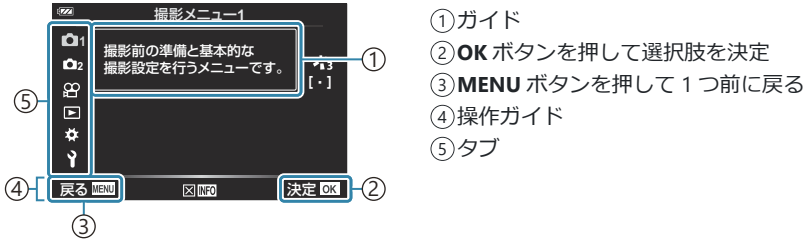
タブ	タブ名	説明
	撮影メニュー 1	静止画撮影に関するメニューです。撮影前の準備や基本的な撮影機能の設定を行います。🔗 「撮影メニュー 1／撮影メニュー 2 の機能」 (P.117)
	撮影メニュー 2	静止画撮影に関するメニューです。一歩進んだ撮影機能の設定を行います。🔗 「撮影メニュー 1／撮影メニュー 2 の機能」 (P.117)
	動画メニュー	ムービー撮影に関するメニューです。基本的な設定やカスタマイズの設定を行います。🔗 「動画メニューの機能」 (P.131)
	再生メニュー	画像の再生や編集に関するメニューです。🔗 「再生メニューの機能」 (P.132)
	カスタムメニュー	カメラのカスタマイズに関するメニューです。🔗 「カスタムメニューの機能」 (P.141)
	セットアップメニュー	日時や表示言語などの設定に関するメニューです。🔗 「セットアップメニューの機能」 (P.136)

メニューで選択できない機能について

メニューを表示したとき、十字ボタンを使っても選択できない項目がある場合があります。

- 現在の撮影モードで設定できない項目の場合 🔗 [「撮影モード設定可能一覧」](#) (P.205)
- 設定済みの項目との組み合わせにより設定できない場合
 - モードダイヤルを  に設定していると、ピクチャーモードが選択できないなど

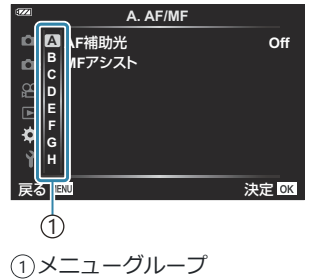
1. MENU ボタンを押して、メニューを表示します。



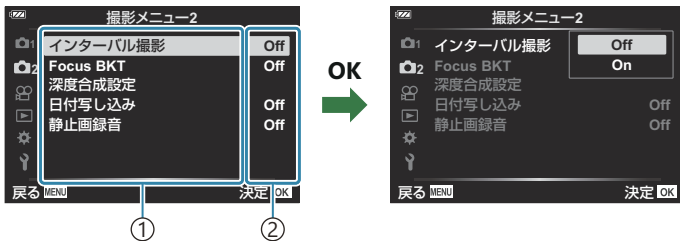
- 機能を選択すると、約2秒後にガイドが表示されます。INFO ボタンを押すと、ガイドの表示/非表示を切り換えることができます。

2. △▽ ボタンでタブを選択し、OK ボタンを押します。

- カスタムメニューを選択したときは、メニューグループのタブが表示されます。△▽ ボタンでメニューグループを選択し、OK ボタンを押します。



3. △▽ ボタンで機能を選択し OK ボタンを押して、各設定画面に進みます。



- ①機能
②現在の設定

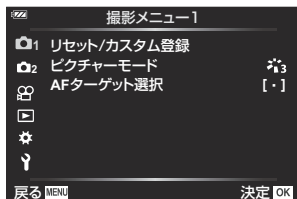
4. △▽ ボタンで項目を選択し OK ボタンを押して、設定内容を確定します。

- 繰り返し MENU ボタンを押して、メニューを終了します。

- ① カメラの状態や他の機能の設定内容によって、設定できない項目があります。設定できない項目は、グレーで表示されていて選択することができません。
- 🔗 各機能の初期設定については、「[機能と初期設定一覧](#)」(P.215)をご覧ください。
- 🔗 メニューの操作には、十字ボタンのほかにコントロールダイヤルが使えます。

撮影メニュー 1 / 撮影メニュー 2 を使う

撮影メニュー 1 / 撮影メニュー 2 の機能



1 撮影メニュー 1


- リセット/カスタム登録 (P.50、P.118)
- ピクチャーモード (P.68、P.120)
- AF ターゲット選択 (P.122)

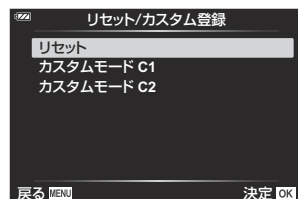
2 撮影メニュー 2

- インターバル撮影 (P.124)
- Focus BKT (P.127)
- 深度合成設定 (P.128)
- 日付写し込み (P.129)
- 静止画録音 (P.130)

カメラの設定を初期状態に戻す（リセット）

カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。ほぼすべての設定に戻すか、撮影に関する機能のみに戻すかの選択ができます。

1.  撮影メニュー 1 で、**[リセット/カスタム登録]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
2. **[リセット]** を選択し、**OK** ボタンを押します。



3. **[フル]** または **[標準]** を選択し、**OK** ボタンを押します。

フル	日付や言語など一部を除いたすべての設定値をリセットします。
標準	撮影に関する基本的な機能をリセットします。

4. **[実行]** を選択し、**OK** ボタンを押します。

残しておきたい設定内容を登録する（カスタム登録）

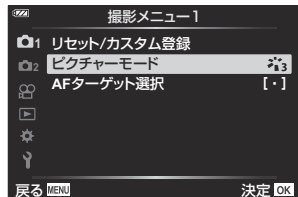
撮影でよく使う機能の設定と撮影モードをカスタムモード（**C1**、**C2**）として登録しておき（**P.50**）、必要なときにモードダイヤルの操作だけで呼び出して使うことができます（**P.50**）。

- 初期設定では、**P**モードの設定が登録されています。

画像の仕上がりを設定する（ピクチャーモード）

【ピクチャーモード】（P.68）の設定に、個別にコントラストやシャープネスなどの微調整をしておくことができます。調整したパラメータは仕上がり項目ごとに記憶されます。

1.  撮影メニュー 1 で、【ピクチャーモード】を選択し、OK ボタンを押します。



- 撮影モードの設定に応じて選択できるピクチャーモードが表示されます。

2. △▽ ボタンで項目を選択し、OK ボタンを押します。


- 各項目でさらに▷ ボタンを押すと、選択したピクチャーモードに応じて詳細設定ができます。詳細設定ができないピクチャーモードもあります。

シャープネス	輪郭の強調をすることでシャープなはっきりした感じの画像にすることができます。
コントラスト	画像の明暗差を調整します。明暗差を強調することではっきりした印象の強い画像にすることができます。
彩度	画像の色合いや色の濃さを調整します。彩度を上げると色合いのはっきりした印象的な画像になります。
階調	画像の色や明るさの濃淡を調整します。被写体のイメージに合わせて全体的に明るく表現したり暗く表現します。明暗差によって暗い階調と明るい階調のどちらも表現できます。
フィルター効果	ピクチャーモードの【モノトーン】の設定に、カラーフィルターの効果をつけることができます。被写体の色によって明るく表現したりコントラストを強調することができます。黄、橙、赤の順にコントラストが強くなります。緑はポートレート撮影などにも効果的です。
調色	ピクチャーモードの【モノトーン】の設定に、色味の効果をつけることができます。
効果	ピクチャーモードを【i-Finish】に設定したときの、効果の強さを設定します。
効果の追加	アートフィルターでは、フレーム効果などの効果の設定をすることもできます。

①【標準】以外の階調ではコントラスト調整は反映されません。


ピントを合わせる範囲を選択する (AF ターゲット選択)

AF を行う位置や範囲を変更できます。

 (オールターゲット)	すべての AF ターゲットからカメラが自動的にピントを合わせる AF ターゲットを選択します。
[・] (シングルターゲット)	1 つの AF ターゲットを選択します。
自動追尾	動いている被写体に自動でピントを合わせ続けます。

ピントの位置を自分で決める (ターゲット選択)

ピント合わせに使う AF ターゲットの位置を変更できます。

1.  撮影メニュー 1 で、**[AF ターゲット選択]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
2. **[[・]]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
3. **△ ▽ ◀ ▶** で AF ターゲットの位置を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - 選択中に **OK** ボタンを長押しすると、AF ターゲットが中央に戻ります。

※ 撮影待機時に AF ターゲットの位置を変更する場合は、**OK** ボタンを長押しします。

※ アスペクト比 (P.76) の設定により、AF ターゲットの数や大きさが変わります。

① デジタルテレコン使用時は、AF ターゲットの位置を変更できません。

動いている被写体にピントを合わせ続ける (自動追尾)

動いている被写体に自動でピントを合わせ続けることができます。

1.  撮影メニュー 1 で、**[AF ターゲット選択]** を選択し、**OK** ボタンを押します。

2. **〔自動追尾〕** を選択し、**OK** ボタンを押します。
3. **MENU** ボタンを押して撮影画面に戻ります。
4. AF ターゲットを被写体に合わせて、シャッターボタンを半押ししたまま **OK** ボタンを押します。
5. 被写体を認識すると、被写体の動きに合わせて AF ターゲットが動き、自動でピントを合わせ続けます。
 - 中止するときは、**OK** ボタンを押します。

① 被写体や撮影状況によっては、ピントを固定できなかったり、被写体を追尾できなくなることがあります。

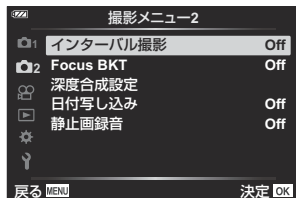
✎ 被写体を追尾できなくなったときは、AF ターゲットが赤く点灯します。

✎ デジタルテレコン使用時は、**[[・]]** (シングルターゲット) になります。

一定時間ごとに自動的に撮影する（インターバル撮影）

設定した間隔で自動的に撮影できます。また撮影した一連のコマを1つのムービーとして記録することもできます。

1.  撮影メニュー2で、**【インターバル撮影】**を選択し、**OK** ボタンを押します。




2. **【On】**を選択し、**▷** ボタンを押します。
3. 次の設定をして **OK** ボタンを押します。

コマ数	撮影するコマ数を設定します。 [2] ~ [299] (コマ)
撮影開始待ち時間	インターバル撮影を開始して、最初のコマが撮影されるまでの待ち時間を設定します。 [00:00:00] ~ [24:00:00]
撮影間隔	撮影開始後の各コマの撮影間隔を設定します。 [00:00:01] ~ [24:00:00]
撮影動作	撮影時に撮影間隔を優先するか、撮影コマ数を優先するかを設定します。 [撮影間隔優先] / [撮影コマ数優先] <ul style="list-style-type: none">• [撮影間隔優先] を設定すると、撮影タイミングになっても前の撮影が終わっていない場合があります。[撮影間隔] が短い場合や、長秒時の撮影などでは、[コマ数] で設定した枚数よりも、記録される画像が少なくなります。
露出平準化	コマ間の露出を平準化します。タイムラプス動画で露出変化が滑らかになります。 [Off] / [On]

タイムラプス動画	静止画のみの記録か、撮影後に一連のコマでムービーを生成するかを設定できます。 [Off] ：各コマを静止画として記録します。 [On] ：静止画とともに、一連のコマで1つのムービーを生成して記録します。
タイムラプス動画設定	[タイムラプス動画] で記録するムービーの [ムービーサイズ] と [フレームレート] を設定します。 [ムービーサイズ] は次の選択肢から設定します。 [4K] / [FullHD] / [HD] [フレームレート] は次の選択肢から設定します。 [30fps] / [15fps] / [10fps] / [5fps]

① **[撮影開始待ち時間]** **[撮影間隔]** **[開始予定時間]** は設定によってずれる場合があります。目安としてお使いください。


4. 撮影メニュー2に戻るまで、繰り返し **OK** ボタンを押します。


- **MENU** ボタンを押して、メニューを終了します。
- 撮影画面に戻ると、画面に  が表示されます（アイコンには設定したコマ数が表示されます）。



5. 撮影します。

- 自動的に設定したコマ数を撮影します。


- 撮影開始後に次の操作をするとインターバル撮影は、終了します。
 - モードダイヤル/**MENU** ボタン/ ボタン/USB ケーブルを接続
- 電源を切るとインターバル撮影を終了します。

- ①  **セットアップメニュー** の **[撮影画像の確認時間]** (P.136) は 0.5 秒で動作します。
- ① 撮影開始待ち時間、撮影間隔の設定を 1 分 31 秒以上にすると、1 分でモニターを消灯してカメラの電源がオフになります。撮影 10 秒前に自動的に復帰します。またモニター消灯中は、**ON/OFF** ボタンを押しても復帰します。
- ① 撮影した静止画が正しく記録されていない場合は、タイムラプスムービーは生成されません。
- ① カード残量が不足した場合、タイムラプスムービーは記録されません。

- ① 電池残量が少なくなると途中で撮影を終了します。十分に充電した電池をお使いいただくか、撮影が長時間になる場合は USB-AC アダプターをお使いください。USB-AC アダプターをお使いの場合、カメラに電池を挿入した状態で、USB ケーブルを接続した後に表示される画面で **【充電】** を選択してください。モニターの消灯後、**ON/OFF** ボタンを押すと再度モニターが点灯し、充電しながら撮影できます。
- ① **【4K】** で生成されたタイムラプスムービーは、パソコンの環境によって再生できない場合があります。再生条件については当社ホームページをご確認ください。

ピント位置を少しずつ変化させて撮影する (Focus BKT)

自動的にピント位置を変えながら、1回の撮影で10/20/30コマ撮影します。


1.  撮影メニュー2で **[Focus BKT]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
2. **[On]** を選択し、**▷** を押します。
3. 以下の設定をして **OK** ボタンを押します。

撮影開始待ち時間	0~30 秒	撮影開始までの待ち時間を設定します。
撮影枚数	10/20/30(コマ)	ブラケット撮影の枚数を設定します。
フォーカスステップ	狭い/標準/広い	1コマごとにずらすピント位置の間隔を設定します。




4. シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。
 - 合焦マークが点滅したときはピントが合っていません。
 5. シャッターボタンを全押しして撮影します。
 - 1コマごとにピント位置を変えながら、**[撮影枚数]** で設定したコマ数を撮影します。シャッターボタンを半押ししてピントを合わせた位置とその前後でピントを移動させて撮影します。
 - ブラケット撮影中は **[BKT]** が緑色で表示されます。
 - ピント位置が ∞ (無限遠) に達すると撮影が終了します。
- ① AF ターゲットは **[・]** (シングルターゲット) に固定されます。
- ② 露出・ホワイトバランスは、最初の1コマで固定されます。

ピント位置を変えて撮影した画像を合成する（深度合成設定）

設定した枚数分を自動的にピント位置を変えながら連続撮影し、1枚の画像に合成します。1コマ目に撮影された画像と合成された画像の2枚が記録されます。

1.  撮影メニュー2で【深度合成設定】を選択し、OKボタンを押します。
2. 以下の設定をしてOKボタンを押します。

撮影開始待ち時間	撮影開始までの待ち時間を設定します。
撮影枚数	合成用に撮影する枚数を設定します。 • 1コマ目に撮影される画像は含まれません。

3. モードダイヤルを  に設定します。
4.   で【深度合成】を選択し、OKボタンを押します。
5. シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。
 - 合焦マークが点滅したときはピントが合っていません。
 - ピント位置を固定して撮影する場合は、フォーカスロック (P64) または MF (P75) をお使いください。
6. シャッターボタンを全押しして撮影します。

- ① AF ターゲットは **[[・]]** (シングルターゲット) に固定されます。
- ② 露出・ホワイトバランスは、最初の1コマで固定されます。

静止画撮影時に日付を写し込む（日付写し込み）

静止画に日付や時刻を写し込んで撮影します。

Off	日付や時刻を写し込みません。
日付	日付を写し込みます。
時刻	時刻を写し込みます。
日付+時刻	日付と時刻を写し込みます。

- **【日付写し込み】** を設定すると **Date** が表示されます。

ⓘ 画像に写し込んだ日付や時刻を削除することはできません。


ⓘ 日時設定を行っていない場合は使用できません。🔧 [「初期設定をする」](#) (P.28)

ⓘ 次の場合は無効です。

- RAW 画像（JPEG+RAW の場合を含む）／ムービー／**SCN** モードの e ポートレート、手持ち夜景、ライブコンポジット、パノラマ、HDR 逆光補正／**Li** モードの深度合成、フォーカス BKT／**魚** モードの水中 HDR／ピクチャーモードの **[ART]**／モードダイヤル **📷** 時の静止画撮影／連写／再生メニューの **【編集】** で編集された画像




静止画録音

[On] にすると、シャッターを切ってから自動で 4 秒間音声を録音します。撮影メモとしてコメントを録音したいときなどに便利です。

- [静止画録音] を設定すると  が表示されます。
- 録音した音声は [\[再生\] \(P98\)](#) で再生できます。

① [カスタムセルフタイマー] の [撮影枚数] は 1 枚に固定されます。

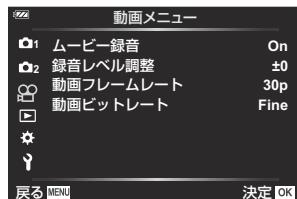
② 次の場合は無効です。

-  モード / **SCN** モードの e ポートレート、手持ち夜景、ライブコンポジット、パノラマ、HDR 逆光補正 /  モードの深度合成、フォーカス BKT /  モードの水中 HDR / 連写 / インターバル撮影

動画メニューを使う

動画メニューの機能

動画メニューでは、ムービー撮影の機能を設定します。



メニュー項目	説明
ムービー録音	ムービー撮影中の録音に関する設定を行います (P.52)。 [Off] : ムービー撮影中に音声を録音しません。 [On] : ムービー撮影中に音声を録音します。 [On] : ムービー撮影時に風切り音を低減しながら録音します。
録音レベル調整	内蔵マイクの感度を設定します。マイクが拾っている音量の過去数秒間のピーク値を音量レベルバーで確認しながら、△▽で感度を調整します。
動画フレームレート	ムービー撮影時のフレームレートを選択します (P.79)。 • テレビでムービーを再生する場合、テレビとムービーのフレームレートが合っていないとなめらかに再生されません。ムービーを撮影する前に、各国/地域のテレビ映像信号に合わせてフレームレートを設定してください。 - NTSC 地域 : 60p (30p) - PAL 地域 : 50p (25p)
動画ビットレート	ムービー撮影時の圧縮率を選択します (P.79)。

🔊 ムービー撮影中の録音では、レンズの駆動音やカメラの操作音が入ることがあります。気になるときは、ボタンをなるべく押さないようにするなど、音の発生を抑えてください。

🚫 ハイスピードムービー、ピクチャーモードの (ジオラマ) では、ムービー録音できません。

🔊 ムービー録音が [Off] のときは、 が表示されます。

再生メニューを使う

再生メニューの機能

再生メニュー

スライドショー (P.108)

回転再生 (P.133)

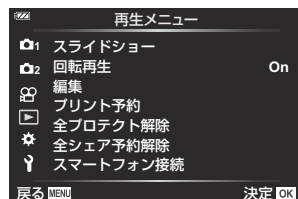
編集 (P.99)

プリント予約 (P.110)

全プロテクト解除 (P.134)

全シェア予約解除 (P.135)

スマートフォン接続 (P.173)




縦位置で撮影した画像を自動で回転表示する（回転再生）

設定が **[On]** のとき、縦位置で撮影した画像が自動的に回転して再生されます。


全てのプロテクトを解除する(全プロテクト解除)

プロテクトされている画像を一度に解除できます。

1.  再生メニューで **全プロテクト解除** を選択し、**OK** ボタンを押します。
2. **実行** を選択し、**OK** ボタンを押します。

全ての転送予約を解除する（全シェア予約解除）

画像に設定されているシェア予約を解除します。

1.  再生メニューで **【全シェア予約解除】** を選択し、**OK** ボタンを押します。
2. **【実行】** を選択し、**OK** ボタンを押します。

セットアップメニューを使う

セットアップメニューの機能

カメラの基本的な設定をします。表示する言語やモニターの明るさの調整などがあります。カメラを使い始めるときに設定する項目を集めています。



メニュー項目	説明
カードセットアップ	カードの初期化や、カードに保存されている画像を一括で削除します (P.138、P.139)。
日時設定	日時を設定します (P.28)。
🗣️ (言語切り換え)	機能設定時に表示されるガイドやメニューの言語を選択します (P.140)。
モニター調整	モニターの明るさを調整します。△▽ ボタンで設定値を選択します。 
撮影画像の確認時間	撮影後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。また、表示する時間も設定できます。撮影した画像の簡単なチェックに便利です。撮影確認中でもシャッターボタンを半押しするとすぐに次の撮影に入れます。 [0.3 秒] ~ [20 秒] : 画像を表示する時間を指定します。 [Off] : 記録中の画像は表示されません。 [Auto▶] : 記録中の画像を表示し、そのまま再生モードに切り換わります。画像を確認した後、消去したいときに便利です。
Wi-Fi/Bluetooth 設定	本機の無線機能を使って、Wi-Fi/Bluetooth 接続が可能なスマートフォンや別売のリモコンと接続するための設定をします (P.179、P.171)。

メニュー項目	説明
工事メニュー表示	工事写真撮影に関する機能や設定を使うことができます (P.161)。

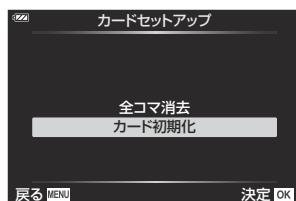
カードを初期化する（カードセットアップ）

新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途で使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

- ①初期化すると、プロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。すでに使用しているカードを初期化するときは、大切なデータが記録されていないことを確認してください。🔍「[カードについて](#)」(P.21)

1. 📁 セットアップメニューで、**【カードセットアップ】** を選択し、**OK** ボタンを押します。

- カードにデータが含まれている場合は、メニュー項目が表示されます。**【カード初期化】** を選択し、**OK** ボタンを押します。



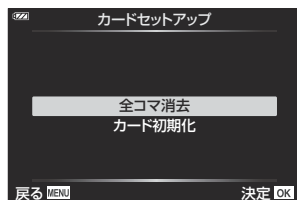
2. **【実行】** を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 初期化が実行されます。

全コマを消去する（カードセットアップ）

撮影した画像をすべて消去します。プロテクトした画像は消去されません。

1. **Y** セットアップメニューで、**【カードセットアップ】** を選択し、**OK** ボタンを押します。



2. **【全コマ消去】** を選択し、**OK** ボタンを押します。

3. **【実行】** を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - 全コマ消去が実行されます。

カスタムメニューを使う

カスタムメニューの機能

⚙️ カスタムメニューを使って、機能の拡張やカメラのカスタマイズができます。



カスタムメニュー

- A** AF/MF (P.142)
- B** 表示/音/接続 (P.143)
- C** 露出/ISO (P.144)
- D** フラッシュ (P.145)
- E** 画質/WB/色 (P.146)
- F** 記録 (P.148)
- G** フィールドセンサー (P.150)
- H** その他 (P.151)

A AF/MF

MENU → ⚙ → **A**

メニュー項目	説明
AF 補助光	暗い場所でもピントを合わせやすくするための設定です。 [Off] に設定すると AF 補助光を発光しません。
MF アシスト	フォーカスロック時やマニュアルフォーカス時にピント位置を変更したとき、ピント合わせを補助します (P.152)。

B 表示/音/接続

MENU → ⚙️ → B

メニュー項目	説明
 /Info 表示設定	<p>INFO ボタンを押したときに表示する情報画面の表示/非表示を設定します (P.153)。</p> <p>[▶Info] : 再生情報画面の設定</p> <p>[LV-Info] : 撮影情報画面の設定</p> <p>[表示] : インデックス表示/カレンダー表示の設定</p>
LVブースト	<p>[Off] : 露出補正等の設定を反映した明るさで、画面に被写体を表示します。</p> <p>[On] : 露出補正等の設定を反映せず、適正露出に近い明るさで画面に被写体を表示します。</p>
フリッカー低減	ライブビュー表示の蛍光灯などによるフリッカーの影響を低減します。[オート] で低減されないときは、地域の商用電源周波数に合わせて [50Hz] [60Hz] に設定します。
表示罫線選択	[方眼]、[黄金分割] から選択し、撮影画面に罫線を表示できます。
ピーキング色	[MFアシスト] を [On] にしたときのピーキング表示の輪郭強調の色 (赤・黄・白・黒) を変更できます。
電子音	△▽ で電子音の音量を調整できます。「0」に設定すると、シャッターボタンを押してピントが合ったときや、シャッターが切れるときの音を鳴らさないようにできます。
HDMI	<p>HDMI 接続に関する設定を行います (P.156)。</p> <p>[出力サイズ]: HDMI ケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選択します。</p> <p>[HDMIコントロール] : [On] にすると HDMI コントロール対応テレビのリモコン操作を許可します。撮影した画像をテレビで再生するときに使用できます。</p>

MENU → ⚙️ → C








メニュー項目	説明
露出基準調整	<p>適正露出の基準値を測光方式ごとに調整できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調整量は撮影画面では確認できません。通常の露出補正を目的とする場合は、露出補正 (P56) を行ってください。
ISOオート設定	<p>[上限/基準値設定] : ISO 感度を [AUTO] に設定したときの上限値と基準値を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [上限値] : ISO 感度の上限を設定します。 [基準値] : 通常使用する ISO 感度を設定します。 <p>[低速限界設定] : P/A モードで、自動で ISO 感度を上げるシャッター速度を設定します。[オート] にするとカメラが自動的に設定します。</p>
高感度ノイズ低減	<p>高感度撮影時のノイズ低減レベルを選択できます。</p>
長秒時ノイズ低減	<p>長時間露出時に発生するノイズを低減します。</p> <p>[オート] : 長秒時、カメラ内部温度上昇時に、ノイズ低減処理を行います。</p> <p>[On] : 常にノイズ低減処理を行います。</p> <p>[Off] : ノイズ低減処理を行いません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ノイズ低減処理中は、画面に処理が終了するまでの時間が表示されます。 連写設定時は自動的に [Off] になります。 撮影条件や被写体により効果が出にくい場合があります。

画像のノイズについて

長秒時の撮影では、画面にノイズが多く発生する場合があります。これは撮像素子の温度上昇や、撮像素子内部の駆動回路が熱源となり、本来撮像素子に光のあたっていない部分にも電流を発生させてしまうためです。この現象は、高温の環境で ISO 感度を上げたり、長秒時の露出で顕著に表れます。これらのノイズを軽減するために、このカメラは長秒時ノイズ低減が働きます。

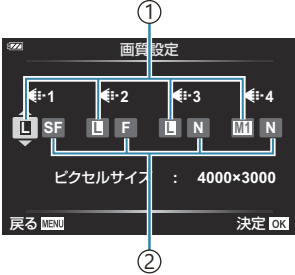
D フラッシュ

MENU → ⚙️ → D

メニュー項目	説明
 +  連動	[On] にすると、フラッシュ補正值に露出補正值が加算されます (P56、P82)。
 + WB 連動	フラッシュ発光時のホワイトバランスの設定を選択できます。 [Off] : ホワイトバランスの設定に従って動作します。 [ AUTO] : ホワイトバランスは [ AUTO] (オート) に変更されます。 [ Flash] : ホワイトバランスは [ Flash] (フラッシュ撮影用 WB) に変更されます。

E 画質/WB/色

MENU → ⚙️ → E

メニュー項目	説明
画質設定	<p>JPEG の画質モードを変更できます。4 種類の画像サイズと 3 種類の圧縮率の組み合わせから選択します (P.77、P.158)。</p> <div data-bbox="185 443 1028 879"><ol style="list-style-type: none">1. ◀▶ ボタンで [◀:1] ~ [◀:4] の画像サイズと圧縮率を選択し、△▽ ボタンで値を変更します。 <ul style="list-style-type: none">① 画像サイズ② 圧縮率2. OK ボタンを押すと確定されます。</div>
WB モード	<p>ホワイトバランスの設定をします。それぞれの設定を微調整しておくこともできます (P.72)。</p> <div data-bbox="185 1002 1028 1281"><ol style="list-style-type: none">1. 微調整したいホワイトバランスモードを選択し、▷ を押します。2. A 方向 (赤 - 青) または G 方向 (緑 - 赤紫) を選択し、△▽ で値を変更します。<ul style="list-style-type: none">• A 方向 (赤 - 青) で補正する場合は+方向で赤味がかかり、-方向で青味がかかった画像になります。• G 方向 (緑 - 赤紫) で補正する場合は+方向で緑の色味が増し、-方向で赤紫がかかった画像になります。</div>
WB オート電球色残し	<p>[On] にすると電球色の色味を残します。</p>

メニュー項目	説明
色空間	<p>撮影した画像をモニターやプリンターで再現する際、色再現を正しく行うための方式を選択します。</p> <p>[sRGB] : 国際規格を統一する機関が決めた標準の規格です。標準的なディスプレイやプリンター、デジタルカメラ、各種のアプリケーションで使用されています。通常はこの設定にしてください。</p> <p>[Adobe RGB] : sRGB より広い色域の再現ができます。正しく出力するためには、この規格に対応したソフトウェア、ディスプレイやプリンターなどの機器が必要です。ファイル名の初めの文字が、「_」(アンダーバー)で示されます(例: _xxx0000.jpg)。</p>

MENU → ⚙️ → F

メニュー項目	説明
ファイルネーム	<p>ファイル番号の付け方を設定します。</p> <p>【オート】：カードを入れ換えても、ファイル番号は通し番号で付けられます。カード内に重複するファイル番号がある場合は、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。</p> <p>【リセット】：新しいカードを入れると、フォルダ番号は 100、ファイル名は 0001 から始まります。すでに画像が記録されたカードでは、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。</p>
ファイルネーム編集	<p>撮影した静止画やムービーをカードに記録するときのファイル名を変更します。次の部分が編集できます。</p> <p>sRGB：Pmdd0000.jpg --- Pmdd Adobe RGB：_mdd0000.jpg --- mdd</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 【sRGB】 または 【Adobe RGB】 を選択し、▶ を押します。 2. ◀▶ でカーソルを移動し、△▽ で文字を変更します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【Off】 を選択すると、初期設定の文字が使われます。 3. 手順 2 を繰り返し、すべてを設定したら OK ボタンを押します。 </div> <p>① 国土交通省デジタル写真管理情報基準のファイル命名規則を満たすために、以下の点にご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 【色空間】 を 【sRGB】 に設定した場合は、1 文字目を「P」に設定してください。 - 【色空間】 を 【Adobe RGB】 に設定した場合は、1 文字目は「_」に固定されるため、ファイル命名規則を満たすことができません。

最大 63 文字の撮影者／著作権者の名称を画像に付加します。

【著作権情報記録】： **【On】** を選択すると撮影者／著作権者の名称を Exif 情報に付加します。

【撮影者入力】： 撮影者の名称を入力します。

【著作権者入力】： 著作権者の名称を入力します。

1. **a** から文字を選択し、**OK** ボタンを押します。選択した文字は **b** に表示されます。
2. 手順 1 を繰り返し、すべてを入力したら **【END】** を選択し **OK** ボタンを押します。
 - 文字を消去するには、**INFO** ボタンを押し、カーソルを **b** に移動してから、消去したい文字を選択します。再度 **INFO** ボタンを押して **a** に戻り、**【Delete】** を選択して **OK** ボタンを押します。



④ **【著作権情報】** の使用によって生じたトラブルや損害などについては、当社は一切の責任を持ちません。お客様の責任で使用してください。

G フィールドセンサー

MENU → ⚙ → G

メニュー項目	説明
GPS 位置情報記録	[On] にすると、撮影した画像に GPS 位置情報が記録されます。
標高/温度設定	<p>センサー情報を表示するときの温度や標高の単位の選択をします。また表示の調整もできます。</p> <p>[標高調整]：現在の標高とカメラの標高表示に差異があるときに調整できます。</p> <p>[m/ft]：標高の表示を、m（メートル）と ft（フィート）から選択できます。</p> <p>[°C/°F]：温度の表示を、°C（摂氏）と °F（華氏）から選択できます。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px;"><ol style="list-style-type: none">1. △▽ で設定したい項目を選びます。2. ▷ を押します3. △▽ で数値または単位を選び、OK ボタンを押して確定します。</div>

MENU → →

メニュー項目	説明
ピクセルマッピング	撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います (P241)。
水準器調整	水準器の角度のずれを調整できます。 [リセット]: 工場出荷時の調整値に戻ります。 [キャリブレーション]: 現在のカメラの状態位置をゼロ点とします。
スリープ時間	一定時間カメラを操作しないとき、スリープ状態に移行する設定をします。スリープ状態では、カメラの動作を停止してモニターも消灯します。 <ul style="list-style-type: none">シャッターボタンを半押しするか、ボタンを動かすと再び動作し始めます。
認証マーク表示	認証マークを表示します。

マニュアルフォーカス時にピントを合わせやすくする (MF アシスト)

MENU → → → [MF アシスト]

MF でのピント合わせを補助する機能です。フォーカスロック時やマニュアルフォーカス時にピント位置を変更したとき、被写体の輪郭を強調したり画面の一部を拡大したりして表示します。

拡大	画面の一部を拡大して表示します。 <ul style="list-style-type: none">画面中央部分を拡大表示します。フォーカスロック (P.64) している場合は、ロックした部分を拡大表示します。
ピーキング	画面内の輪郭のはっきりした箇所を強調表示します。強調表示の色を選択することができます。🔍 【ピーキング色】 (P.143)

- ピーキング表示は、細かい被写体ほど強く表示される傾向にあります。正確なピント位置を保証するものではありません。
- **[拡大]** と **[ピーキング]** をどちらも **[On]** に設定すると、被写体によっては輪郭がはっきり見えなくなる場合があります。

INFO ボタンによる情報表示の設定をする (Info 表示設定)

MENU → * → B → [Info 表示設定]

Info (再生情報表示)

[Info] で次の再生情報表示画面を追加できます。追加した画面は、画像再生時に **INFO** ボタンを繰り返し押し表示されます。また、初期設定で表示されている画面を非表示にすることもできます。☞ 「情報表示を切り換える」(P88)



ヒストグラム表示

画像の明るさの分布をヒストグラムで表示します。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの画素数を表しています。



ハイライト&シャドウ表示

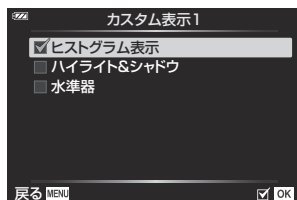
画像の明るさの上限値以上の部分を赤、下限値以下の部分を青で表示します。



LV-Info（撮影情報表示）

撮影時のライブビュー画面に表示される情報表示の選択をします。🔍 「情報表示を切り換える」
(P.33)

【LV-Info】でヒストグラム表示画面、ハイライト&シャドウ表示画面、水準器表示画面を追加できます。【カスタム表示 1】または【カスタム表示 2】を選択し、追加する画面にチェックを入れます。追加した画面は、撮影時に **INFO** ボタンを繰り返し押すと表示されます。また、初期設定で表示されている画面を非表示にすることもできます。




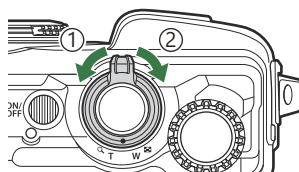
水準器表示



カメラの傾きを表示します。「あおり」方向は縦のバー、「水平」方向は横のバーで表示します。バーが緑色で表示されたとき、カメラは水平・垂直になります。

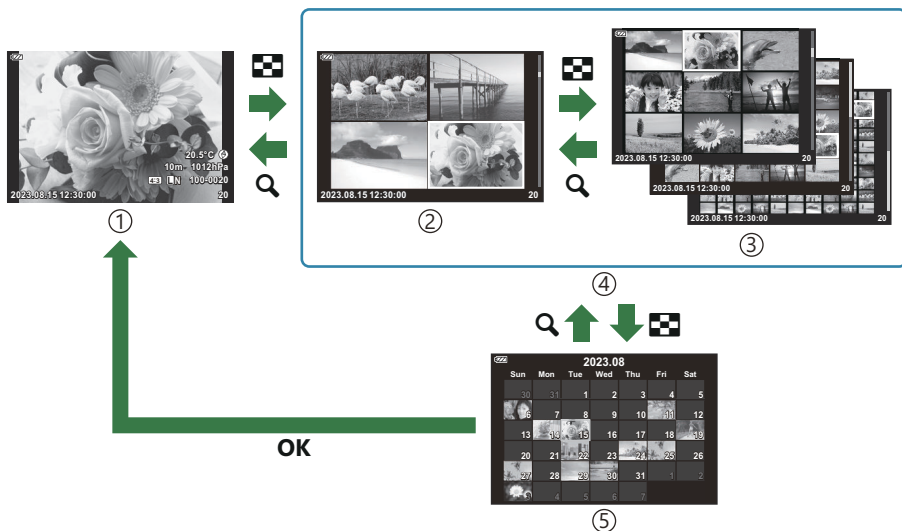
- 水準器の表示は目安としてお使いください。
- 表示に誤差がある場合は、水準器調整 (P.151) を行ってください。

表示（インデックス／カレンダー表示）

【 表示】で、インデックス表示画面の分割数を変更したり、初期設定で表示されている画面を非表示にできます。チェックを入れた画面は、画像再生時にズームレバーを繰り返して表示されます。



- ① 反時計回り（ 側）
- ② 時計回り（ 側）



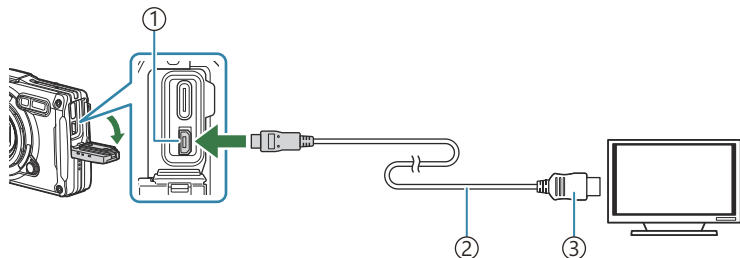
- ① コマ再生
- ② 4分割
- ③ 9、25、100分割

- ④ インデックス再生
- ⑤ カレンダー再生

カメラの画像をテレビで見る (HDMI)

MENU → ⚙️ → B → [HDMI]

別売のケーブルを使ってテレビに接続して画像を再生します。また、撮影でも使用できます。HDMI ケーブルを使ってハイビジョン対応のテレビに接続すると、高画質な画像をテレビで見ることができます。



- ①HDMI コネクタ (タイプ D)
- ②HDMI ケーブル
- ③タイプ A

テレビとカメラを接続してテレビの入力を切り換えます。

- HDMI ケーブルを接続するとカメラのモニターは消灯します。

🔗 テレビの入力切り換えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。

🔗 HDMI ケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選ぶことができます。テレビの入力設定に合わせて選択してください。

4K 優先	4K 画質 (3840×2160) 優先で出力します。
1080p 優先	フルハイビジョン形式 (1080p) 優先で出力します。
720p 優先	ハイビジョン形式 (720p) 優先で出力します。
480p/576p	480p/576p 形式で出力します。

- ① テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見えることがあります。
- ② 他の HDMI 出力機器と接続しないでください。故障の原因となります。
- ③ パソコンとの USB 接続中は、HDMI 出力は行われません。
- ④ 静止画撮影状態のときは信号形式を **[4K 優先]** にしていても、1080p 優先で出力されます。

テレビのリモコンを使う

HDMI によるコントロールに対応したテレビに接続したとき、テレビのリモコンで操作することができます。**[HDMI コントロール]** を **[On]** にしてください。**[On]** に設定中は、再生以外のカメラ操作はできません。

カメラのモニター表示は消灯します。

- テレビに表示された操作ガイドに従って操作できます。
- 1コマ再生のときに、リモコンの「赤」ボタンで情報表示の切り換え、「緑」ボタンでインデックス表示への切り換えができます。

ⓘ テレビによっては使用できない機能があります。

JPEG の画像サイズと圧縮率の組み合わせ（画質設定）

MENU → ⚙ →  → [画質設定]

画像サイズと圧縮率を組み合わせ、JPEG の画質モードを設定できます。

画像サイズ (ピクセルサイズ)	圧縮率			用途
	Super Fine	Fine	Normal	
Large (4000×3000)	L SF	L F	L N	プリントサイズに合わせて選択
Middle1 (3200×2400)	M1 SF	M1 F	M1 N	
Middle2 (1920×1440)	M2 SF	M2 F	M2 N	
Small (1280×960)	S SF	S F	S N	小さいプリントやホームページ用

工事メニューを使う

工事メニューについて


【工事メニュー表示】 (P.161) を **【On】** に設定すると、以下の機能や設定を使うことができます。

- **SCN** モードの **【現場写真を撮る】** (P.162)
- 国土交通省の基準に準拠した画質モードに設定する (P.164)
- 編集・加工の有無を判定するための情報を画像に付加する (オリジナル画像判定) (P.166)
- 工事メニュー専用の **【表示罫線選択】** (P.168)

ご注意

- カメラ本体は、汎用デジタルカメラとして開発・製造・販売しております。特定の使用目的のために、機械的性能が特別に考慮された製品ではありません。
- カメラに内蔵の GPS 機能および電子コンパス機能は、精度を求める使用を想定した機能ではないため、いかなる場合においても測定した値（緯度経度、方角、標高、温度など）に対して保証いたしません。
- 当社保証規定に定められている保証を除き、本製品の使用または使用不能によって生じるいかなる損害（損失利益、作業の中断、作業、作業情報の損失、その他の時間的・金銭的損失等）も補償いたしません。

工事メニューを表示する

1. MENU ボタンを押してメニューを表示します。
2.  セットアップメニューで **[工事メニュー表示]** を選択し、OK ボタンを押します。

① カメラの日付と時刻が設定されていない場合は **[工事メニュー表示]** を設定できません。

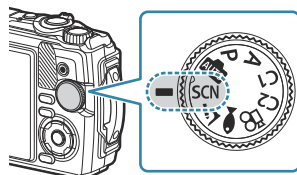


3. [On] を選択し、OK ボタンを押します。
4. MENU ボタンを押してメニューを終了します。

SCN モードの [現場写真を撮る]

撮影現場での状況にあわせて使用することで、簡単にクリアな画像が撮影できます。

1. モードダイヤルを **SCN** に合わせます。






2. Δ ∇ \triangleleft \triangleright ボタンで [現場写真を撮る] を選択し、**OK** ボタンを押します。




3. \triangleleft \triangleright ボタンでシーンモードを選択し、**OK** ボタンを押して設定します。

	工事写真 クリアモ ード 1	通常の工事写真の撮影に有効です。ほこりや雨が画像に白い点となって映り込む現象を抑えます。 ☞ 手ぶれを起こしてしまう場合は、[工事写真クリアモード 2] を使用すると手ぶれが防げる場合があります。 ☞ ISO 感度は最大 3200 になります。
	工事写真 クリアモ ード 2	[工事写真クリアモード 1] を使い画像が暗く感じる時に有効です。より手ぶれに強くなります。[工事写真クリアモード 2] で撮影しても手ぶれが発生する場合は、三脚を使用してください。 ⌚ ISO 感度が高くなり画像が粗くなるので、使用目的に適した画質になっているか、再生して確認してください。 ☞ ISO 感度は最大 6400 になります。
	工事写真 クリアモ ード 3	[工事写真クリアモード 1] と比較して、暗い部分を明るく補正するので、明暗差の激しい現場に適します。 ⌚ 晴天の野外など、明るい場所で撮影すると、画像全体が白っぽくなる場合があります。 ☞ ISO 感度は最大 1600 になります。
	屋内撮影	広い空間でのフラッシュ撮影に適します。手前から奥まで明るい画像が得られます。

	スローシャッター	三脚を使った夜間の撮影に有効です。 あわせてセルフタイマー (P.58) を使用するとシャッターボタンを押した時のカメラのぶれを防ぐことができます。
	資料モード	A4 サイズや A3 サイズの資料や図面などの印刷物に適したモードです。
	パノラマ	画角の広い画像を撮影できます。

4. 撮影します。

 撮影時に壁に寄りかかるなど、体を固定するとぶれを防ぐことができます。

- ① [工事写真クリアモード 1]、[工事写真クリアモード 2]、[工事写真クリアモード 3] では一部の機能は選択できません。
- ② [工事写真クリアモード 1]、[工事写真クリアモード 2]、[工事写真クリアモード 3]、[スローシャッター]、[資料モード]、[パノラマ] はフラッシュが発光禁止になるので、光がまったく入らない場所では適した画像を撮影できません。フラッシュが発光するほかの **SCN** (シーン) モードを選択してください。

3. Δ ∇ で [CALSH] または [CAL] を選択し、OK ボタンを押します。

- [CALSH] にした場合は、カメラ起動時に自動的に $\frac{4096}{1080}$ に設定されます。
- [CAL] にした場合は、カメラ起動時に自動的に $\frac{4096}{1080}$ に設定されます。
- [Off] にした場合は、カメラの電源を切る直前の画像サイズと圧縮率に設定されます。

4. MENU ボタンを押してメニューを終了します。

① SCN (シーン) モードの [現場写真を撮る] の [パノラマ] では、画像モードが [CALSH] または [CAL] に設定されている場合でも、合成後の画像サイズが約 3M (1920×1440) を超える場合があります。

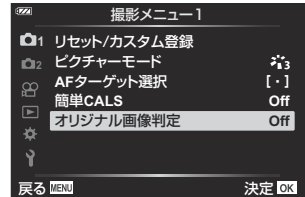
編集・加工の有無を判定するための情報を画像に付加する（オリジナル画像判定）

撮影画像および撮影日時に対する編集・加工の有無を判定する情報を撮影画像に付加します。ただし、カメラ上では編集・加工の有無を判定できません。編集・加工の有無の判定は、ソフトウェアを使用します。詳細や最新情報は、当社ホームページをご覧ください。

画像に情報を付加する

1. MENU ボタンを押してメニューを表示します。

2.  撮影メニュー 1 で、**【オリジナル画像判定】** を選択し、OK ボタンを押します。



3. Δ ∇ で **【On】** を選択し、OK ボタンを押します。

- **【On】** を選択した場合は、判定を可能とする情報を付加します。
- **【Off】** を選択した場合は、判定を可能とする情報を付加しません。

4. MENU ボタンを押してメニューを終了します。

- 撮影画面に戻ると、画面に  が表示されます。



① **【オリジナル画像判定】** を **【On】** にすると、以下の機能は選択できません。

- 連写 (P.58)
- プロキャプチャー (P.60)
- Focus BKT (P.127)
- 画質モードの **【RAW】**、**【RAW+JPEG】** (P.77)
- ピクチャーモードの **【eポートレート】**、**【ART】** (P.68)

①以下のときは【オリジナル画像判定】は選択できません。

- 🐟 モードの【 水中 HDR】
- 📐 モードの【 フォーカス BKT】、【 深度合成】
- SCN モードの【 手持ち夜景】、【 HDR 逆光補正】、【 eポートレート】

パソコンへの取り込み方法

パソコンへの取り込み方法によっては、データの一部が書き換わるため異なる判定結果が出る場合があります。【オリジナル画像判定】機能を使用する場合は、下記の方法で画像を取り込んでください。詳しくは当社サポートサイトをご覧ください。

1. カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとパソコンを USB 接続します (P.181)。
2. 表示された画面で【ストレージ】を選択して OK ボタンを押します (P.182)。
3. カメラが新しい機器としてパソコンに認識されたら、画像をパソコンにコピーしてください。

工事メニュー専用の【表示罫線選択】

【表示罫線選択】で【方眼】を選択したときはオレンジ色の25分割罫線、【黄金分割】を選択したときは灰色の黄金分割罫線になります。

① オレンジ色の25分割罫線が表示されているときは、ヒストグラムは表示されません。

外部機器と接続する

外部機器との接続について

このカメラは、パソコンやスマートフォンなどの外部機器と接続することによって、いろいろな使い方ができます。☞ 「スマートフォンとの接続について」(P.172)、「パソコンに画像を取り込んで保存する」(P.182)、「カメラとリモコンを接続する」(P.185)、「カメラと外部モニター（テレビ）との接続について」(P.191)

Wi-Fi、Bluetooth®機能をお使いのときのご注意

使用が禁止されている国や地域、場所では、無線 LAN および Bluetooth®を停止させてください。

このカメラは無線 LAN および Bluetooth®を搭載しています。カメラを購入された地域以外での使用については、その国の電波管理規定に違反する恐れがあります。

国や地域により、位置情報を政府への申請なしに取得することは違法になる場合があります。そのため、あらかじめ、当社販売エリアにより位置情報を表示できないよう設定している場合があります。




国外へ持ち出す際には、持ち出す国や地域によって、定められた法律があります。あらかじめご確認の上、必ずそれに従ってください。当社では一切の責任は負えません。

飛行機内など Wi-Fi の使用を禁止されている場所では、機能を停止してください。🔇 「カメラの無線通信を停止する」(P171)

- ① 電波による通信は、傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- ① 送受信アンテナは、グリップ内にあります。金属類をなるべく近づけないでください。
- ① バッグなどにカメラを入れて運ぶ場合、バッグの素材やその他の内容物によってカメラの電波が遮蔽され、スマートフォンと通信できない場合があります。
- ① Wi-Fi 接続中は、バッテリーの消耗が早くなります。バッテリーの残量が少ないと通信中でも通信が途切れる場合があります。
- ① 電子レンジやコードレス電話機など、磁場、静電気、電波の発生するところでは通信しにくくなったり、速度が遅くなったりします。
- ① カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしていると、一部の無線 LAN 機能が使用できません。


カメラの無線通信を停止する

カメラの無線通信（Wi-Fi/Bluetooth®）を停止することができます。

1.  セットアップメニューで **【Wi-Fi/Bluetooth 設定】** を選択して  を押します。
2. **【通信機能】** を選択して  を押します。
3. **【Off】** を選択して **OK** ボタンを押します。

 次の機能が使用できなくなります。

- **【スマートフォン接続】** (P.173) / **【Bluetooth】** (P.175)

 カメラの電源オン時に無線接続常時受け付けを解除し、無線信号の発信を停止する場合は、 セットアップメニュー **【Wi-Fi/Bluetooth 設定】** の **【Bluetooth】** を **【Off】** に設定してください。

 「**電源オン時の無線接続常時受け付けを設定する**」 (P.175)

スマートフォンと接続する

スマートフォンとの接続について

本機の無線 LAN 機能 (Wi-Fi) と Bluetooth® 機能を使ってスマートフォンと接続し、専用アプリを使用することで、撮影や撮影後の楽しみがもっと広がります。カメラとスマートフォンを接続しておくと、スマートフォンの操作で画像の転送やリモート撮影、画像に位置情報を付与できます。

- すべてのスマートフォンで動作を保证するものではありません。

専用アプリ OM Image Share を使ってできること

- **カメラの画像をスマートフォンへ転送**
カメラでシェア予約 (P.104) した画像をスマートフォンに取り込むことができます。
また、カメラ内の画像をスマートフォン側で選択して転送できます。
- **スマートフォンからリモート撮影**
スマートフォンでカメラをリモート操作し、撮影することができます。
- **写真をステキに加工**
スマートフォンに取り込んだ画像を直感的な操作で印象的な仕上がりにすることができます。
- **カメラの画像に GPS タグを追加**
スマートフォンの GPS 機能を使って、カメラに位置情報や GPS ログを転送し、撮影した画像に GPS タグを付与することができます。

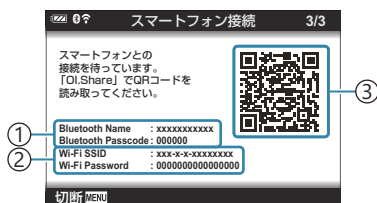
詳細は、当社ホームページをご参照ください。

スマートフォンとの接続設定をする

はじめてスマートフォンとカメラを接続する場合は、初期設定が必要です。

- 接続設定は、スマートフォンの OS の設定画面で行わず、アプリ（OM Image Share）の画面に従って行ってください。

1. あらかじめスマートフォンにインストールした専用アプリ OM Image Share を起動します。
2.  再生メニューで **【スマートフォン接続】** を選択して  を押します。
 - 撮影待機時に **MENU** ボタンを長押ししても **【スマートフォン接続】** を開始できます。
3. モニターに表示される操作ガイドに従って、Wi-Fi/**Bluetooth** 接続の準備を進めます。
 - モニターに **Bluetooth** ローカルネームとそのパスコード、Wi-Fi SSID とそのパスワード、QR コードが表示されます。



- ① **Bluetooth** ローカルネーム
Bluetooth パスコード
- ② Wi-Fi SSID
Wi-Fi パスワード
- ③ QR コード

4. スマートフォンの OM Image Share の画面下部のカメラのアイコンをタップします。
 - **【かんたん接続設定】** のタブが表示されます。
5. OM Image Share に表示されるガイドに従って QR コードを読み取り、接続設定を進めます。
 - QR コードを読み取れない場合は、OM Image Share に表示されるガイドに従って手動で設定する必要があります。
 - **Bluetooth** : OM Image Share に表示される **Bluetooth** 設定画面でカメラのモニターに表示されているローカルネームを選択し、パスコードを入力します。
 - **Wi-Fi** : OM Image Share に表示される Wi-Fi 設定画面で、カメラのモニターに表示されている SSID とパスワードを入力して接続します。
 - 接続すると、画面に  1 が表示されます。
 - **Bluetooth**® のアイコンは次の状態を表しています。
 -  点灯 : 無線信号発信状態
 -  点灯 : 無線接続確立状態

6. Wi-Fi 接続を終了するには、カメラの **MENU** ボタンを押します。
- OM Image Share でカメラの電源をオフにし、接続を終了することもできます。
 - 初期設定では、Wi-Fi 接続を終了しても **Bluetooth**® 接続が維持され、スマートフォンからリモート撮影ができる状態になります。Wi-Fi 接続を終了するときに **Bluetooth**® 接続も終了するように設定するには、**[Bluetooth]** を **[Off]** にします。

電源オン時の無線接続常時受け付けを設定する




カメラの電源をオンしている時に、常にスマートフォンや別売のリモコンとの無線接続が可能な状態にするかどうかを設定します。

1.  セットアップメニューで **【Wi-Fi/Bluetooth 設定】** を選択して  を押します。



2. **【Bluetooth】** を選択して  を押します。

① あらかじめカメラとスマートフォンまたは別売のリモコンの接続設定を完了させてください。完了していない場合、**【Bluetooth】** は選択できません。

3. 設定値を選択して **OK** ボタンを押します。

Off	カメラの電源がオンのときの無線接続常時受け付けを解除し、無線信号の発信を停止します。スマートフォンとの接続には、カメラの再生メニューから 【スマートフォン接続】 (P.173) を行います。
On 	カメラの電源がオンのとき、無線信号が発信され、カメラとスマートフォンは常に接続可能な状態になります。 OM Image Share の操作だけで、いつでもスマートフォンと無線接続し、リモート撮影や写真転送などが可能になります。
On  	カメラの電源がオンのとき、無線信号が発信され、カメラと別売のリモコン (P.185) とのペアリングが完了している場合、常に接続可能な状態になります。

• **【Bluetooth】** 設定の設定値は、カメラの **Bluetooth®** 通信の状態表示も兼ねていますので、設定値である **【Off】** **【On ** **【On ** 以外に、**【停止中】** **【動作中】** が表示されます。

 **【On ** 設定時、専用アプリ OM Image Share で GPS ログを取得していると、カメラは撮影時に位置情報をアプリから受け取り、画像に付与します。

スマートフォンに画像を転送する

スマートフォンでカメラ内の画像を選択して取り込むことができます。また、あらかじめシェアする画像をカメラで選択しておくこともできます。🔗 「画像の転送予約をする (シェア予約)」 (P.104)

- **[Bluetooth]** (P.175) が **[Off]** または **[On🔕]** になっている場合は **[Bluetooth]** を **[On📶]** にします。
- **[Bluetooth]** (P.175) が **[On📶]** になっている場合は、カメラの電源オンと同時に無線通信が常時待機状態になります。

1. OM Image Share で **[写真転送]** をタップします。

- ①一部のスマートフォンでは Wi-Fi 接続の確認画面が表示されます。画面の指示に従って、カメラと接続します。
- カメラ内の画像が一覧で表示されます。

2. 転送したい写真を選択して保存ボタンをタップします。

- 保存が完了したらスマートフォンからカメラの電源をオフできます。
- **[Bluetooth]** (P.175) が **[Off]** または **[On🔕]** になっていても、**[スマートフォン接続]** からの操作で **[写真転送]** は可能です。

スマートフォンからリモート撮影する（ライブビューリモコン）

カメラをスマートフォンから操作して、スマートフォンでライブビューを確認しながらリモート撮影（ライブビューリモコン）ができます。

- カメラ側は接続画面になり、撮影操作はスマートフォン側からすべて行います。
- **[Bluetooth]** (P.175) が **[Off]** または **[On📶]** になっている場合は **[Bluetooth]** を **[On📶]** にします。
- **[Bluetooth]** (P.175) が **[On📶]** になっている場合は、カメラの電源オンと同時に無線通信が常時待機状態になります。

1. OM Image Share を起動して、**[リモコン]** ボタンをタップします。

2. **[ライブビュー]** をタップします。

3. シャッターボタンをタップして撮影します。

- 撮影した画像はカメラ内のカードに記録されます。

- **[Bluetooth]** (P.175) が **[Off]** または **[On📶]** になっていても、**[スマートフォン接続]** (P.173) からの操作で **[ライブビュー]** は可能です。
- 使用できる撮影機能に一部制限があります。

スマートフォンからリモート撮影する（ワイヤレスリリースリモコン）

カメラをスマートフォンから操作して、リモート撮影（ワイヤレスリリースリモコン）ができます。

- カメラは通常と全く変わらず撮影操作が可能です。加えて、スマートフォンの画面に表示されるシャッターボタンでも静止画撮影／ムービー撮影ができます。
- **[Bluetooth]** (P.175) が **[Off]** または **[On🔒]** になっている場合は **[Bluetooth]** を **[On🔓]** にします。
- **[Bluetooth]** (P.175) が **[On🔓]** になっている場合は、カメラの電源オンと同時に無線通信が常時待機状態になります。

1. OM Image Share を起動して、**[リモコン]** ボタンをタップします。

2. **[ワイヤレスリリース]** をタップします。

3. シャッターボタンをタップして撮影します。

- 撮影した画像はカメラ内のカードに記録されます。

- **[Bluetooth]** (P.175) が **[Off]** または **[On🔒]** になっていても、**[スマートフォン接続]** (P.173) からの操作で **[ワイヤレスリリース]** は可能です。

無線 LAN/Bluetooth® 設定を初期化する

【Wi-Fi/Bluetooth 設定】の設定内容を初期化します。

1. **📌** セットアップメニューで **【Wi-Fi/Bluetooth 設定】** を選択して **▷** ボタンを押します。
2. **【Wi-Fi/Bluetooth 設定リセット】** を選択して **▷** を押します。
3. **【実行】** を選択して **OK** ボタンを押します。

🔗 次のメニュー項目が初期化されます。

- **【通信機能】** (P.171) / **【Bluetooth】** (P.175) / **【接続パスワード設定】** (P.180)

🔗 初期化すると、スマートフォンとの接続設定も初期化されます。スマートフォンと接続するには、再度初期設定を行ってください (P.173)。またリモコンとのペアリングも解除されず。リモコンと無線接続するには、再度ペアリングを行ってください (P.185)。

パスワードを変更する

スマートフォン接続で使うパスワードを変更します。

1. ⓘ セットアップメニューで **【Wi-Fi/Bluetooth 設定】** を選択して ▶ ボタンを押します。

2. **【接続パスワード設定】** を選択して ▶ を押します。

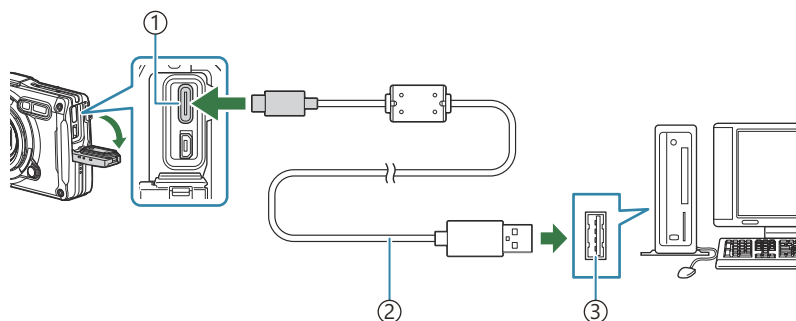
3. 操作ガイドに従って Ⓞ ボタンを押します。

- 新しいパスワードに設定されます。

- スマートフォン接続のパスワードと **Bluetooth®** 接続のパスコードが両方とも変更されます。
- パスワード変更後は、再度スマートフォンとの接続設定を行ってください。🔗 [「スマートフォンとの接続設定をする」](#) (P173)

パソコンと接続する

カメラをパソコンに接続する



- ① USB コネクタ (タイプ C)
- ② USB ケーブル (付属)
- ③ USB ポート

- USB ケーブルでカメラとパソコンを接続すると、カメラのモニターに接続先を選択する画面が表示されます。

- ① パソコンと USB 接続している間も、電池を充電することができます。充電時間はパソコンなどの性能により大きく異なります (パソコンなどの性能によっては 10 時間程度かかる場合もあります)。
- ② カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合、電池残量が著しく不足している可能性があります。充電した電池を使用してください。
- ③ USB 端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。
 - 拡張カードなどで USB 端子を増設したパソコン / 工場出荷時に OS がインストールされていないパソコン / 自作パソコン
- ④ パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。
- ⑤ パソコンに認識されない場合は、一度 USB ケーブルを抜いてから、再度パソコンに接続しなおしてください。

パソコンに画像を取り込んで保存する

1. カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとパソコンを接続します。
 - USB ポートの位置はパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。
 - モニターに USB ケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。
2. Δ ∇ を押して【ストレージ】または【MTP】を選択します。
OK ボタンを押します。
 - 【ストレージ】: パソコンにカードリーダーとして接続します。
 - 【MTP】: パソコンにポータブルデバイスとして接続します。
3. カメラが新しい機器としてパソコンに認識されます。



ソフトウェアのインストール

カメラとパソコンを直接 USB 接続して使うときには、次のソフトウェアをインストールしてください。

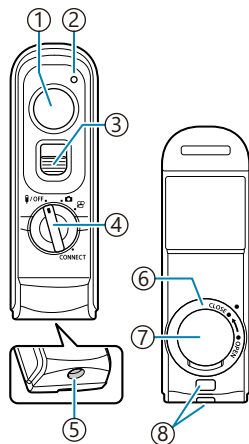
OM Workspace

カメラで撮影した静止画やムービーをパソコンに取り込んで、閲覧や編集を行うためのアプリケーションソフトウェアです。カメラのファームウェアのアップデートもできます。ソフトウェアのダウンロードについては当社ホームページをご覧ください。ソフトウェアのダウンロードにはご利用の製品のシリアル No を入力する必要があります。

リモコンを使う

各部の名称

RM-WR1



- ①シャッターボタン
- ②通信ランプ
- ③シャッターボタンロックレバー
- ④モードダイヤル (📶/OFF / 📷 / 📷 / CONNECT)
- ⑤ケーブル端子
- ⑥電池蓋
- ⑦電池カバー
- ⑧ストラップ取り付け部

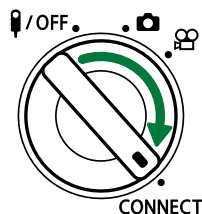
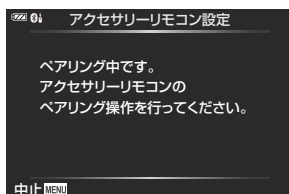
カメラとリモコンを接続する

無線で接続する

リモコンを無線で接続するときは、まずカメラとリモコンのペアリング（機器同士の接続・登録）が必要です。

1. **ℹ** セットアップメニューで **[Wi-Fi/Bluetooth 設定]** を選択して **▷** を押します。
2. **[アクセサリリモコン設定]** を選択して **▷** を押します。
3. **[ペアリング開始]** を選択して **OK** ボタンを押します。

4. ペアリング中のメッセージが表示されたら、リモコンのモードダイヤルを **CONNECT** に合わせて保持します。



- 3 秒間保持するとペアリングが開始されます。ペアリングが完了するまで **CONNECT** の位置で保持してください。完了する前にモードダイヤルを動かすとペアリングが中止され、通信ランプが高速で点滅します。
- ペアリングが開始すると通信ランプが点灯します。

5. 接続完了のメッセージが表示されたら、**OK** ボタンを押して終了します。



- ペアリングが完了するとリモコンの通信ランプが消灯します。
 - ペアリングが完了するとカメラの **[Bluetooth] (P.175)** が自動的に **[On]** に設定されます。
- ① 接続完了のメッセージが表示される前にリモコンのモードダイヤルを動かしたり、カメラの **MENU** ボタンを押したりすると、ペアリング動作は中止します。接続済みのペアリング情報は初期化されます。再度ペアリングを行ってください。
- ② ペアリングされていない状態でモードダイヤルを **CONNECT** の位置に合わせて 3 秒間保持したとき、またはペアリングに失敗したときは、接続済みのペアリング情報は初期化されません。再度ペアリングを行ってください。

ペアリングを解除する

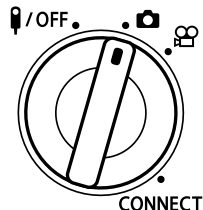
1. **↑** セットアップメニューで **[Wi-Fi/Bluetooth 設定]** を選択して **▷** を押します。
2. **[アクセサリリモコン設定]** を選択して **▷** を押します。
3. **[ペアリング解除]** を選択して **OK** ボタンを押します。
4. **[実行]** を選択して **OK** ボタンを押します。

- ① 以前に接続したのとは違うリモコンとペアリングするときは、**[ペアリング解除]** を実行して以前のペアリング情報を初期化する必要があります。

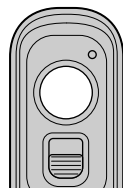
リモコンからリモート撮影する



カメラとリモコンを無線で接続するときは、**[Bluetooth] (P.175)** が **[On]** になっていることを確認してください。**[On]** のときは画面に  が表示され、カメラの電源オンと同時にリモコンとの無線通信が常時待機状態になります。

1. リモコンのモードダイヤルを  または  に合わせます。



2. リモコンのシャッターボタンを押して撮影します。



- リモコンのモードダイヤルが  (静止画撮影モード) のとき、リモコンのシャッターボタンを1段目まで浅く押し込むと(半押し)、合焦マーク(●)が表示され、ピントの合ったところに緑色の枠(AFターゲット)が表示されます。
- リモコンのモードダイヤルを  (ムービー撮影モード) のとき、リモコンのシャッターボタンを押すと、ムービー撮影を開始します。ムービー撮影を終了するときは、再度リモコンのシャッターボタンを押します。

リモコンの通信ランプの表示

1 回点灯	リモコンの操作が正常にカメラに送信されています。
高速点滅 (1 秒)	リモコンの操作が正常にカメラに送信されていません。カメラとリモコンの距離を近づけてください。それでも解消しない場合は、カメラの設定を確認してください。
高速点滅 (3 秒)	カメラとリモコンのペアリングに問題があります。再度ペアリングを行ってください。
点灯しない	次の原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none">• リモコンの電池がない• リモコンのモードダイヤルが OFF の位置になっている• カメラとリモコンがケーブルで接続されている

- ① **[Bluetooth]** (P.175) が **[On]** になっているにもかかわらず、**[スマートフォン接続]** (P.173) からの操作でスマートフォンとの接続機能は動作可能です。ただし、スマートフォンとの接続中は、リモコンから操作できません。
- ① **[通信機能]** (P.171) が **[Off]** のときは、ペアリングやリモコンからのリモート撮影はできません。
- ① リモコンを無線で接続中はカメラはスリープモードには入りません。
- ① リモコンのモードダイヤルを **OFF** にすると、**[スリープ時間]** の設定に従ってスリープモードに入ります。 **カスタムメニュー** **[H]** **[スリープ時間]** (P.151)
- ① **[Bluetooth]** (P.175) が **[On]** のときは、リモコンのモードダイヤルを **OFF** にしないと、カメラはスリープモードには入りません。
- ① カメラがスリープ状態のときにリモコン操作をした場合、カメラの動作再開まで時間がかかります。
- ① カメラがスリープ状態から動作再開までの間はリモコンの操作を受け付けません。カメラの動作再開後にリモコンの操作を行ってください。
- ① リモコン使用後はリモコンのモードダイヤルを **OFF** にしてください。

リモコンの MAC アドレスについて

リモコンの MAC アドレスは、リモコンに同梱の保証書に記載されています。

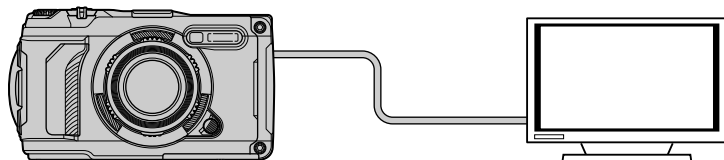
リモコンの使用上のご注意

- 電池カバーを引っ張ったり、電池カバーを持って電池蓋を回さないでください。
- 電池を尖ったもので突かないでください。
- 電池蓋を閉めるときは、異物が付着していないことを確認してください。

外部モニター（テレビ）と接続する （HDMI）

カメラと外部モニター（テレビ）との接続について

カメラとテレビを HDMI ケーブルで直接接続して、画像を表示できます。再生画像をテレビに表示して、大勢で楽しむことができます。テレビに接続しているときは、テレビのリモコンで表示の操作をすることもできます。特別なアプリは必要ありません。



ムービー撮影のために HDMI ケーブルで外部モニターやレコーダーと接続して使うこともできます。

① HDMI ケーブルは、市販品を別途ご用意ください。また、HDMI 正規認証の HDMI ケーブルをお使いください。

カメラの画像やムービーをテレビで見る (HDMI)

カメラをハイビジョン対応のテレビに HDMI ケーブルで直接接続して、画像をテレビに表示します。テレビに接続しているときは、リモコンで表示の操作をすることもできます。

HDMI の出力信号を設定する

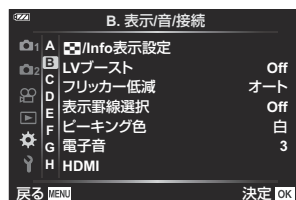
テレビに出力する信号の設定をします。テレビの性能やお使いの地域に合わせてムービーサイズやフレームレートを設定できます。テレビの入力設定に合わせて選択してください。

出力サイズ	HDMI コネクタに出力する映像信号の形式を設定します。 [4K 優先] : 4K 画質 (3840×2160) 優先で出力します。 [1080p 優先] : フルハイビジョン形式 (1080p) 優先で出力します。 [720p 優先] : ハイビジョン形式 (720p) 優先で出力します。 [480p/576p] : 480p/576p 形式で出力します。
HDMI コントロール	再生モードのとき、テレビのリモコンを使ってカメラの操作ができます (P195)。 [Off] または [On] を選択します。[On] に設定中は、再生以外のカメラ操作はできません。

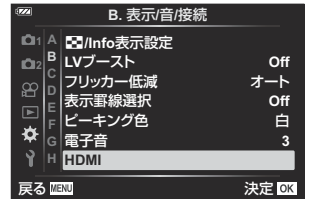
- HDMI 接続中に、[HDMI コントロール] の設定は変更できません。
- 記録されている音声フォーマットに対応している機器以外では、音声は再生されません。
- [HDMI コントロール] で対応可能な機能は、接続するテレビによって異なります。テレビの取扱説明書をご確認ください。

1. MENU ボタンを押して、メニューを表示します。

2. **カスタムメニュー B** (表示/音/接続) のメニューを表示します。



3. △▽ ボタンで **[HDMI]** を選択し、▶ ボタンを押します。



4. △▽ ボタンで設定する項目を選択し、▶ ボタンを押します。



5. △▽ ボタンで項目を選択し、**OK** ボタンを押します。



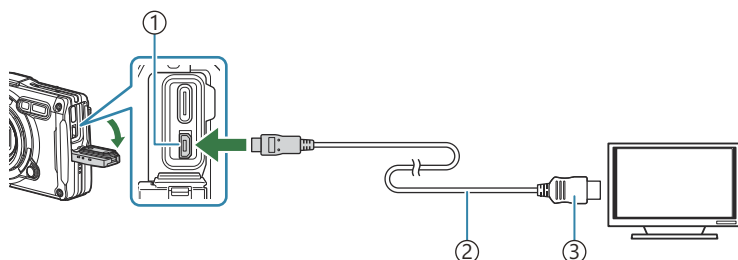
- 必要に応じて手順 4 と 5 を繰り返します。

6. **MENU** ボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

カメラをテレビに接続する


HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。

1. カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとテレビを HDMI ケーブルで接続します。



- ①HDMI コネクタ (タイプ D)
- ②HDMI ケーブル
- ③タイプ A

2. テレビの入力を切り換えてカメラの電源を入れます。

- テレビにカメラのモニターの映像が表示されます。撮影した画像を見るときは、 ボタンを押します。

🔗 **[HDMI コントロール]** (P.195) が **[On]** のときは、HDMI ケーブルを接続するとカメラのモニターは消灯します。

🔗 テレビの入力切り換えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。

- ① テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見えることがあります。
- ① パソコンとの USB 接続中は、HDMI 出力は行われません。
- ① 静止画撮影状態のときは信号形式を **[4K 優先]** にしていても、1080p 優先で出力されます。

テレビのリモコンで操作する（HDMI コントロール）

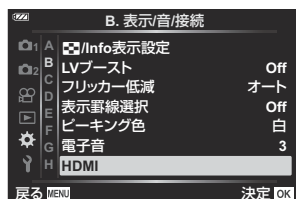
カメラをテレビに HDMI ケーブルで直接接続しているときは、リモコンで表示の操作をすることもできます。

- テレビが HDMI コントロールに対応している必要があります。テレビの取扱説明書をご確認ください。

On	再生モードのとき、テレビのリモコンを使ってカメラの操作ができます。[On] に設定されていると、再生以外のカメラ操作はできません。
Off	テレビのリモコンでカメラの操作はできません。情報表示は、テレビの画面にのみ表示されます。

1. MENU ボタンを押して、メニューを表示します。

2. * カスタムメニュー **B**（表示/音/接続）で [HDMI] を選択し、▷ ボタンを押します。



3. △▽ ボタンで [HDMI コントロール] を選択し、▷ ボタンを押します。



4. △▽ ボタンで [On] を選択し、OK ボタンを押します。



5. MENU ボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

6. カメラとテレビを HDMI ケーブルで接続します。

- テレビのリモコンを操作します。テレビに表示された操作ガイドに従って操作できます。
- 1 コマ再生で、リモコンの「赤」ボタンで情報表示の切り換え、「緑」ボタンでインデックス表示への切り換えができます。

① テレビによっては使用できない機能があります。

① テレビに表示中は、カメラのモニター表示は消灯します。

フィールドセンサー機能を使う

フィールドセンサー機能について

このカメラでは、位置や標高などの GPS や各種センサー情報を取得し、ログとして記録できます。また、その情報を撮影した静止画にも付与することができます。記録したログは、スマートフォン用の専用アプリ OM Image Share で読み込んで利用することができます。

OM Image Share については、当社ホームページをご覧ください。

- このカメラは、準天頂衛星システムや GLONASS にも対応しています。
- 位置情報が付与された画像には、緯度と経度が表示されます。
- このカメラにはナビゲーション機能は搭載されていません。
- アプリは最新のバージョンをお使いください。

GPS 機能およびその他の情報表示について

厳密な精度を求める使用を想定した機能ではないため、いかなる場合においても測定した値（緯度経度、方角、標高、温度など）に対しての保証はいたしません。また、自然災害などの影響により、情報内容が実際と異なる場合があります。

📍 標高はカスタムメニュー **G** **【標高/温度設定】** で調整することができます。🔗 [カスタムメニュー **G** **【標高/温度設定】** \(P.150\)](#)

GPS 機能をお使いのときのご注意

- GPS 機能を使用する前に「[GPS 機能、電子コンパスについて](#)」(P.199) をよくお読みください。
- 国や地域により、位置情報を政府への申請なしに取得をすることは違法になる場合があります。そのため、あらかじめ、当社販売エリアにより位置情報を表示できないよう設定している場合があります。また国外に持ち出す際には、持ち出す国や地域によって定められた法律があります。必ずそれにしたがってください。
- 飛行機内など GPS 機能の使用を禁止されている場所では、必ず LOG レバーを **OFF** にし、[GPS 位置情報記録](#) (P.150) および [日時設定](#) (P.136) の [GPS 自動日時補正](#) を両方とも **[Off]** にしてください。

GPS 機能、電子コンパスについて

- 上空が開けていない場所（室内、地下、水中、森や高層ビルの近く）、および強い磁気や電波の影響のあるところ（高圧電線の近く、磁石や電化製品、1.5GHz 携帯電話の近く）では、測位できなかったり、誤差が生じることがあります。
- 測位情報画面や静止画再生画面などで表示される標高は、カメラ本体に内蔵されている圧力センサーからの情報を元に表示・記録されています。GPS の測位情報に基づいた表示ではありませんのでご注意ください。
- 強い磁気や電波の影響（テレビ、電子レンジ、大型モーター、電波塔や高圧線の近くなど）があると電子コンパスが誤動作する場合があります。カメラをしっかりと持って、手首を返しながらかの字に振ると電子コンパス機能を復帰させることができます。
- GPS 機能および電子コンパス機能は、精度を求める機能ではないため、いかなる場合においても測定した値（緯度経度、方角、標高、温度など）に対して保証しません。
- GPS 機能及び Wi-Fi 機能搭載機種については、国や地域によっては定められた法律があり、修理サービスを提供できない場合がありますので、事前にその国や地域のサービスステーションにお問合せ下さい。

GPS 機能を使う前に（GPS アシストデータ）

カメラや通信の状態によっては位置情報の取得（測位）に時間がかかることがあります。GPS アシストデータを使うと、測位時間を数秒～数十秒に短縮できます。スマートフォン用の専用アプリ OM Image Share やパソコン用画像管理・編集ソフトウェア OM Workspace を使用して GPS アシストデータをダウンロードし、カメラに書き込みます。

あらかじめカメラの日時設定を正しく設定しておいてください。

① GPS アシストデータは 4 週間ごとに更新が必要になります。データ更新から時間が経つと、測位時間が長くなることがありますので、できるだけ新しい GPS アシストデータを使用してください。

② GPS アシストデータの提供は予告なく終了することがあります。

スマートフォンを使って GPS アシストデータを更新する

あらかじめスマートフォン用の専用アプリ OM Image Share をインストールしてください。GPS アシストデータの更新方法は、当社ホームページをご覧ください。

パソコンを使って GPS アシストデータを更新する

あらかじめパソコン用の専用ソフトウェア OM Workspace をダウンロードして、パソコンにインストールしてください。GPS アシストデータの更新方法は、当社ホームページをご覧ください。

GPS 機能を使うには

次のいずれかの場合に GPS 機能が有効になります。

- LOG レバーを **LOG** にする (P.202) / **[GPS 位置情報記録]** (P.150) を **[On]** にする / **[日時設定]** (P.136) の **[GPS 自動日時補正]** を **[On]** にする

- ① GPS アンテナ部 (P.15) を手や金属で覆わないでください。
- ① GPS アシストデータを更新していないと、GPS 機能を初めてお使いになる場合や、しばらく使用していなかった場合は測位が完了するまでに数分かかることがあります。
- 🔊 GPS アイコンが点灯しているときは GPS 情報を取得しています。赤色に点灯しているときは故障です。電源を入れ直しても変わらない場合は、当社サービスセンターにお問い合わせください。

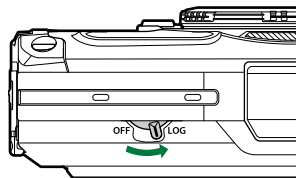
ログを記録する／保存する

このカメラは、LOG レバーを **LOG** にすると、GPS や各種センサー情報 (P.197) を取得してログに記録します。ログは、スマートフォン用の専用アプリ OM Image Share で読み込んで利用できます。

ログを記録する

LOG レバーを **LOG** に合わせます。

- ログの記録を開始します。記録中は動作ランプが点滅します。



- 電池残量が少なくなると、自動的にログの取得を終了します (P.248)。

- ① LOG モードにすると、常に測位を継続しているため電池を消耗します。
- ① ログファイルを一時的に記録しているカメラの記憶領域がいっぱいになると、新たにログを記録することができなくなります (P.248)。その場合は LOG レバーを **OFF** にして、ログをカードに保存してください。

ログの保存について

記録したログは、LOG レバーを **OFF** にしたときカードに保存されます。ログファイルは、カード内の「GPSLOG」フォルダと「SNSLOG」フォルダ内に保存されます (P.22)。

- ① ログの保存中はモニターに保存動作中の画面が表示されます。表示が消えるまでカードを取り出さないでください。保存中にカードを取り出すと、ログファイルが消失したり、カメラやカードに不具合が生じるおそれがあります。
- ① カメラが無線通信中の場合やカードの容量が不足していたり書き込み禁止になっている場合など、LOG レバーを **OFF** にしてもログの保存が開始されないことがあります。その場合は、カメラの無線通信を終了したり、カード内の不要なデータを削除するなど、ログの保存が可能な状態にしてください。保存が完了するまではカメラの電池を抜かないでください。
- ① カメラにカードが入っていないとログを保存しません。
- ① 電池残量が少ないとログを保存しません。電池を充電してください。
- ① カードに保存できるログファイル数の上限は 199 個までです。保存できるファイル数が残り少なくなると、モニターにエラーメッセージが表示されます。その場合はカードを交換するか、ログファイルをパソコンに保存して不要なログファイルを消去してください。🔍 「エラーコード」(P.248)

記録／保存したログを使う

ログを使用するには、カードに保存したログをスマートフォン用の専用アプリ OM Image Share に転送する必要があります。本機の無線 LAN 機能を使ってスマートフォンと接続してください (P.173)。

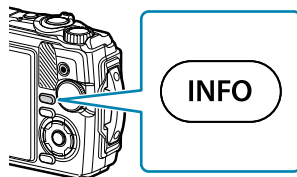
専用アプリ OM Image Share を使ってできること

- カードに保存したログや、ログ記録中に撮影した画像をスマートフォンに転送することができます。
- 転送したログを読み込んで、移動の軌跡を閲覧することができます。
- 転送したログと画像を関連付けて閲覧、管理することができます。

詳細は当社ホームページをご覧ください。

測位情報画面を表示する

カメラの電源が切れているときに **INFO** ボタンを押すと、モニターに測位情報を表示します。



① 表示される情報は、気象条件などにより誤差を生じることがあります。目安としてお使いください。

画面表示



① 時刻

② ログ記録中

③ 方位

④ 温度（水温）

⑤ 気圧

⑥ 標高（水深）

⑦ GPS アイコン

⑧ 緯度

⑨ 経度

緯度／経度について

GPS アイコンが点滅しているときや表示されていないときは、測位ができていません。

GPS 機能およびその他の情報表示について

厳密な精度を求める使用を想定した機能ではないため、いかなる場合においても測定した値(緯度、経度、方角、水深、温度など)に対する保証はいたしません。また、自然災害などの影響により、情報内容が実際と異なる場合があります。

機能と初期設定一覧

撮影モード設定可能一覧


 / **P** / **A** /  /  /  モード

※ 設定できない機能があります。

	AUTO	P	A				
						Focus BKT	
露出補正	—	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ピクチャーモード	—	✓	✓	※	※	※	※
ISO 感度	—	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ホワイトバランス	—	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF 方式	—	✓	✓	※	※	※	※
アスペクト比	✓	✓	✓	✓	✓	✓	—
 画質モード	✓	✓	✓	✓	※	✓	✓
 画質モード	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
 手ぶれ補正	—	✓	✓	✓	✓	✓	✓
 手ぶれ補正	—	—	—	—	—	—	—
フラッシュ	※	✓	✓	※	※	※	※
フラッシュ補正	—	✓	✓	✓	✓	✓	✓
連写/セルフタイマー	※	✓	✓	✓	※	※	✓
測光	—	✓	✓	✓	✓	✓	✓
顔優先	—	✓	✓	—	—	—	—

	AUTO	P	A	i			
						Focus BKT	
アクセサリ	※	✓	✓	※	※	※	※
リセット/カスタム登録	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF ターゲット選択	✓	✓	✓	—	—	—	—
簡単 CALS	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
オリジナル画像判定	✓	✓	✓	✓	—	—	✓
インターバル撮影	—	✓	✓	✓	—	—	✓
Focus BKT	—	✓	✓	—	—	✓	—
深度合成設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
日付写し込み	✓	✓	✓	✓	—	—	✓
静止画録音	—	✓	✓	✓	—	—	✓
ムービー録音	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
録音レベル調整	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
動画フレームレート	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
動画ビットレート	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓







						
						
露出補正	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ピクチャーモード	—	—	—	—	—	※
ISO 感度	—	—	—	—	—	—
ホワイトバランス	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF 方式	※	※	※	※	※	✓
アスペクト比	✓	✓	✓	✓	✓	—
 画質モード	✓	✓	✓	✓	※	✓
 画質モード	✓	✓	✓	✓	✓	✓
 手ぶれ補正	✓	✓	✓	✓	✓	—
 手ぶれ補正	—	—	—	—	—	※
フラッシュ	※	※	※	※	—	—
フラッシュ補正	✓	✓	✓	✓	—	—
連写/セルフタイマー	※	※	※	※	—	※
測光	—	—	—	—	—	—
顔優先	—	—	—	—	—	※
アクセサリ	※	※	※	※	※	※
リセット/カスタム登録	✓	✓	✓	✓	✓	※
AF ターゲット選択	✓	✓	✓	—	✓	✓
簡単 CALS	✓	✓	✓	✓	✓	✓
オリジナル画像判定	✓	✓	✓	✓	—	✓

						
						
インターバル撮影	—	—	—	—	—	—
Focus BKT	—	—	—	—	—	—
深度合成設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
日付写し込み	✓	✓	✓	✓	—	—
静止画録音	✓	✓	✓	✓	—	✓
ムービー録音	✓	✓	✓	✓	✓	※
録音レベル調整	✓	✓	✓	✓	✓	※
動画フレームレート	✓	✓	✓	✓	✓	※
動画ビットレート	✓	✓	✓	✓	✓	※









SCN モード

※ 設定できない機能があります。







								
露出補正	—	✓	—	—	—	—	—	—
ピクチャーモード	—	—	—	—	—	—	—	—
ISO 感度	—	—	—	—	—	—	—	—
ホワイトバランス	—	—	—	—	—	—	—	—
AF 方式	—	—	—	—	—	—	—	—
アスペクト比	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
 画質モード	✓	※	✓	✓	✓	✓	※	✓
 画質モード	※	※	※	※	※	※	※	※
 手ぶれ補正	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
 手ぶれ補正	—	—	—	—	—	—	—	—
フラッシュ	※	※	※	※	※	—	—	—
フラッシュ補正	—	—	—	—	—	—	—	—
連写/セルフタイマー	※	※	※	※	※	※	—	※
測光	—	—	—	—	—	—	—	—
顔優先	—	—	—	—	—	—	—	—
アクセサリ	※	※	※	※	※	※	※	※
リセット/カスタム登録	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF ターゲット選択	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	—
簡単 CALS	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

								
オリジナル画像判定	✓	—	✓	✓	✓	✓	—	✓
インターバル撮影	—	—	—	—	—	—	—	—
Focus BKT	—	—	—	—	—	—	—	—
深度合成設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
日付写し込み	✓	—	✓	✓	✓	✓	—	✓
静止画録音	✓	—	✓	✓	✓	✓	—	✓
ムービー録音	✓	—	✓	✓	✓	✓	—	✓
録音レベル調整	✓	—	✓	✓	✓	✓	—	✓
動画フレームレート	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
動画ビットレート	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

								
露出補正	—	—	—	—	—	✓	—	—
ピクチャーモード	—	—	—	—	—	—	—	—
ISO 感度	—	—	—	—	—	—	—	—
ホワイトバランス	—	—	—	—	—	✓	—	—
AF 方式	—	—	—	—	—	—	—	—
アスペクト比	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	✓
 画質モード	✓	✓	✓	✓	✓	—	※	✓
 画質モード	※	※	※	※	※	※	※	※
 手ぶれ補正	—	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
 手ぶれ補正	—	—	—	—	—	—	—	—
フラッシュ	—	※	※	—	※	—	—	—
フラッシュ補正	—	—	—	—	—	—	—	—
連写/セルフタイマー	—	※	※	※	※	—	—	※
測光	—	—	—	—	—	—	—	—
顔優先	—	—	—	—	—	—	—	—
アクセサリ	※	※	※	※	※	※	※	※
リセット/カスタム登録	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF ターゲット選択	✓	✓	✓	✓	✓	※	✓	✓
簡単 CALS	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
オリジナル画像判定	✓	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓
インターバル撮影	—	—	—	—	—	—	—	—

								
Focus BKT	—	—	—	—	—	—	—	—
深度合成設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
日付写し込み	—	✓	✓	✓	✓	—	—	✓
静止画録音	—	✓	✓	✓	✓	—	—	✓
ムービー録音	—	✓	✓	✓	✓	—	—	✓
録音レベル調整	—	✓	✓	✓	✓	—	—	✓
動画フレームレート	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
動画ビットレート	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

						
露出補正	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ピクチャーモード	—	—	—	—	—	—
ISO 感度	—	—	—	—	—	—
ホワイトバランス	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF 方式	—	—	—	—	—	—
アスペクト比	✓	✓	✓	✓	✓	✓
 画質モード	✓	✓	✓	✓	✓	✓
 画質モード	※	※	※	※	※	※
 手ぶれ補正	✓	✓	✓	✓	✓	✓
 手ぶれ補正	—	—	—	—	—	—
フラッシュ	—	—	—	※	—	—
フラッシュ補正	—	—	—	—	—	—
連写/セルフタイマー	※	※	※	※	※	※
測光	—	—	—	—	—	—
顔優先	—	—	—	—	—	—
アクセサリ	※	※	※	※	※	※
リセット/カスタム登録	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF ターゲット選択	✓	✓	✓	✓	✓	※
簡単 CALS	✓	✓	✓	✓	✓	✓
オリジナル画像判定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
インターバル撮影	—	—	—	—	—	—

						
Focus BKT	—	—	—	—	—	—
深度合成設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
日付写し込み	✓	✓	✓	✓	✓	✓
静止画録音	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ムービー録音	—	—	—	—	—	—
録音レベル調整	—	—	—	—	—	—
動画フレームレート	✓	✓	✓	✓	✓	✓
動画ビットレート	✓	✓	✓	✓	✓	✓

機能と初期設定一覧


ダイレクトボタン (P.216)

ライブコントロール (P.217)

 撮影メニュー (P.218)

 動画メニュー (P.220)

 再生メニュー (P.221)

 カスタムメニュー (P.222)











 セットアップメニュー (P.225)

ダイレクトボタン

*1: [カスタムモード C1] または [カスタムモード C2] に登録可能な機能

*2: [リセット] (フル) で初期設定に戻る機能

*3: [リセット] (標準) で初期設定に戻る機能

機能	初期設定	*1	*2	*3	
露出補正	±0.0	✓	✓	✓	
フラッシュ	 モードの [] /  モードの []、 []、[] の場合		✓	✓	✓
	 モードの [] の場合	AUTO	✓	✓	✓
	上記以外の場合		✓	✓	✓
連写/セルフタイマー	<input type="checkbox"/>	✓	✓	✓	

ライブコントロール

*1: [カスタムモード C1] または [カスタムモード C2] に登録可能な機能

*2: [リセット] (フル) で初期設定に戻る機能

*3: [リセット] (標準) で初期設定に戻る機能

機能	初期設定	*1	*2	*3	
ピクチャーモード	Natural	✓	✓	✓	
ISO 感度	AUTO	✓	✓	✓	
ホワイトバランス	AUTO	✓	✓	✓	
AF 方式	AF	✓	✓	✓	
アスペクト比	4:3	✓	✓	✓	
 画質モード	L F	✓	✓	✓	
 画質モード	1920×1080 Fine 30p	✓	✓	✓	
 手ぶれ補正	ON	✓	✓	✓	
 手ぶれ補正	ON	✓	✓	✓	
フラッシュ	 モードの [] /  モードの []、 []、[] の場合		✓	✓	✓
	 モードの [] の場合	AUTO	✓	✓	✓
	上記以外の場合		✓	✓	✓
フラッシュ補正	±0.0	✓	✓	✓	
連写/セルフタイマー	<input type="checkbox"/>	✓	✓	✓	
測光		✓	✓	✓	
顔優先	OFF	✓	✓	✓	
アクセサリ	OFF	✓	✓	✓	

撮影メニュー

*1: [カスタムモード C1] または [カスタムモード C2] に登録可能な機能

*2: [リセット] (フル) で初期設定に戻る機能

*3: [リセット] (標準) で初期設定に戻る機能

撮影メニュー 1

機能		初期設定	*1	*2	*3
リセット/カスタム登録	リセット	標準	—	—	—
	カスタムモード C1	—	—	✓	—
	カスタムモード C2	—	—	✓	—
ピクチャーモード		Natural	✓	✓	—
AF ターゲット選択		[・]	✓	✓	✓
簡単 CALS		Off	—	✓	✓
オリジナル画像判定		Off	✓	✓	✓

撮影メニュー 2

機能	初期設定	*1	*2	*3
インターバル撮影	Off	—	✓	✓

機能		初期設定	*1	*2	*3	
	コマ数	99	—	✓	✓	
	撮影開始待ち時間	00:00:01	—	✓	✓	
	撮影間隔	00:00:01	—	✓	✓	
	撮影動作	撮影間隔優先	—	✓	✓	
	露出平準化	On	—	✓	✓	
	タイムラプス動画	Off	—	✓	✓	
	タイムラプス動画設定	ムービーサイズ	FullHD	—	✓	✓
		フレームレート	10fps	—	✓	✓
Focus BKT		Off	✓	✓	✓	
	撮影開始待ち時間	0 秒	✓	✓	✓	
	撮影枚数	30	✓	✓	✓	
	フォーカスステップ	標準	✓	✓	✓	
深度合成設定	撮影開始待ち時間	0 秒	✓	✓	✓	
	撮影枚数	8	✓	✓	✓	
日付写し込み		Off	✓	✓	✓	
静止画録音		Off	✓	✓	✓	

動画メニュー

*1: [カスタムモード C1] または [カスタムモード C2] に登録可能な機能

*2: [リセット] (フル) で初期設定に戻る機能

*3: [リセット] (標準) で初期設定に戻る機能

機能	初期設定	*1	*2	*3
ムービー録音	On	—	✓	—
録音レベル調整	±0	—	✓	—
動画フレームレート	30p	—	✓	—
動画ビットレート	Fine	—	✓	—

▶ 再生メニュー

*1 : [カスタムモード C1] または [カスタムモード C2] に登録可能な機能

*2 : [リセット] (フル) で初期設定に戻る機能

*3 : [リセット] (標準) で初期設定に戻る機能

機能		初期設定	*1	*2	*3
スライドショー	スタート	—	—	—	—
	BGM	On	—	✓	✓
	スライド	すべて	—	✓	✓
	1コマ再生時間	3秒	—	✓	—
	ムービー再生	ショート	—	✓	—
回転再生		On	—	✓	✓
編集	画像選択	RAW 編集	—	✓	✓
		JPEG 編集	—	—	—
		ムービー編集	—	—	—
		録音	—	—	—
	画像合成		—	—	—
プリント予約		—	—	—	—
全プロテクト解除		—	—	—	—
全シェア予約解除		—	—	—	—
スマートフォン接続		—	—	—	—

⚙️ カスタムメニュー

*1: [カスタムモード C1] または [カスタムモード C2] に登録可能な機能

*2: [リセット] (フル) で初期設定に戻る機能

*3: [リセット] (標準) で初期設定に戻る機能

A AF/MF

機能		初期設定	*1	*2	*3
AF 補助光		Off	✓	✓	✓
MF アシスト	拡大	Off	✓	✓	—
	ピーキング	Off	✓	✓	—

B 表示/音/接続

機能		初期設定	*1	*2	*3
📺/Info 表示設定	▶Info	表示 Off、総合表示	✓	✓	✓
	LV-Info	カスタム表示 1 (ヒストグラム表示)、 カスタム表示 2 (水準器)	✓	✓	✓
	📺 表示	25、カレンダー表示	✓	✓	—
LV ブースト		Off	✓	✓	✓
フリッカー低減		オート	✓	✓	—
表示罫線選択		Off	✓	✓	—
ピーキング色		白	✓	✓	—
電子音		3	✓	✓	✓
HDMI	出力サイズ	1080p 優先	—	✓	—
	HDMI コントロール	Off	—	✓	—

C 露出/ISO

機能		初期設定	*1	*2	*3
露出基準調整		±0	✓	✓	—
		±0	✓	✓	—
ISO オート設定	上限/基準値設定	上限値 : 1600 基準値 : 100	✓	✓	✓
	低速限界設定	オート	✓	✓	✓
高感度ノイズ低減		標準	✓	✓	✓
長秒時ノイズ低減		オート	✓	✓	✓

D フラッシュ

機能	初期設定	*1	*2	*3
 +  連動	Off	✓	✓	✓
 + WB 連動	WB Auto	✓	✓	—

E 画質/WB/色

機能	初期設定	*1	*2	*3
画質設定	 1 :  SF  2 :  F  3 :  N  4 :  M N	✓	✓	✓
WB モード	オート	✓	✓	✓
WB オート 電球色残し	On	✓	✓	✓
色空間	sRGB	✓	✓	✓

F 記録

機能		初期設定	*1	*2	*3
ファイルネーム		リセット	—	✓	—
ファイルネーム編集		Off	—	✓	—
著作権情報	著作権情報記録	Off	—	✓	—
	撮影者入力	—	—	—	—
	著作権者入力	—	—	—	—

G フィールドセンサー

機能		初期設定	*1	*2	*3
GPS 位置情報記録		Off	—	✓	—
標高/温度設定	標高調整	—	—	✓	—
	m/ft	m	—	✓	—
	°C/°F	°C	—	✓	—

H その他

機能		初期設定	*1	*2	*3
ピクセルマッピング		—	—	—	—
水準器調整		—	—	✓	—
スリープ時間		1分	—	✓	✓
認証マーク表示		—	—	—	—

🔧 セットアップメニュー

*1 : [カスタムモード C1] または [カスタムモード C2] に登録可能な機能

*2 : [リセット] (フル) で初期設定に戻る機能

*3 : [リセット] (標準) で初期設定に戻る機能

機能		初期設定	*1	*2	*3
カードセットアップ		—	—	—	—
日時設定		—	—	—	—
	日時	—	—	—	—
	タイムゾーン	—	—	—	—
	GPS 自動日時補正	Off	—	—	—
		English	—	—	—
モニター調整		☀️ ±0	—	✓	—
撮影画像の確認時間		0.5 秒	✓	✓	—
Wi-Fi/Bluetooth 設定	通信機能	On	—	✓	—
	Bluetooth	Off	—	✓	—
	アクセサリリモコン設定	—	—	—	—
	接続パスワード設定	—	—	—	—
	Wi-Fi/Bluetooth 設定リセット	—	—	—	—
工事メニュー表示		Off	—	—	—

画質設定と記録枚数／記録時間

静止画撮影枚数

SDXC カード 64GB、アスペクト比設定 4:3 の場合

画質モード	画像サイズ (ピクセルサイズ)	圧縮率	ファイル形式	撮影可能枚数
RAW	4000×3000	ロスレス圧縮	ORF	4518
L SF		1/2.7	JPEG	6971
L F		1/4		10166
L N		1/8		19520
M1 SF	1/2.7	10608		
M1 F	3200×2400	1/4	JPEG	15250
M1 N		1/8		28706
M2 SF		1/2.7		27111
M2 F	1920×1440	1/4		37538
M2 N		1/8	61000	
S SF	1280×960	1/2.7	JPEG	54222
S F		1/4		69715
S N		1/8		97601

- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約の有無などによっても変わります。撮影や画像の消去を行ってもモニターに表示される枚数が変わらないことがあります。
- 実際のファイルサイズは被写体によって変わります。
- モニターに表示される撮影枚数は 9999 までです。
- **[工事メニュー表示]** が **[On]** のとき、**M1** は **M**、**M2** は **CALSH**、**S** は **CALS** と表示されます

ムービー総記録時間

SDXC カード 64GB の場合

画像サイズ/ビットレート/フレームレート		最大録画可能時間
 4K 30p	3840×2160 30p	約 1 時間 21 分
 4K 25p	3840×2160 25p	
 FHDSE 60p	1920×1080 Super Fine 60p	約 2 時間 40 分
 FHDSE 50p	1920×1080 Super Fine 50p	
 FHDSE 30p	1920×1080 Super Fine 30p	
 FHDSE 25p	1920×1080 Super Fine 25p	
 FHDSE 60p	1920×1080 Fine 60p	
 FHDSE 50p	1920×1080 Fine 50p	約 4 時間 40 分
 FHDSE 30p	1920×1080 Fine 30p	
 FHDSE 25p	1920×1080 Fine 25p	
 FHDN 60p	1920×1080 Normal 60p	
 FHDN 50p	1920×1080 Normal 50p	約 7 時間 53 分
 FHDN 30p	1920×1080 Normal 30p	
 FHDN 25p	1920×1080 Normal 25p	
 HDI 30p	1280×720 Super Fine 30p	
 HDI 25p	1280×720 Super Fine 25p	約 5 時間 24 分
 HDI 30p	1280×720 Fine 30p	約 10 時間 13 分
 HDI 25p	1280×720 Fine 25p	

画像サイズ/ビットレート/フレームレート		最大録画可能時間
HD 30p	1280×720 Normal 30p	約 14 時間 32 分
HD 25p	1280×720 Normal 25p	

- 動画 1 ファイルは 4GB に制限されます。
- 1 回の撮影は最長 29 分に制限されます。

ご注意

防水・耐衝撃性能について

本製品は、防水性能・耐衝撃性能を備えています。

- 防水性能：JIS/IEC 保護等級 8 級（IPX8）¹ に該当し、水深 15m までの撮影が可能です。
- 耐衝撃性能：当社試験条件による落下テストをクリアしています。

¹ 当社の定める、指定時間および指定圧力の水中に没して使用できることを意味しています。

- **本製品の防水性能・耐衝撃性能については当社試験条件によるものであり、無破損・無故障を保証するものではありません。**

水中での使用について

水中での使用前の注意

- 電池／カードカバーおよびコネクタカバーのパッキンとその接触面にゴミ、砂等の異物が付着していないことを確認し、異物が付着している場合は繊維くずの出ない清潔な布で取り除いてください。
- 電池／カードカバーおよびコネクタカバーのパッキンにひび割れ、キズ等がないことを確認してください。
- 電池／カードカバーおよびコネクタカバーの開閉ノブとロックノブをしっかりと閉じてください。
- 水辺（海上・湖上・海辺・湖畔等）での電池／カードカバーおよびコネクタカバーの開け閉め、および濡れた手での開け閉めは避けてください。
- このカメラは水中で沈みます。
- 温泉では使用できません。

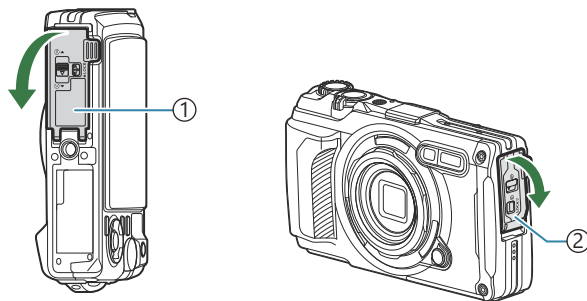
水中での使用中の注意

- 水深 15m を超えて、または水中で 60 分以上使用しないでください。
- 水中では電池／カードカバーおよびコネクタカバーの開け閉めをしないでください。
- 水中に勢いよく飛び込むなど、カメラに衝撃を与えないでください。衝撃により電池／カードカバーおよびコネクタカバーが開くおそれがあります。

水中での使用後の注意

- カメラについた水滴や汚れを繊維くずの出ない布で十分にふき取ったあと、電池／カードカバーおよびコネクタカバーを開けてください。

- 電池／カードカバーおよびコネクタカバーを開くとき、カバーの内側に水滴が入り込まないように、図に示す向きにして、ゆっくり開けてください。カバーの内側表面に水滴がついた場合は、必ずふき取ってからご使用ください。



- ① 電池／カードカバー
- ② コネクタカバー

保管・お手入れについて

- 洗浄・防錆・防曇・補修等で薬品類を使わないでください。防水性能を保てない場合があります。
- 水中で使用したあとは、電池／カードカバーおよびコネクタカバーをしっかりと閉め、ロックをし、レンズリングをはずした状態でバケツなどに入れた真水に 10 分程度さらし、そのあと風通しの良い日陰で乾燥させてください。
- 水中での使用後、真水にさらさずに 60 分以上放置しないでください。カメラの外観不良・防水性能劣化の原因となります。
- 防水性能を維持するために、1 年に一度防水パッキンの交換をお勧めします（防水パッキンの交換は有料になります）。
防水パッキンの交換可能代理店・修理店につきましては、当社ホームページをご確認ください。

その他の注意

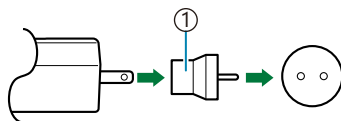
- 本製品の付属品（充電電池など）は防水性能はありません。
- カメラに衝撃が加わると、防水性能を保てない場合があります。
- 電池／カードカバーおよびコネクタカバーが開いた状態では、防水性能は保てません。

電池についてのご注意

- 電池は、当社製リチウムイオン電池 1 個を使用します。当社純正の充電電池以外は使用できません。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
- 次の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
 - ズーム動作を繰り返す。
 - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
 - 長時間、モニターで画像を表示する。
 - パソコンとの接続時。
 - 無線 LAN/Bluetooth[®] 機能を有効にする。
 - GPS 機能を使用する。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- 長期間（1 ヶ月以上）カメラを使わない場合、カメラから電池を取り出して保管してください。長期間電池をカメラに入れたままにしておくと、電池の寿命が短くなったり、電池が使えなくなる可能性がありますので、ご注意ください。
- 別売の USB-AC アダプターによる充電電池の充電時間は、通常約 3 時間（目安）です。周囲温度が高い場合は充電時間が長くなる場合があります。
- 付属の電池は専用の USB-AC アダプターまたは充電器以外は使用しないでください。また、別売の USB-AC アダプターは専用の電池（カメラ）以外に使用しないでください。
- 指定以外の電池を使用した場合、爆発（または破裂）の危険があります。
- 使用済み電池は取扱説明書の「[使用上のご注意](#)」(P260) に従って廃棄してください。
- USB-AC アダプターを利用される場合でも動作安定のため電池を入れてご使用ください。

海外での使用について

- USB-AC アダプター (F-5AC) は、世界中のほとんどの家庭用電源 AC100~240V (50/60Hz) でご使用になれます。ただし、国や地域によっては、コンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプター (市販) が必要になる場合があります。
- イラストの変換プラグアダプター (市販) は一例です。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。



①変換プラグアダプター (市販)

- 市販の海外旅行用電子式変圧器 (トラベルコンバーター) は、USB-AC アダプターが故障することがありますので使用しないでください。

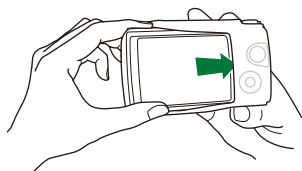
別売品を使う

別売シリコンジャケットの取り付け方

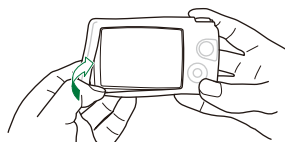
取り付けは図のように行います。取り外しは取り付けと逆の手順で行います。

- シリコンジャケットを無理な力で引っ張ると、破損する恐れがあります。ご注意ください。

1.



2.



シリコンジャケットの使用上のご注意

- ゴミや砂等の異物がカメラ本体と本製品の間に入り込むと傷が付く場合があります。
- 汚れた場合は、水で洗い、完全に乾燥させてからご使用ください。
- 本製品の使用時、シリコンの滑りにくい特性により他のカメラケースに入らない場合があります。

ワイヤレス RC フラッシュシステムを使って撮る

ワイヤレス RC フラッシュシステムに対応しているフラッシュを使用すると、ワイヤレスでフラッシュ撮影や水中フラッシュ撮影ができます。

ワイヤレスフラッシュ撮影での設置可能な範囲は周辺環境により変わりますが、カメラの内蔵フラッシュから 1~2m が目安です。

- カメラとフラッシュの通信にはカメラの内蔵フラッシュを使用します。
- 専用水中フラッシュを使うには、防水プロテクター、光ファイバーケーブルなどが必要です。
- ワイヤレスフラッシュや水中フラッシュの操作については、専用外部フラッシュや防水プロテクターなどの取扱説明書をご覧ください。

1. 専用フラッシュの電源を入れる。

2. 専用フラッシュの発光モードを RC モードに設定する。
 - チャンネルやグループの設定がある場合は、CH1、グループ A に設定します。
3. ライブコントロールでフラッシュを選び、**[RC]** (リモートコントロール) を選ぶ (P62)。
4. テスト撮影をして、フラッシュの作動や撮影した画像を確認する。

- カメラとワイヤレスフラッシュの充電状況を確認してから撮影します。
- カメラのフラッシュが **[RC]** のとき、カメラ本体の内蔵フラッシュはワイヤレスフラッシュとの通信に使用されます。撮影のためのフラッシュとしては使用できません。
- ワイヤレスフラッシュ撮影では、専用外部フラッシュのリモートセンサーをカメラに向け、発光部を照射方向に向けて設置します。

改ざん防止カードについて

本機では、データの削除、上書き、変更ができない改ざん防止カード (SD WORM カード/Write Once メモリカード/PGS WORM カード) を使用することもできます。

ご使用の際は改ざん防止カードの取扱説明書をよくお読みになり、取扱説明書に準拠してご使用ください。

① 改ざん防止カードを挿入時は、モニターの撮影可能枚数が赤色で表示されます。

② 改ざん防止カードを使用する際は以下の機能が使えなくなります。



- カードの初期化 (P.138)
- 画像の消去 (P.94、P.95、P.113、P.139)
- ムービー撮影 (P.52)
- 連写撮影 (P.58)
- カードへのログの保存 (P.202)
- 無線機能 (Wi-Fi/Bluetooth) (P.172、P.185)
- 編集 (P.99)
- 回転 (P.107)
- プロテクト (P.105)
- 録音 (P.106)
- プリント予約 (P.110)
- シェア予約 (P.104)
- 画質モードの RAW (P.77)
- 静止画録音 (P.130)
- **[インターバル撮影]** の **[タイムラプス動画]** (P.124)

③ Write Once メモリカード使用時は、1 つのフォルダに 510 枚以上の画像は保存できません。


④ カメラ単体での使用以外の制限事項については、各カードメーカーへお問い合わせください。

別売アクセサリーについて

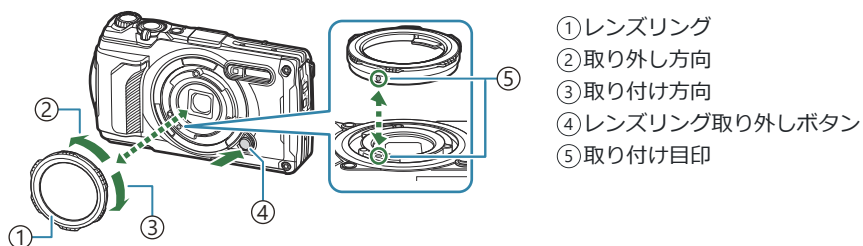
別売のアクセサリーを使うことで、いろいろな撮影を楽しむことができます。
アクセサリーを取り付けるときは、カメラに付属しているレンズリングを取り外してください。

LED ライトガイド (LG-1)	 (顕微鏡) モードでの撮影時やマクロ撮影時に、マクロ LED の照明ムラを防ぐことができます。 <ul style="list-style-type: none">フラッシュを発光させないでください。水中では使用できません。
フラッシュディフューザー (FD-1)	 (顕微鏡) モードでの撮影時やマクロ撮影時に、被写体に接近してフラッシュ撮影ができます。
レンズバリア (LB-T01)	撮影時や持ち運びのときにレンズ面に汚れ・キズがつくのを防ぎます。 <ul style="list-style-type: none">シリコンジャケットとの併用はできません。
フィッシュアイコンバーター (FCON-T01) ¹	よりワイドな風景を撮影できます。
全周フィッシュアイコンバーター (FCON-T02) ¹	ズーム位置を変更するだけで全周魚眼と対角魚眼の両方を撮影できます。
テレコンバーター (TCON-T01) ¹	より遠くの風景を撮影できます。
プロテクトフィルター (PRF-D40.5 PRO) ¹	撮影時や持ち運びのときにレンズ面に汚れ・キズがつくのを防ぎます。

¹ カメラに取り付けるにはコンバーターアダプター (CLA-T01) が必要です。

- 別売アクセサリーをお使いの場合は、ライブコントロールでアクセサリー設定を行ってください。
 「別売アクセサリーを使う (アクセサリー)」 (P85)
- 水中での使用後は、真水で洗浄してください。
- 詳しくは、当社ホームページをご確認ください。

■ レンズリングの取り外し方、取り付け方



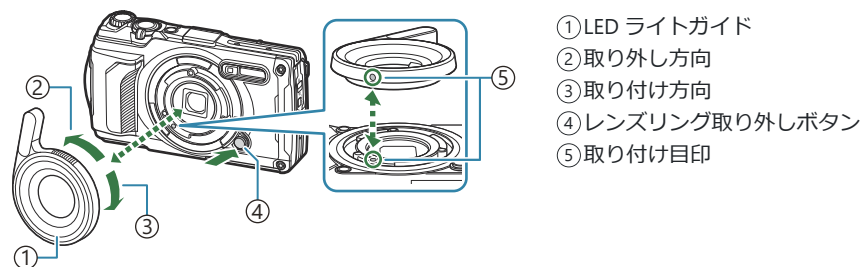
取り外し方

レンズリング取り外しボタンを押しながら、取り外し方向に回します。

取り付け方

取り付け目印の位置を合わせ、カチッと音がするまで取り付け方向に回します。

■ LED ライトガイドの取り付け方、取り外し方



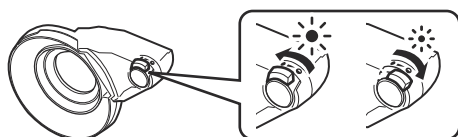
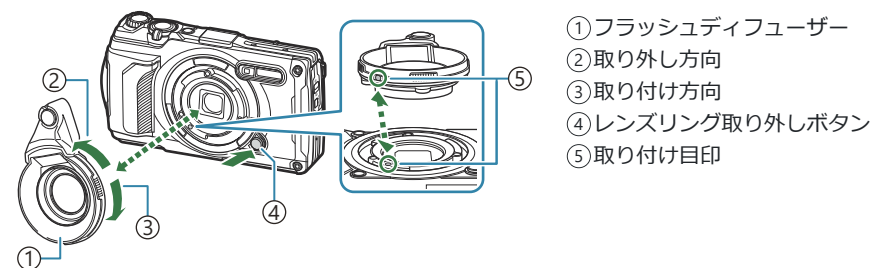
取り付け方

取り付け目印の位置を合わせ、カチッと音がするまで取り付け方向に回します。

取り外し方

レンズリング取り外しボタンを押しながら、取り外し方向に回します。

フラッシュディフューザーの取り付け方、取り外し方



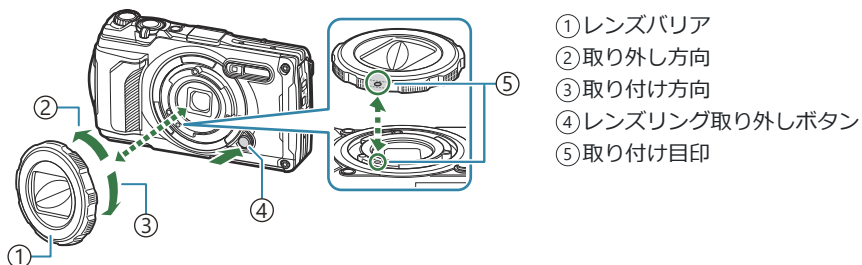
取り付け方

取り付け目印の位置を合わせ、カチッと音がするまで取り付け方向に回します。

取り外し方

レンズリング取り外しボタンを押しながら、取り外し方向に回します。

レンズバリアの取り付け方、取り外し方



取り付け方

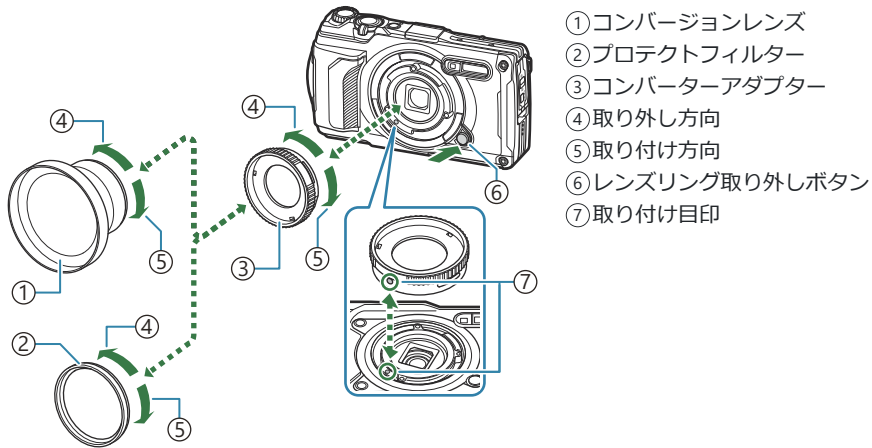
取り付け目印の位置を合わせ、カチッと音がするまで取り付け方向に回します。

- レンズバリアの取り付け目印は裏側にあります。

取り外し方

レンズリング取り外しボタンを押しながら、取り外し方向に回します。

コンバージョンレンズ/プロテクトフィルターの取り付け方、取り外し方



取り付け方

1. コンバーターアダプターを取り付けます。
 - 取り付け目印の位置を合わせ、カチッと音がするまで取り付け方向に回します。
2. コンバージョンレンズ/プロテクトフィルターを取り付け方向に回して、コンバーターアダプターにねじ込みます。

取り外し方

1. コンバージョンレンズ/プロテクトフィルターを取り外し方向に回します。
2. コンバーターアダプターを取り外します。
 - レンズリング取り外しボタンを押しながら、取り外し方向に回します。

カメラのお手入れと保管

カメラのお手入れ

カメラのお手入れの際は、カメラの電源をオフにして、電池を取り外します。

- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。

カメラの外側：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取ります。その後、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使った場合は、真水に浸した布を固く絞って拭き取ります。
- 砂や泥、ほこりなどの異物がカメラに付着するような場所で使用したときは、そのまま使用すると故障の原因となる場合がありますので、次の方法ですすぎ洗いをしてください。

1. 電池／カードカバーおよびコネクタカバーをしっかりと閉じて、ロックします (P.15)。

2. バケツなどに真水を張り、カメラを下向きにした状態で水の中に入れ、よく揺すります。また、強めの水道水を当てながら、ボタン、ダイヤルを操作しすぎ洗いをしてください。



モニター：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ：

- レンズに砂やほこりなどの異物がついた状態でレンズを拭くと、キズがつくおそれがあります。市販のレンズブローアールでほこりを吹き払ったあと、レンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。
- レンズを汚れたままにしておくと、カビがはえることがあります。

電池／USB-AC アダプター：


- 乾いた柔らかい布で拭きます。

カメラの保管

- 長期間、カメラを使わないときは、電池とカードを外してください。風通しがよく、涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 電池は定期的に取り換えて、カメラの機能をテストしてください。
- 使用後は清掃して保管してください。
- 防虫剤のあるところに保管しないでください。
- 薬品を扱うような場所での保管は、腐食などの原因になるため避けてください。
- レンズを汚れたままにしておくと、カビがはえることがあります。
- 長期間使用しなかったカメラは、使用前に各部の点検をしてください。海外旅行などの大切な撮影の前には、必ず撮影をしてカメラが正常に動作することを確認してください。

画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング

撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けた後に実行します。

1. **★ カスタムメニュー**  の【ピクセルマッピング】(P.151) を選択します。
 2. 【スタート】(サブメニュー 2) 表示中に **OK** ボタンを押します。
 - ピクセルマッピング実行中の【処理中】バーが表示されます。終了するとメニューに戻りません。
- 誤って処理中にカメラの電源をオフにしてしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

アフターサービス

- 同梱の保証書は、日本国内向けに出荷された商品にのみ有効です。
- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または当社サービスステーションにご相談ください。取扱説明書に従ったお取り扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 本製品の製造打ち切り後、5年間は本製品のアフターサービスについて対応いたします。但し、当該アフターサービス対応については、故障の状況、本製品に対応する補修用性能部品の有無、及び保有している場合はその期間（製造打ち切り後5年間を目安に保有いたします）等に応じ、当社の判断で、本製品の修理または同等品への交換（製品交換）のいずれかにて対応させていただきます。
- 交換が行われた部品（もしくは製品）の所有権は当社に帰属し、返却は致しません。
- 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等）については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

こんなときは？

電池を入れてもカメラが動かない

誤った向きで電池を入れている

- 誤った向きで電池を入れると、電源が入りません。必ず正しい向きで入れてください。🔋 「電池とカードを入れる」(P.19)

電池が充電されていない

- 電池を充電してください。🔋 「電池を充電する」(P.23)

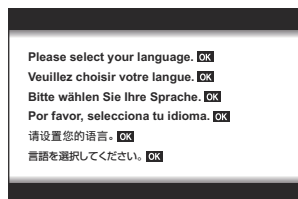
低温下であり、一時的に電池の性能が低下した

- 電池は低温では性能が低下します。カメラから電池を取り出してポケットに入れるなどして少し温めてから使用してみましょう。

言語の設定を促す画面が表示される

次の場合に、図の画面が表示されます。

- 初めてカメラの電源を入れた
- 言語の設定が終了していない



「初期設定をする」(P.28) をご覧いただき、言語の設定を行ってください。

シャッターボタンを押しても撮影ができない

カメラが自動的に電源オフになっていた

- カメラは何も操作しないと一定時間後にスリープモードと呼ばれる省電力状態に入ります。シャッターボタンを半押しすると復帰します。スリープモードで5分放置すると電源が切れます。🔋 ⚙️ カスタムメニュー **H** 【スリープ時間】(P.151)

フラッシュが充電中である

- モニターの⚡マークが点滅していたらフラッシュが充電中です。点滅が終わるまで待つてからシャッターボタンを押してください。

カメラの内部温度が上がっている

- 長時間使用し、カメラの内部温度が上がると、自動的に動作を停止する場合があります。電池を取り出し、内部温度が下がって撮影可能になるまでしばらくお待ちください。また使用中にカメラの外側の温度も上がりますが、故障ではありません。

ピント合わせができなかった

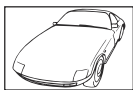
- 被写体に近すぎる場合やオートフォーカスの苦手な被写体の場合は、ピント合わせができません(モニターの合焦マークが点滅します)。被写体との距離を十分にとったり、被写体と同じ距離にあるコントラストのはっきりしたものでピントを合わせてから、構図を決めて撮影してください。

オートフォーカスの苦手な被写体

次のような場合、オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。

- 合焦マーク点滅

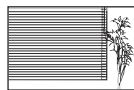
このようなものにはピントが合いません。



コントラストがはっきりしない被写体



画面中央に極端に明るいものがある場合

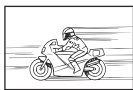


縦線のない被写体¹

- 合焦マークは点灯するが、写したいものにピントが合わない。



遠いものと近いものが混在する場合





動きの速いもの



被写体が AF ターゲット内にならない

¹ カメラを縦位置に構えてピントを合わせてから、横位置に戻して撮影するのも効果的です。

長秒時ノイズ低減が作動している

- 夜景の撮影など、遅いシャッター速度で撮影する際、画像にはノイズが目立つようになります。このカメラは長秒時の撮影後にノイズを取り除く動作をしますが、この間、次の撮影はできません。**[長秒時ノイズ低減]** は **[Off]** に設定することもできます。  **カスタムメニュー**  **[長秒時ノイズ低減]** (P.144)

日時設定がされていない

購入時のままで使用している

- お買い上げ時のカメラの状態では日時設定はされていません。日時設定をしてからご使用ください。
🔗 [「初期設定をする」](#) (P.28)

カメラから電池を抜いていた

- 電池を抜いた状態で約 1 日放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります（当社試験条件による）。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日時の設定が解除されます。大切なものを撮る前には日時の設定が正しいことを確認してください。

設定した機能が元に戻ってしまう

P/A/🔍 以外の撮影モードでは、モードダイヤルを回したり電源を切ると設定した機能が初期設定に戻ります。

設定できない機能がある

撮影モードや撮影設定によっては選択できない機能があります。🔗 [「撮影モード設定可能一覧」](#) (P.205)

撮影した画像が全体的に粗い

- 📷 画質モードで、ピクセルサイズの大きい値に設定するか圧縮率を SF または F に設定してください。🔗 [「静止画撮影で記録する画像サイズを選択する（📷 画質モード）」](#) (P.77)
- ノイズ（ざらつき）が気になる場合は、ISO 感度を下げると改善される場合があります。🔗 [「感度を変更する（ISO 感度）」](#) (P.71)

撮影した画像が全体的に白っぽい

逆光や半逆光で撮影すると起こる場合があります。フレアやゴーストといわれる現象によるものです。できるだけ画面内に強い光源が写らないように構図を考えましょう。画面内に光源がなくてもフレアは発生する場合があります。手などをかざして光源から直接レンズに光があたらないようにします。

撮影した画像に光が写っている

夜間にフラッシュを発光させて撮影すると、空気中のほこりなどに光が反射して、画像に写り込むことがあります。

被写体でない明るい点が写り込む

撮像素子のドット抜けの可能性があります。[ピクセルマッピング]を行ってください。また、消えないときは何度かピクセルマッピングを行ってみてください。🔍 「画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング」(P241)

レンズが曇る／モニターが見にくい

急激な温度変化で曇り（結露）が発生する場合があります。電源を切り、カメラ全体がまわりの温度になじんで乾燥するのを待ってから撮影してください。

テレビでムービーを再生するとなめらかに再生されない


テレビのフレームレートと撮影したムービーのフレームレートが合っていない可能性があります。その場合はパソコンで再生してください。テレビでなめらかに再生するには、カメラのフレームレート設定を変更する必要があります。🔍 【動画フレームレート】(P.131)

方位が正しく示されない

強い磁気や電波の影響（テレビ、電子レンジ、大型モーター、電波塔や高圧線の近くなど）があると誤動作します。カメラを持って、手首を返しながら8の字に振ると復帰する場合があります。

メニューで選べない機能がある

メニューを表示したとき、十字ボタンを使っても選べない項目がある場合があります。

- 現在の撮影モードで設定できない項目の場合
- 設定済みの項目との組み合わせにより設定できない場合
 - モードダイヤルを  に設定していると、ピクチャーモードが選択できないなど

モニターに被写体のみが表示され、撮影情報が何も表示されない

情報表示が「情報表示無し」に切り換わっています。**INFO** ボタンを押して、他の表示に切り換えてください。

エラーコード

モニター表示	原因/対処方法
 カードを認識できません	カードが入っていません。または認識できません。 カードを入れてください。またはカードを正しく入れなおしてください。
 このカードは使用できません	カードに問題があります。 もう一度カードを入れてください。それでもこの表示が消えないときはカードを初期化してください。初期化できない場合、このカードはご使用になれません。
 書き込み禁止になっています	カードが書き込み禁止になっています。 カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。スイッチを戻して解除してください (P21)。
 撮影可能枚数が0です	カードの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。 カードを交換するか、不要な画像を消してください。 大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
 カード残量がありません	カードに十分な空き容量がありません。 カードを交換するか、不要な画像を消してください。 大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
 画像が記録されていません	カードに記録画像がないため画像が再生できません。 カードに画像が記録されていません。 撮影してから再生してください。

モニター表示	原因/対処方法
 <p>この画像は再生できません</p>	<p>選択した画像に問題があり、再生できません。または、このカメラでは再生できない画像です。</p> <p>パソコンの画像ソフトなどで再生してください。 それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。</p>
 <p>この画像は編集できません</p>	<p>他のカメラで撮影した画像などを選択している場合は編集できません。</p> <p>パソコンの画像ソフトなどで編集してください。</p>
<p>日時を設定してください</p>	<p>日時が未設定です。</p> <p>日時を設定してください (P.28)。</p>
 <p>°C/°F</p>	<p>連写などによりカメラの内部温度が上昇しています。</p> <p>カメラの電源をオフにして、内部温度が下がるまでしばらくお待ちください。</p>
 <p>しばらく使用できません カメラの内部温度が下がるまでお待ちください</p>	<p>連写などによりカメラの内部温度が上昇しています。</p> <p>しばらくすると、自動的に電源が切れます。 カメラの内部温度が下がって撮影可能になるまでしばらくお待ちください。</p>
 <p>電池残量がありません</p>	<p>電池残量がありません。</p> <p>充電してください。</p>
 <p>接続されていません</p>	<p>カメラがパソコンや HDMI 機器に正しく接続されていません。</p> <p>正しく接続しなおしてください。</p>

モニター表示	原因/対処方法
 <p>現在ログ機能は使用できません</p>	<p>ログファイルを一時的に記録しているカメラの記憶領域がいっぱいになっています。 カードを正しく入れてログをカードに保存してください。</p> <hr/> <p>電池残量がありません。 電池を充電してください。</p> <hr/> <p>HDMI ケーブルを使ってテレビなどの外部機器と接続中です。 ケーブルを抜いて接続を解除してください。</p> <hr/> <p>電池をカメラに入れていない状態で USB-AC アダプターを使ってコンセントからカメラの電源を供給しています。 カメラに電池を入れ、USB-AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
 <p>カード内のログファイル数が上限です これ以上ログファイルを作成できません</p>	<p>カードにログの保存ができません。 ログファイルをパソコンに保存して不要なログファイルを消去してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保存できるログファイル数の上限は 199 個までです。

モニター表示	原因/対処方法
<div data-bbox="117 395 216 475" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> LOG (点滅) </div>	<p>カードに保存されていないログが残っています。 カードを正しく入れてログをカードに保存してください。</p>
	<p>カードにログの保存ができません。 ログファイルをパソコンに保存して不要なログファイルを消去してください。 <ul style="list-style-type: none"> 保存できるログファイル数の上限は 199 個までです。 </p>
	<p>カードに問題があります。 新しいカードを入れてください。</p>
	<p>カードが書き込み禁止になっています。 カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。スイッチを戻して解除してください (P.21)。</p>
	<p>カードに十分な空き容量がありません。 カードを交換するか、不要な画像を消してください。 大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。</p>
<div data-bbox="117 970 216 1098" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> LOG (点灯) </div>	<p>ログファイルを一時的に記録しているカメラの記憶領域がいっぱいになっています。 カードを正しく入れてログをカードに保存してください。</p>
	<p>電池残量がありません。 電池を充電してください。</p>
	<p>HDMI ケーブルを使ってテレビなどの外部機器と接続中です。 ケーブルを抜いて接続を解除してください。</p>
	<p>電池をカメラに入れていない状態で USB-AC アダプターを使ってコンセントからカメラの電源を供給しています。 カメラに電池を入れ、USB-AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
<p>日時と地域が設定されていません。 日時と地域の設定を行ってください。</p>	

仕様

カメラ

型式	
	デジタルカメラ（記録・再生型）
記録方式	
静止画	デジタル記録、JPEG（DCF 準拠）、RAW データ
対応規格	Exif 2.31、DPOF
静止画音声	Wave フォーマットに準拠
ムービー	MOV（MPEG-4AVC/H.264）
記録媒体	
	SD/SDHC/SDXC カード（UHS-I 対応）、SD WORM カード／Write Once メモリカード／PGS WORM カード（カード初期化不可）
総画素数	
	約 1271 万画素
カメラ部有効画素数	
	1200 万画素
撮像素子	
	1/2.3 型 CMOS
レンズ	
	4.5～18.0mm、F2.0～4.9（35mm フィルム換算 25～100mm 相当）
測光方式	
	撮像素子によるデジタル ESP 測光、スポット測光

シャッター	
	1/2～1/2000 秒 (A モード：最長 4 秒まで)  10fps、  Pro Cap : 1/10～1/32000 秒  20fps : 1/20～1/32000 秒
撮影範囲	
通常	0.1m～∞ (W/T)
スーパーマクロ	0.01m～0.3m (f=5.4～18.0mm)
顕微鏡時	0.01m～0.3m (f=5.4～18.0mm)
モニター	
	3.0 型 (インチ) TFT カラー液晶、約 104 万ドット
コネクタ	
	USB コネクタ (タイプ C) /HDMI コネクタ (タイプ D)
自動カレンダー機能	
	2000～2099 年の範囲で自動修正
防水機能	
種類	保護等級 8 級 (IPX8) : JISC0920/IEC60529 (当社試験条件による)、水深 15m で使用可
意味	当社の定める、指定時間および指定圧力の水中に没して使用できることを意味する
防塵	
	保護等級 6 級 (IP6X) : JISC0920/IEC60529
無線 LAN	
対応規格	IEEE802.11b/g/n

Bluetooth®	
対応規格	Bluetooth Version 4.2 BLE
GPS	
受信周波数	1575.42MHz (GPS/Galileo/準天頂衛星システム) 1598.0625MHz~1605.3750MHz (GLONASS)
測地系	WGS84
使用環境	
温度	-10°C~40°C (動作時) / -20°C~60°C (保存時)
湿度	30% ~ 90% (動作時) / 10% ~ 90% (保存時)
電源	
	専用リチウムイオン電池 (当社製 LI-92B) 1 個または、USB-AC アダプター (F-5AC)
大きさ	
	幅 113.9mm × 高さ 65.8mm × 厚さ 32.7mm (突起部を除く)
質量	
	249g (電池/カード含む)

リチウムイオン電池

MODEL NO.	LI-92B
形式	充電式リチウムイオン電池
公称電圧	DC3.6V
公称容量	1350mAh
充放電回数	約 300 回（使用する条件により異なります。）
使用周囲温度	0°C～40°C（充電時）

- 外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 最新の仕様は、当社ホームページをご覧ください。

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。






安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために

ご使用前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

危険

電池は誤った使い方をしない

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによる火災ややけど、けがの原因となります。

- 火の中に投下したり、電子レンジやホットプレート、高压容器で加熱しない
- 電磁調理器の上や傍らに置かない
- 端子を金属類で接続しない
- 電池とネックレスやヘアピン、鍵等の金属と一緒に持ち運んだり、保管しない
- 高温になる場所で使用・放置しない
 - 直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど
- 直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない
端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない
- 電池の液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流した後、直ちに医師の診断を受けてください。失明の恐れがあります。
- カメラから電池が取り出せなくなった場合、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。電池の外装にキズなどのダメージを加えますと、発熱・破裂のおそれがあります。

USB-AC アダプター/充電器は誤った使い方をしない

火災・破裂・発火・発煙・発熱・感電・やけど・故障の原因となります。

USB-AC アダプター/充電器が、熱い、異臭や異常音がする、煙がでているなど異常を感じたら、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。

- USB-AC アダプター/充電器を濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない
- USB-AC アダプター/充電器を布などで覆った状態で使用しない
- USB-AC アダプター/充電器を分解・改造しない
- USB-AC アダプター/充電器は指定の電源電圧で使用する

警告

製品の取扱いについて

- 可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない
引火・爆発の原因となります。
- ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない
火災・感電の原因となります。
- フラッシュや LED (AF 補助光含む) を人 (特に乳幼児) に向けて至近距離で発光させない
- カメラで日光や強い光を見ない
視力障害をきたすおそれがあります。
- 幼児や子供、ペットなどの動物が触れる可能性のある場所に放置しない
次のような事故が発生するおそれがあります。
 - 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
 - 電池などの小さな付属品を飲み込む。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
 - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
 - カメラの動作部でけがをする。
- フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない
- 連続発光後、発光部分に手を触れない
やけどのおそれがあります。
- 分解や改造をしない
感電・けがをするおそれがあります。
- 内部に水や異物を入れない
火災・感電の原因となります。
万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- 本機の温度の高い部分に長時間触れない
低温やけどのおそれがあります。このような条件での使用が予想される場合は、あらかじめ三脚や手袋などを用意してください。

- **専用の当社製リチウムイオン電池、充電器以外は使用しない**
発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。
- **通電中の USB-AC アダプター/充電器、充電中の電池に長時間触れない**
通電中の USB-AC アダプター/充電器や充電中の電池は、温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。

電池の取扱いについて

- **水や海水などの液体で濡らさない**
- **濡れた手で触ったり持ったりしない**
発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。
- **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する**
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
- **外装にキズや破損のある電池は使用しない、またキズを付けない**
破裂・発熱・発火の原因となります。
- **膨れた電池を無理に機器に取り付けない**
発熱、破裂、発火の原因となります。
- **落下や打撃により電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない**
破裂・発熱・発火の原因となります。
- **USB-AC アダプター/充電器や機器に接続時、無理に接続しない**
プラス・マイナスを逆に接続すると、電池が逆に充電され内部で異常な反応が起こり、漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
- **電子レンジや高压容器などに入れない**
急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因になります。
- **電磁調理器の上や傍らに置かない**
誤って加熱され、発熱、破裂、発火の原因となります。
- **充電中や放電中に可燃物を上に載せたり、覆ったりしない**
発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- **カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない**
- **液漏れや異臭、変色、変形その他異常が発生した場合は使用を中止し、すぐに火気から遠ざける**
火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。
- **電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。**
- **発熱、発火、爆発の可能性があるため、低温環境下でリチウムイオン電池を使用しないでください。**

USB-AC アダプターの取扱いについて

- **コンセントからの抜き差しは、必ず USB-AC アダプター本体を持つ**
USB-AC アダプター本体を持たないと、火災・感電の原因となることがあります。

無線 LAN / Bluetooth® 機能について

- **心臓ペースメーカーを装着している方から 15cm 以上離す**
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- **病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る**
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。必ず無線 LAN / Bluetooth® 機能もオフにしてください (P.171)。
- **航空機内では電源を切る**
運行の安全や支障をきたすおそれがあります。必ず無線 LAN / Bluetooth® 機能もオフにしてください (P.171)。

⚠ 注意

製品の取扱いについて

- **異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する**
火災・やけどの原因となることがあります。
やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサービスセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。
(電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け屋外で行ってください。)
- **カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する**
けがや事故の原因となることがあります。
- **高温になるところに放置しない**
部品の劣化・火災の原因となることがあります。

電池の取扱いについて

- **乳幼児や動物・ペットには、電池の取り扱い、運搬をさせない (舐める、口に入れる、噛む等の危険防止)**
- **電池を使ってカメラを長時間連続使用したあとは、すぐに電池を取り出さない**
やけどの原因となることがあります。
- **長期間ご使用にならない場合は、カメラから電池を外しておく**
液漏れ・発熱により、火災・けが・故障の原因となることがあります。
- **長期間保存する場合は、涼しいところに保管してください。**
- **電池は、当社製リチウムイオン電池 1 個を使用します。指定の電池をお使いください。指定以外の電池を使用した場合、爆発 (または破裂) の危険があります。**
- **当社製リチウムイオン電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。**

USB-AC アダプターの取扱いについて

- **お手入れの際は、USB-AC アダプター本体をコンセントから抜いて行う**
USB-AC アダプター本体を抜かないで行うと、感電・けがの原因となることがあります。

使用上のご注意

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。
次のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
 - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 火気のある場所
 - 水に濡れやすい場所
 - 激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。撮像素子の退色・焼きつきを起こすことがあります。
- カメラをご使用の際は、必ず電池/カードカバーを閉じロックをしてください。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。
ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。
使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでカメラを使用すると磁気や電磁波、電波、高電圧の影響で、カメラが誤動作する場合があります。カメラが正常に動作しない場合は、電源を切ってから、電池を抜き差しして再度電源を入れてください。
- カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。
- SD/SDHC/SDXC カード以外は、絶対にカメラに入れないでください。
その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- 大切なデータは万が一の場合に備え、パソコン等の他の記録媒体に定期的にバックアップしてください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 三脚を着脱する際は、カメラを回さず三脚のネジを回してください。
- カメラを持ち運ぶ際は、当社純正アクセサリ以外（三脚など）は取り外してください。
- 本体の電気接点部には手を触れないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
次の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
 - ズーム動作を繰り返す。
 - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
 - 長時間、モニターで画像を表示する。

- GPS 機能を使用する。

- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。

- 電池の端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。

充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。

- 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用前に必ず充電してください。

- 一般に電池は低温になるに従って一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。

- 海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。

- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池の排出協力店・排出協力自治体にお持ちください。

詳しくは一般社団法人 JBRC ホームページ (<https://www.jbrc.com>) をご覧ください。



Li-ion

- モニターは強く押さないでください。

画面上ににじみが残ったり、画像が正しく再生されなくなったり、モニターが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。

- モニターの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。

- 被写体が斜めするとき、モニターにギザギザが見えることがありますが、故障ではありません。

記録される画像には影響ありません。

- 一般に低温になるに従ってモニターは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下したモニターは、常温に戻ると回復します。

- 本製品のモニターは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、モニターの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。

その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報については当社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら当社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

機器認定について

本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵されています。認証ラベルは無線設備に添付されています。次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品の証明ラベルをはがすこと

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業、科学、医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定省電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くでこれらの無線局が運営されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定省電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときは、カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

無線 LAN 機能

本機は、2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS/OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は、40 m 以下です。

2.4DS/OF4

Bluetooth® 機能

本機は、2.4GHz 周波数帯を使用するその他変調方式を採用しており、与干渉距離は、10 m 以下です。

2.4 XX 1

無線 LAN/Bluetooth® 機能の使用について

本製品を購入した地域以外での無線 LAN/Bluetooth® 機能の使用については、その国の電波管理規則に違反する場合がありますので、当社では一切の責任は負えません。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。本装置は、VCCI 協会の運用規程に基づく技術基準に適合した文言、またはマークを画面に電子的に表示しています。表示の操作方法は、取扱説明書の [* カスタムメニュー H](#) の [【認証マーク表示】\(P.151\)](#) に記載しております。

VCCI-B

接続ケーブル、USB-AC アダプター（USB-AC アダプター対応機種のみ）は、必ず、当製品指定のものをお使いください。

指定品以外では、VCCI 協会の技術基準を超えることが考えられます。

商標について

SDXC ロゴは、SD-3C,LLC の商標です。

Apical ロゴは Apical Limited の登録商標です。



Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、OM デジタルソリューションズ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。なお、本文中には TM、® マークは明記していない場合があります。

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NONCOMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

このカメラの内部のソフトウェアは第三者作成のソフトウェアを含んでいます。第三者作成のソフトウェアは、その所有者または著作権者により所定の条件が課せられており、その条件に基づいてあなたに配布されています。この条件の中であなたに告知するものがある場合には、次の URL のウェブサイトに必要な応じて準備された software notice PDF ファイル内に見出すことができます。

<https://support.jp.omssystem.com/en/support/imgs/digicamera/download/notice/notice.html>



OMデジタルソリューションズ株式会社

インターネットでの情報入手

<https://omsystem.com/>

「OM デジタル」でインターネット検索するか、上記 URL または QR コードよりご確認ください。



最新サポート情報

アクセサリ対応情報やよくあるご質問（Q&A）、各種最新情報は QR コードよりご確認ください。



※記載内容は変更されることがあります。